

平成 28 年 10 月 28 日

各 位

東京都港区高輪三丁目 19 番 15 号
日 本 貸 金 業 協 会
問 合 せ 先 業 務 企 画 部 調 査 課
電 話 番 号 03-5739-3013
F A X 番 号 03-5739-3027

資金需要者等の借入れに対する意識や行動に関する調査結果報告

～ 貸金業者が担っている資金供給機能には、資金需要者の借入行動における世代などによる
考え方や置かれている環境の違いから多種多様な資金ニーズが存在しており、
より生活に密着した身近な借入先としての社会的役割が求められている。～

日本貸金業協会は、資金需要者が貸金業者からの借入れに対してどのような意識を持っているのか、あるいは実際にどのような借入行動をとったのかなど、資金需要者の借入意識や行動の背景にある気持ちや要因の関係性を明らかにすることを目的として、資金需要者等を対象としたアンケート調査を実施しました。

■ 調査概要

- (1) 調査方法: インターネット調査法(スマートフォン等を利用したモバイルリサーチ)
- (2) 調査対象: 調査会社が保有する全国 20 歳以上のインターネットモニター会員(学生以外)
- (3) 調査期間: 平成 28 年 8 月 12 日から 8 月 17 日
- (4) 調査主体: 日本貸金業協会 業務企画部
- (5) 調査機関: アビームコンサルティング株式会社
- (6) 回答者数:

<個人向け調査>

【プレ調査】 回収サンプル数 26,608 名
【本調査(借入経験のある個人)】 回収サンプル数: 2,000 名 [借入経験のある専業主婦(主夫)を含まない] <借入残高あり> 1,000 名 <借入残高なし> 1,000 名 ※消費者金融会社やクレジットカード会社・信販会社、事業者金融会社から、現時点において借入残高がある個人及び消費者金融会社やクレジットカード会社・信販会社、事業者金融会社から、借入経験があり、かつ現時点において借入残高がない個人
【本調査(借入経験のある専業主婦(主夫))】 回収サンプル数: 500 名 ※消費者金融会社やクレジットカード会社・信販会社、事業者金融会社から、借入経験があり、パート収入を含む一切の収入がない専業主婦(主夫)

<事業者向け調査>

【プレ調査】

回収サンプル数 4,177 名

【本調査(借入経験のある事業者)】

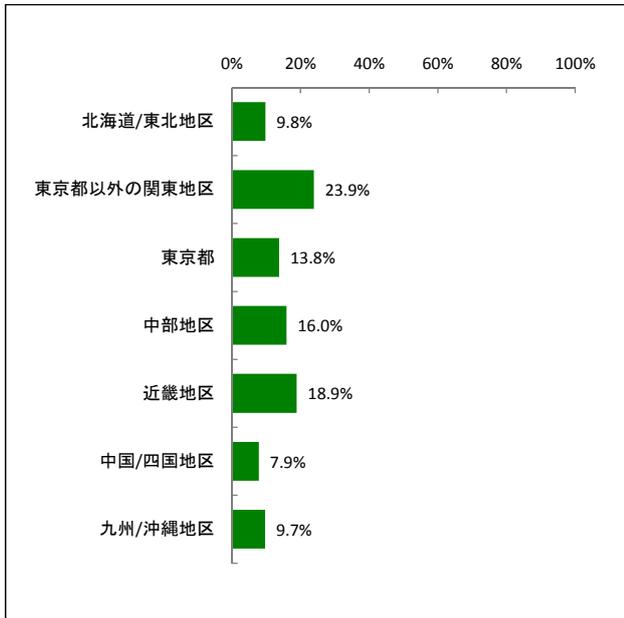
回収サンプル数:1,000 名 (個人事業主:810 名 小規模企業経営者:190 名)

※貸金業者から事業性資金(運転資金・設備資金等)の借入れをしたことがある個人事業主の借入利用者と、本人が経営する会社または所属する会社に貸金業者から事業性資金の借入れをしたことがある小規模企業経営者の借入利用者

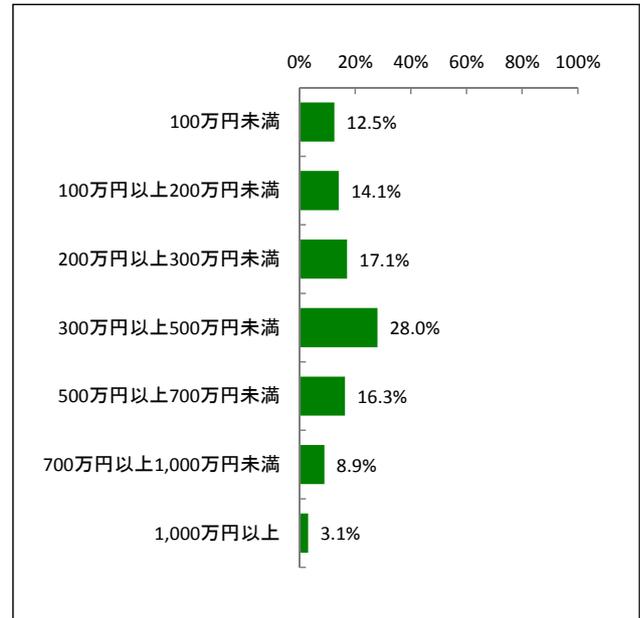
■ 標本構成

<借入経験のある個人>

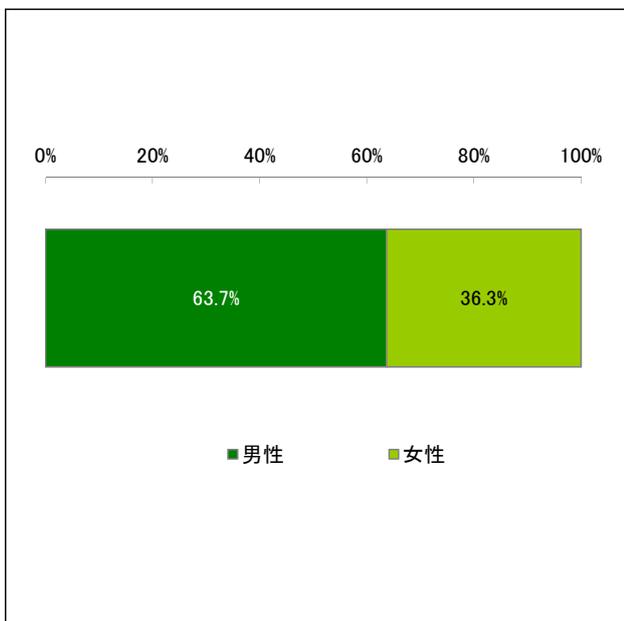
<地区>



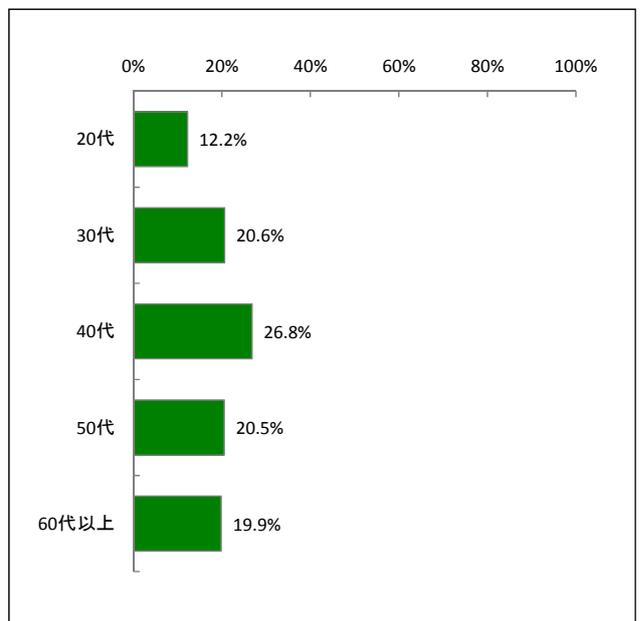
<個人年収>



<性別>

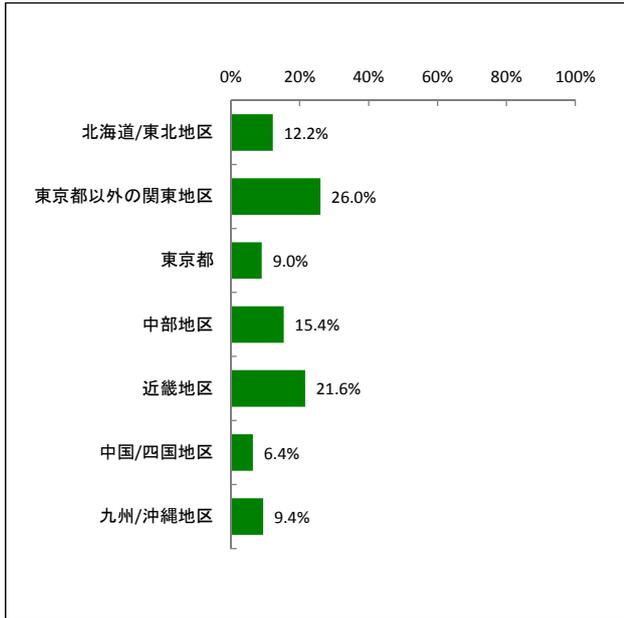


<年代>

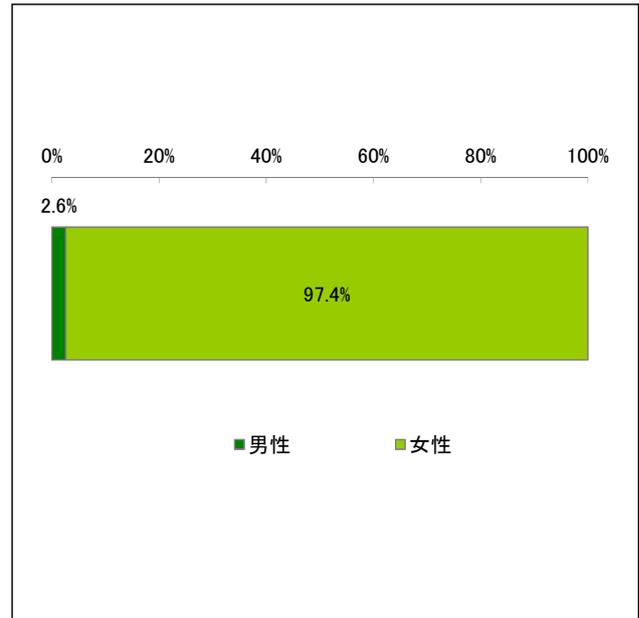


<借入経験のある専業主婦(主夫)>

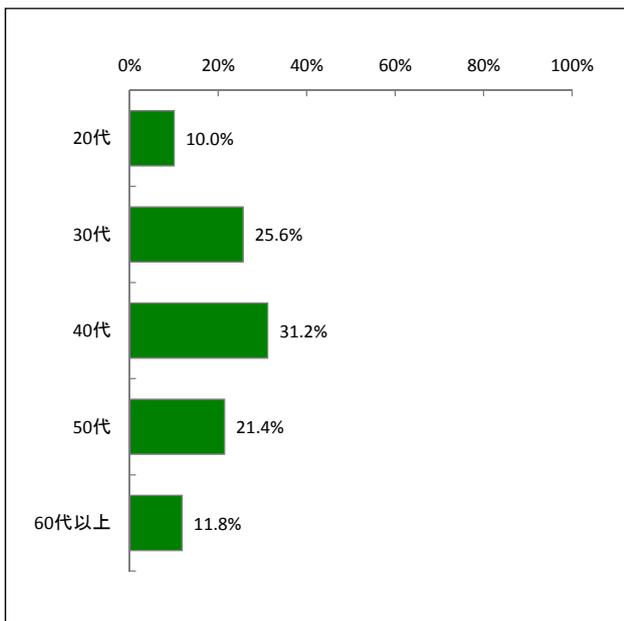
<地区>



<性別>

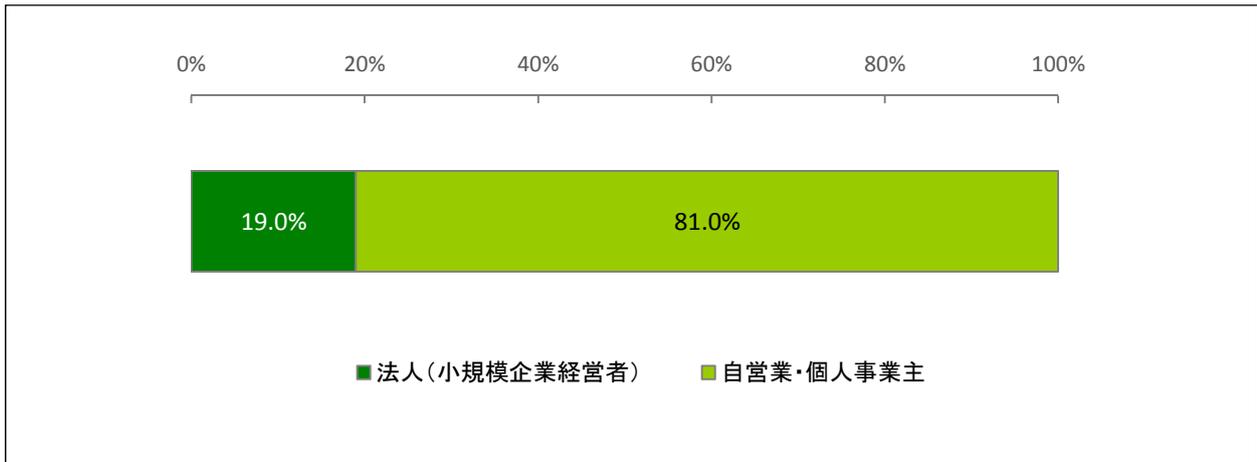


<年代>

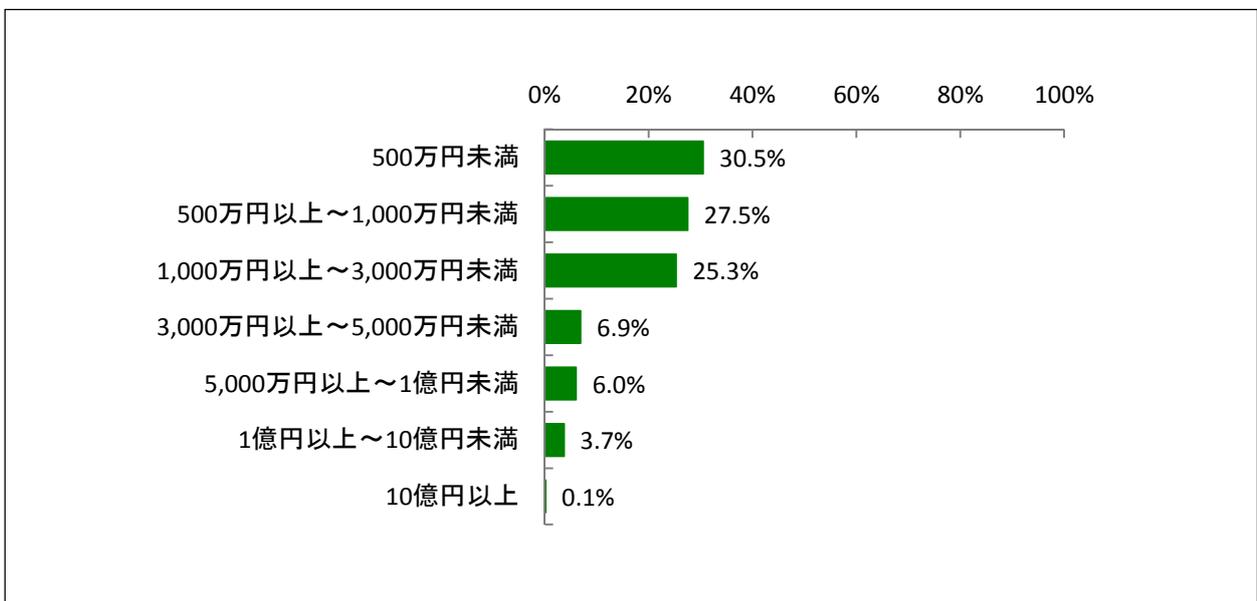


<借入経験のある事業者>

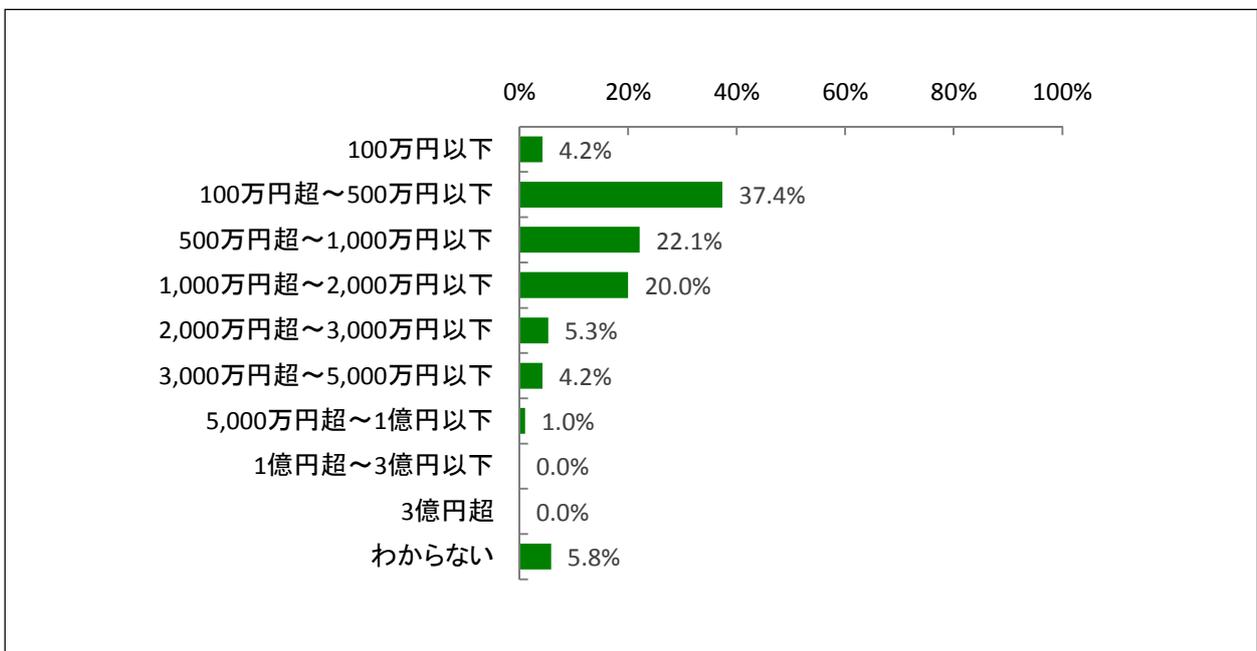
<職業(個人事業主・小規模企業経営者)>



<年商 (個人事業主)>



<資本金 (会社法人)>



■ 調査結果の概要

I. 借入経験のある個人

1. 借入れの動機・背景

- 借入経験のある個人に対して、現在の家計の収支状況の変化について調査したところ、20.1%が1年前と比較して「悪化した」と回答している。一方、今後の見込みでは23.1%が「改善する見込み」と回答している。(P11 図1)
- 1年前と比較して支出が増加した費目をみると、「食費」が32.0%と最も高く、次いで「趣味／娯楽(レジャー、旅行を含む)費用」が27.8%と続いており、今後支出が増加する見込みの費目では、「医療費」が25.8%と最も高い結果となった。(P12 図2)
- 借入経験のある個人に対して直近1年以内における借入申込の資金用途について調査したところ、「趣味／娯楽(レジャー、旅行を含む)費用」が29.3%と最も高く、次いで「食費」が16.3%、「家賃の支払い(住宅ローンの返済を含む9)」が13.8%となった。(P15 図3)

2. 借入行動とその変化

- 借入経験のある個人の22.2%が改正貸金業法の完全施行日以降に借入申込みを行い、そのうち63.2%が希望どおりの借入れができたと回答している。(P18 図4)
- 借入れを申込みした際に計画していた返済期間をみると、40.4%が1年以内(「1週間以内」～「1年以内」)と回答しており、返済方法については「毎月の収入から返済する」と回答した割合が89.6%と最も高い結果となっている。(P19 図5)
- 借入経験のある個人に対して、貸金業者からの借入れが年収の3分の1を超えた経験の有無について調査したところ、64.8%が「借入金で年収の3分の1を超えた経験はない」と回答している。(P20 図6)
- 借入経験のある個人に対して、借入先を選定する際に重視するポイントを調査したところ、「金利が低いこと」が65.1%と最も高く、次いで「申込手順が分かりやすいこと」が36.3%、「借入手続きが可能な店舗ATM・無人機が多い/近いこと」が33.3%となった。(P21 図7)
- 借入経験のある個人に対して、借入先として検討した先について調査を行ったところ、「銀行等の預金取扱金融機関」が49.6%と最も高く、次いで「消費者金融会社(全国展開等の大手消費者金融会社)」が43.1%、「クレジットカード・信販会社」が40.7%となった。(P24 図8)
- さらに、年代別にみると、20代と30代では「消費者金融会社(全国展開等の大手消費者金融会社)」、40代と50代では「銀行等の預金取扱金融機関」、60代以上では「クレジットカード・信販会社」と回答した割合が最も高くなった。(P25 図8)
- 借入先を選定した理由については、「金利が低かったから」が42.7%と最も高く、次いで「借入手続きが簡単だったから」が36.2%と続いている。(P26 図9)
- 借入先を選定する際の情報源をみると、「PCサイト(借入企業サイト等)」が23.3%と最も高く、次いで「テレビCM」が18.8%、「店舗等に設置された看板」が10.1%となった。(P30 図10)
- 借入経験のある個人に対して、借入れできなくなった(申し込まなかった)際に取った行動について調査したところ、「支出を抑えた」が54.6%と最も高く、次いで「相談窓口や家族・知人等に相談した」が27.0%、「貸金業者以外から借りた」が20.2%となった。(P33 図11)
- 希望どおりの借入れができなくなったことによる影響については、「日常生活に支障がでた」が73.6%と最も高く、次いで「子供の教育費に関して支障がでた」が19.6%と続いている。(P35 図12)

<貸金業者に対する満足度・印象の変化>

- 借入経験のある個人に対して、借入れに伴う一連のサービスについて満足であった内容を調査したところ、「借入金の使途の自由度」が 27.1%と最も高く、次いで「契約手続きの手軽さ」が 25.6%、「申込から審査結果が出るまでのスピード」が 24.9%となった。(P36 図 13)
- さらに、男女別に満足であった内容を見ると、男性では「借入金の使途の自由度」、「申込から審査結果が出るまでのスピード」が女性よりも高い結果となった。一方、女性では「インターネットによる借入申込や契約手続き」、「借入申込時の職員の対応」が男性よりも高い結果となっている。(P38 図 13)
- 借入れに伴う一連のサービスについて不満足であった内容については、「申込時の提出書類の量」が 16.9%と最も高く、次いで「借入時と返済時の利便性」が 10.5%と続いている。(P39 図 14)
- 借入経験のある個人に対して、貸金業者に対する印象の変化について調査したところ、実際に利用した後では、良いイメージと回答した割合が利用する前に比べて全ての項目で高くなった。一方、悪いイメージと回答した割合は利用する前に比べて全ての項目で低くなっている。(P42 図 15)
- さらに、年代別に良いイメージと回答した割合の実際に利用する前と後での増加率を見ると、20代から50代では「親身な対応」、60代では「安心感」がそれぞれ高い結果となった。(P44 図 16)
- また、20代および30代では、全ての項目において他の年代に比べて良いイメージと回答した割合が高い(P44 図 16)

<ヤミ金融等非正規業者との接触状況>

- 借入経験のある個人に対して、ヤミ金融等非正規業者、クレジットカードショッピング枠の現金化業者、偽装質屋の認知について調査したところ、「どのようなものか知っている」と回答した割合は、「ヤミ金融等非正規業者」が 23.2%、「クレジットカードショッピング枠の現金化業者」が 20.0%、「偽装質屋」が 7.7%となった。(P49 図 17)
- ヤミ金融等非正規業者との接触有無をみると、9.7%が接触したことがあると回答しており、その接触方法については「ヤミ金融等非正規業者からの電話」が 25.9%と最も高く、次いで「街で見かけた業者の看板・張り紙」が 21.8%、「インターネット上の業者の広告」が 19.2%と続いている。(P50,51 図 18,19)

3. 貸金業者に対する期待・要望

- 借入経験のある個人に対して、借入れの契約を締結する際に交付される書類への改善要望の有無について調査したところ、55.4%が「要望がある」と回答しており、その内容では「交付書類数を少なくして欲しい」と回答した割合が 55.5%と最も高くなった。また、専業主婦(主夫)でも、それぞれ 50.6%、59.7%と同様の結果となっている。(P52 図 20)
- 改正貸金業法の完全施行日以降に新たな借入れを申込んだ専業主婦(主夫)に対して、配偶者の資力を証明する書類の提出有無について調査をしたところ、60.4%が「提出しなかった」と回答しており、書類を提出しなかった理由については、「配偶者があなたの借入れを知らず、配偶者に書類提出を相談することができなかったから」が 32.8%と最も高くなっている。(P53, 54 図 21, 22)
- 返済等に関するカウンセリングを行っている相談窓口・機関・団体の認知については、「名前や利用方法について、よく知っている」、「名前や利用方法などについて、ある程度知っている」と回答した割合の合計では、「国民生活センター相談窓口」が 27.5%と最も高く、次いで「日本司法支援センター法テラス」が 21.4%と続いている。(P55 図 23)

- 借入経験のある個人に対して、希望する借入先との連絡方法・手段について調査したところ、「電話(オペレーターによる応答サービス)」が 40.4%と最も高く、次いで「店頭窓口」が 35.7%、「インターネット(会員専用ホームページ等)」が 32.5%となった。(P57 図 24)
- 貸金業者に望むことについては、「庶民の生活に根ざした身近な金融機関としての存在」が 31.1%と最も高く、次いで「安心して相談できる体制」が 24.4%と続いている。また、専業主婦(主夫)では、「安心して相談できる体制」が 29.8%と最も高く、次いで「庶民の生活に根ざした身近な金融機関としての存在」が 29.2%となっている。(P61 図 25)

II.借入経験のある事業者

1. 借入れの動機・背景

- 借入経験のある事業者に対して、事業環境の変化とその見通しについて調査したところ、24.2%が 1 年前と比較して「改善した」と回答しており、今後の見込みでも 26.8%が「改善する見込み」と回答している。(P65 図 26)
- 1 年前と比較し支出が増加した費目をみると、「仕入」が 25.2%と最も高く、次いで「修繕費」が 14.6%、「外注費」が 13.5%と続いており、今後支出が増加する見込みの費目では、「仕入」が 24.2%と最も高い結果となっている。(P66 図 27)
- 借入経験のある事業者に対して、直近 1 年以内における借入申込の資金使途について調査したところ、「取引先への支払い(事業の一時的な運転資金)」と回答した割合が 36.7%と最も高い結果となった。(P67 図 28)

2. 借入行動とその変化

- 借入経験のある事業者の 29.7%が改正貸金業法の完全施行日以降に借入申込みを行い、そのうち 68.0%が希望どおりの借入れができたと回答している。(P68 図 29)
- 借入れを申込みした際に計画していた返済期間をみると、35.6%が 1 年以内(「1 週間以内」~「1 年以内」)と回答しており、返済方法については「売上代金の回収により返済」と回答した割合が 80.1%と最も高い結果となっている。(P69 図 30)
- 借入経験のある事業者に対して、借入先を選定する際に重視するポイントを調査したところ、「金利が低いこと」が 65.1%と最も高く、次いで「無担保で借入れできること」が 36.3%、「保証人を立てずに借りられること」が 36.2%となった。(P70 図 31)
- 借入経験のある事業者に対して、借入先として検討した先について調査を行ったところ、「銀行等の預金取扱金融機関」が 69.2%と最も高く、次いで「クレジットカード・信販会社」が 28.8%、「消費者金融会社(全国展開等の大手消費者金融会社)」が 21.2%と続いている。(P71 図 32)
- 借入先を選定した理由については、「金利が低かったから」が 53.4%と最も高く、次いで「借入手続きが簡単だったから」が 37.7%、「審査が早かったから」が 30.1%となった。(P71 図 32)
- 借入先を選定する際の情報源をみると、「PC サイト(借入企業サイト等)」が 21.4%と最も高く、次いで「借入企業からの訪問営業」が 19.2%、「取引先からの紹介」が 11.6%と続いている。(P73 図 33)
- 借入経験のある事業者に対して、借入れできなくなった(申し込まなかった)際に行った行動について調査したところ、「事業活動において必要な行動をとった」と回答した割合が 44.2%と最も高くなっており、その内容をみると、「事業の規模を縮小した(40.5%)」や「納税・納付などの支払いを繰り延べた(38.1%)」にて対応している結果となっている。(P74 図 34)

- 希望どおりの借入れができなくなったことによる影響については、「取引先への支払いや、納品等に支障がでた」が 41.1%と最も高く、次いで「事業に必要な資材の購入等に支障がでた」が 38.9%と続いている。(P76 図 35)

＜貸金業者に対する満足度・印象の変化＞

- 借入経験のある事業者に対して、借入れに伴う一連のサービスについて満足であった内容を調査したところ、「借入金の使途の自由度」が 34.9%と最も高く、次いで「申込みから審査結果が出るまでのスピード」が 23.7%、「契約手続きの手軽さ」が 19.6%となった。(P77 図 36)
- また、借入れに伴う一連のサービスについて不満足であった内容については、「申込時の提出書類の量」が 16.3%と最も高く、次いで「借入金の使途の自由度」が 11.7%、「申込みから審査結果が出るまでのスピード」が 10.9%と続いている。(P78 図 37)
- 借入経験のある事業者に対して、貸金業者に対する印象の変化について調査したところ、実際に利用した後では、良いイメージと回答した割合が利用する前に比べて全ての項目で高くなった。一方、悪いイメージと回答した割合は利用する前に比べて全ての項目で低くなっている。(P79 図 38)

＜ヤミ金融等非正規業者との接触状況＞

- 借入経験のある事業者に対して、ヤミ金等非正規業者、クレジットカードショッピング枠の現金化業者、偽装質屋の認知について調査したところ、「どのようなものか知っている」と回答した割合は、「ヤミ金融等非正規業者」が 45.0%、「クレジットカードショッピング枠の現金化業者」が 42.4%、「偽装質屋」が 20.6%となった。(P81 図 39)
- ヤミ金等非正規業者との接触有無をみると、11.0%が接触したことがあると回答しており、その接触方法については、「ヤミ金業者等非正規業者からの電話」が 27.3%と最も高く、次いで「ヤミ金融等非正規業者から届いた FAX」が 20.0%、「街で見かけた業者の看板・張り紙」が 20.0%と続いている。(P82, 83 図 40, 41)

3. 貸金業者に対する期待・要望

- 借入経験のある事業者に対して、借入れの契約を締結する際に交付される書類への改善要望の有無について調査したところ、58.6%が「要望がある」と回答しており、その内容では「交付書類数を少なくして欲しい」と回答した割合が 58.0%と最も高くなった。(P84 図 42)
- 借入経験のある事業者に対して、希望する借入先との連絡方法・手段について調査したところ、「店頭窓口」が 54.0%と最も高く、次いで「電話(オペレーターによる応答サービス)」が 36.7%、「インターネット(会員専用ホームページ等)」が 23.1%となった。(P85 図 43)
- 貸金業者に望むことについては、「庶民の生活に根ざした身近な金融機関としての存在」が 33.7%と最も高く、次いで「一定期間無利息等の新しい金融サービス業の追及」が 24.5%と続いている。(P86 図 44)

■ 調査結果目次

I. 借入経験のある個人

1.借入れの動機・背景	11
(1) 家計の収支状況と今後の見通し.....	11
(2) 支出が増加した費目・今後支出が増加する見込みの費目.....	12
(3) 借入申込を行った際の資金使途.....	15
2.借入行動とその変化	18
(1) 貸金業者への新たな借入申込状況・結果.....	18
(2) 借入先を選ぶ際に検討した先と選んだ理由.....	21
(3) 借入れできなくなった際に行った行動.....	33
(4) 借入れに伴う一連のサービスに関する満足度.....	36
(5) 貸金業者に対する印象の変化.....	42
(6) ヤミ金融等非正規業者との接触状況.....	49
3.貸金業者に対する期待・要望	52
(1) 借入れの契約を締結する際に交付される書類について.....	52
(2) 専業主婦（主夫）の借入れについて.....	53
(3) カウンセリングを行っている相談窓口・機関・団体の認知.....	55
(4) 貸金業者に望んでいること.....	57

II. 借入経験のある事業者

1.借入れの動機・背景	65
(1) 事業環境ならびに事業収支状況の変化と今後の見通し.....	65
(2) 支出が増加した費目・今後支出が増加する見込みの費目.....	66
(3) 借入申込を行った際の資金使途.....	67
2.借入行動とその変化	68
(1) 貸金業者への新たな借入申込状況・結果.....	68
(2) 借入先を検討する選ぶ際に検討した先と選んだ理由.....	70
(3) 借入れできなくなった際に行った行動.....	74
(4) 借入れに伴う一連のサービスに関する満足度.....	77
(5) 貸金業者に対する印象の変化.....	79
(6) ヤミ金融等非正規業者との接触状況.....	81
3.貸金業者に対する期待・要望	84
(1) 借入契約を締結する際に交付される書類について.....	84
(2) 資金需要者が貸金業者に望んでいること.....	85

【補足資料】 資金需要者等の借入れに対する意識や行動に関するインタビュー調査結果報告

■ 調査結果

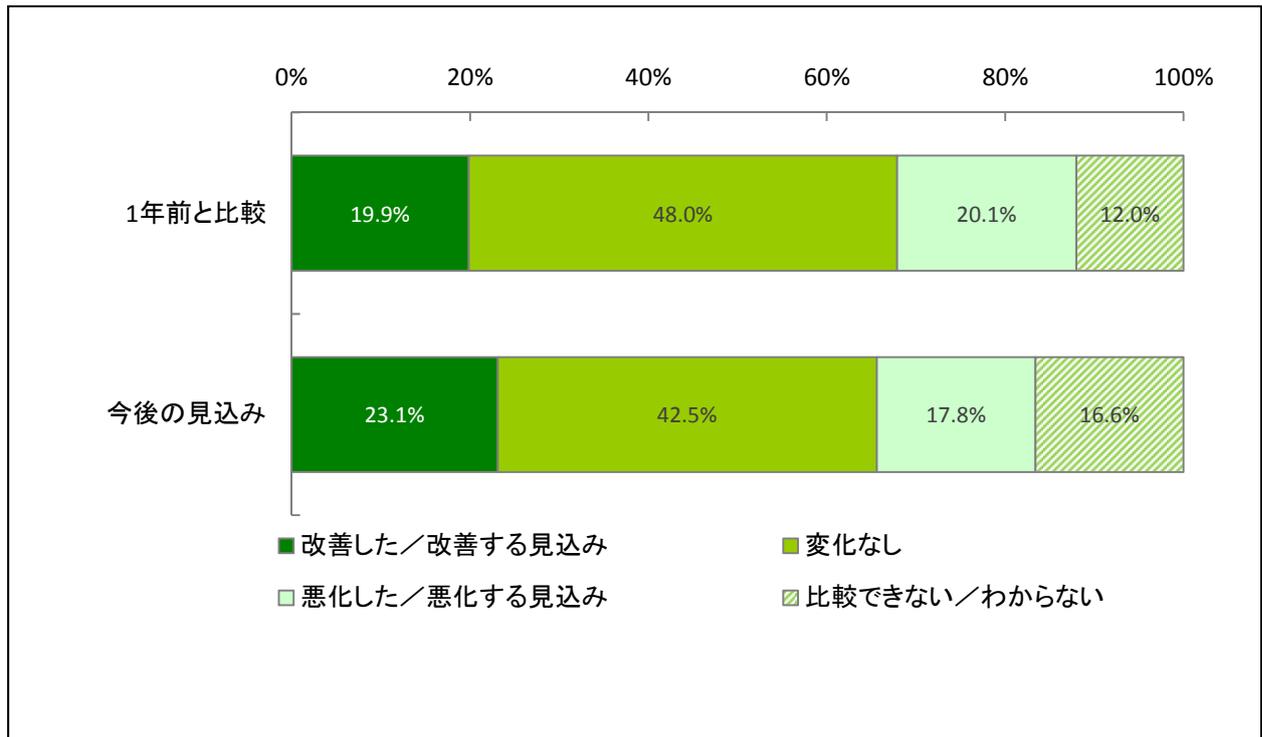
I. 借入経験のある個人

1. 借入れの動機・背景

(1) 家計の収支状況と今後の見通し

- 借入経験のある個人に対して、現在の家計の収支状況の変化について調査したところ、20.1%が1年前と比較して「悪化した」と回答している。一方、今後の見込みでは23.1%が「改善する見込み」と回答している。

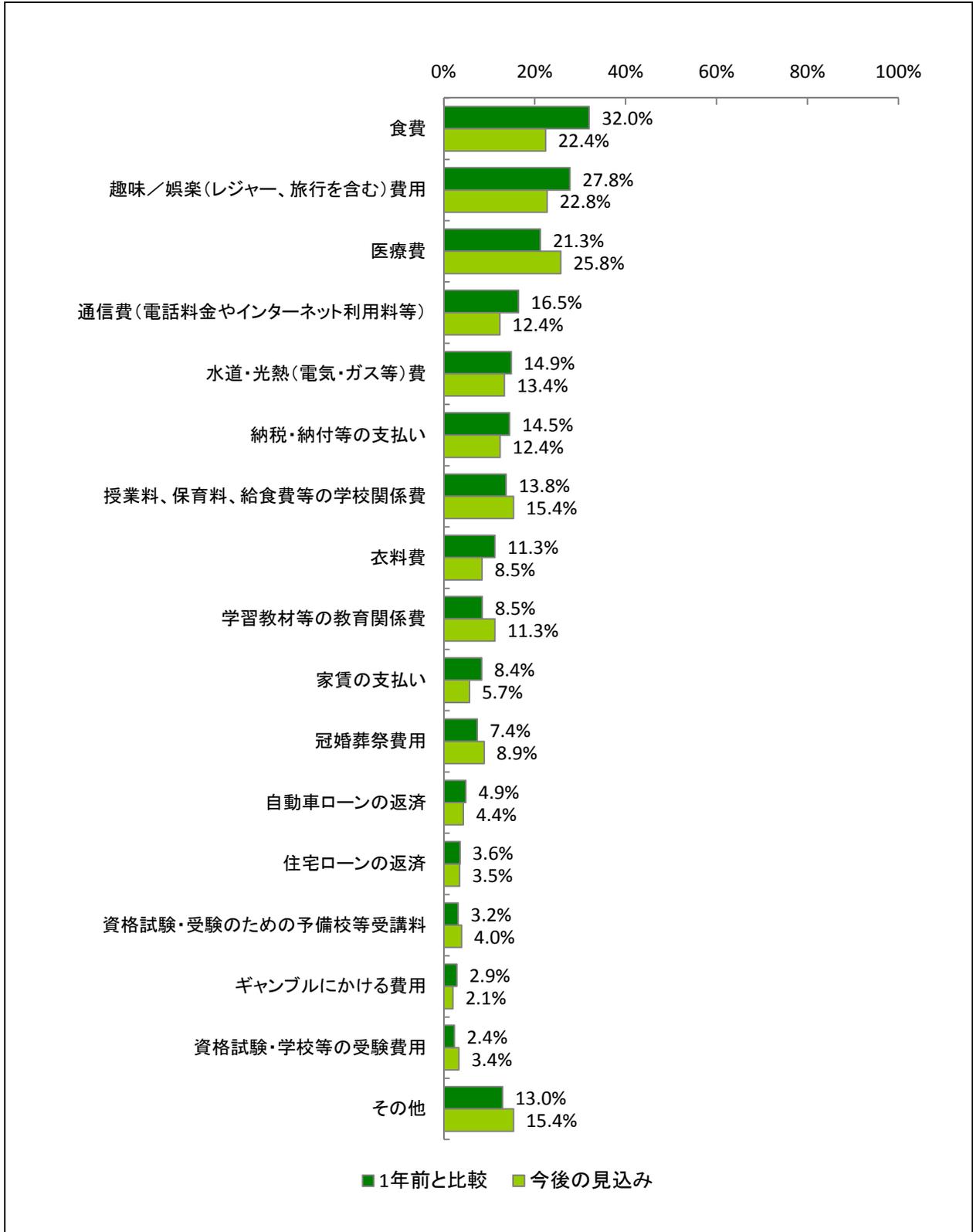
<図 1:家計の収支状況の変化 (n=2,000)>



(2) 支出が増加した費目・今後支出が増加する見込みの費目

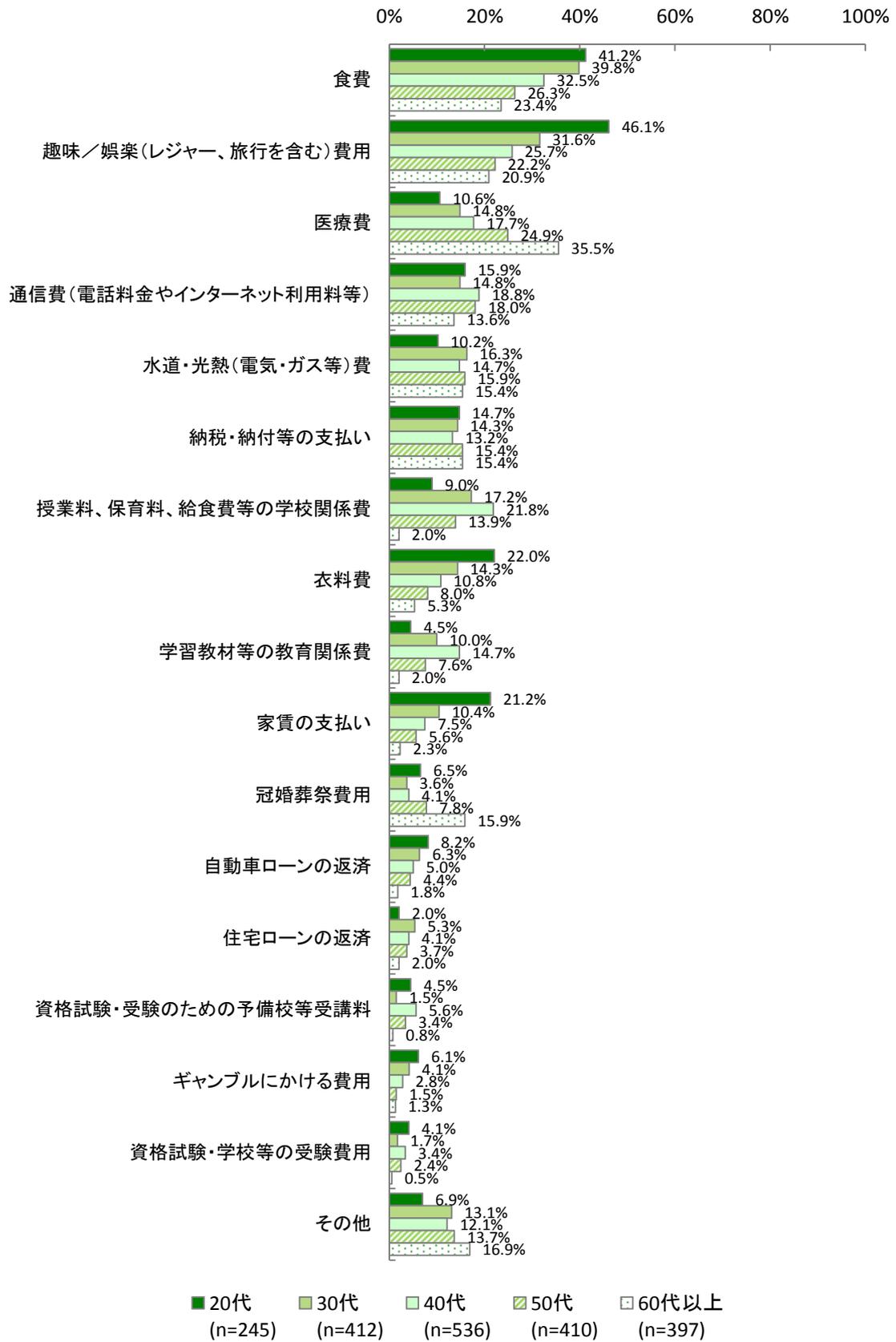
- 1年前と比較して支出が増加した費目をみると、「食費」が32.0%と最も高く、次いで「趣味／娯楽（レジャー、旅行を含む）費用」が27.8%と続いており、今後支出が増加する見込みの費目では、「医療費」が25.8%と最も高い結果となった。

<図 2: 支出が増加した費目家計の収支状況の変化(複数回答 n=2,000) >



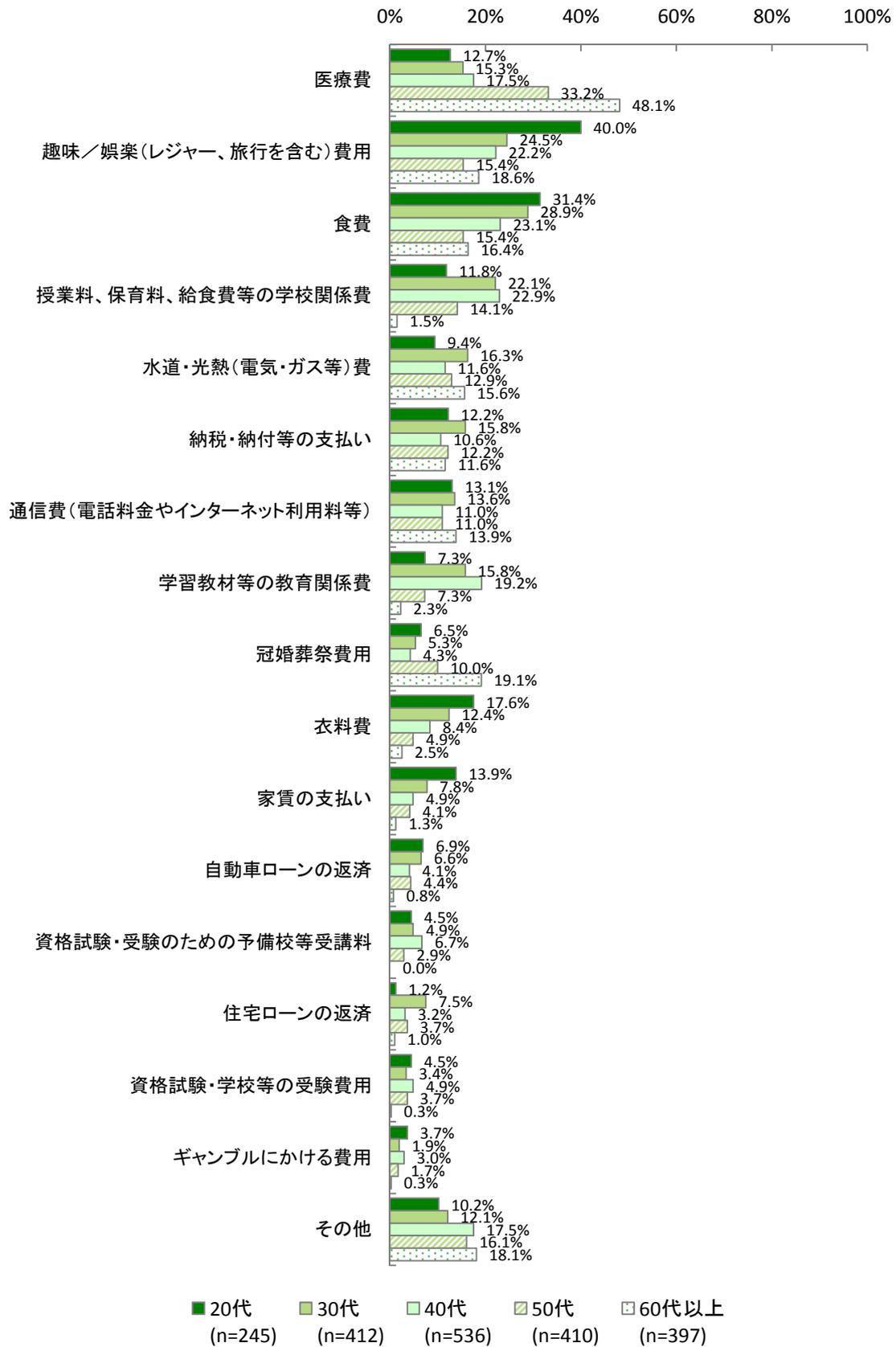
【1年前との比較】

(年代別区分)



【今後の見込み】

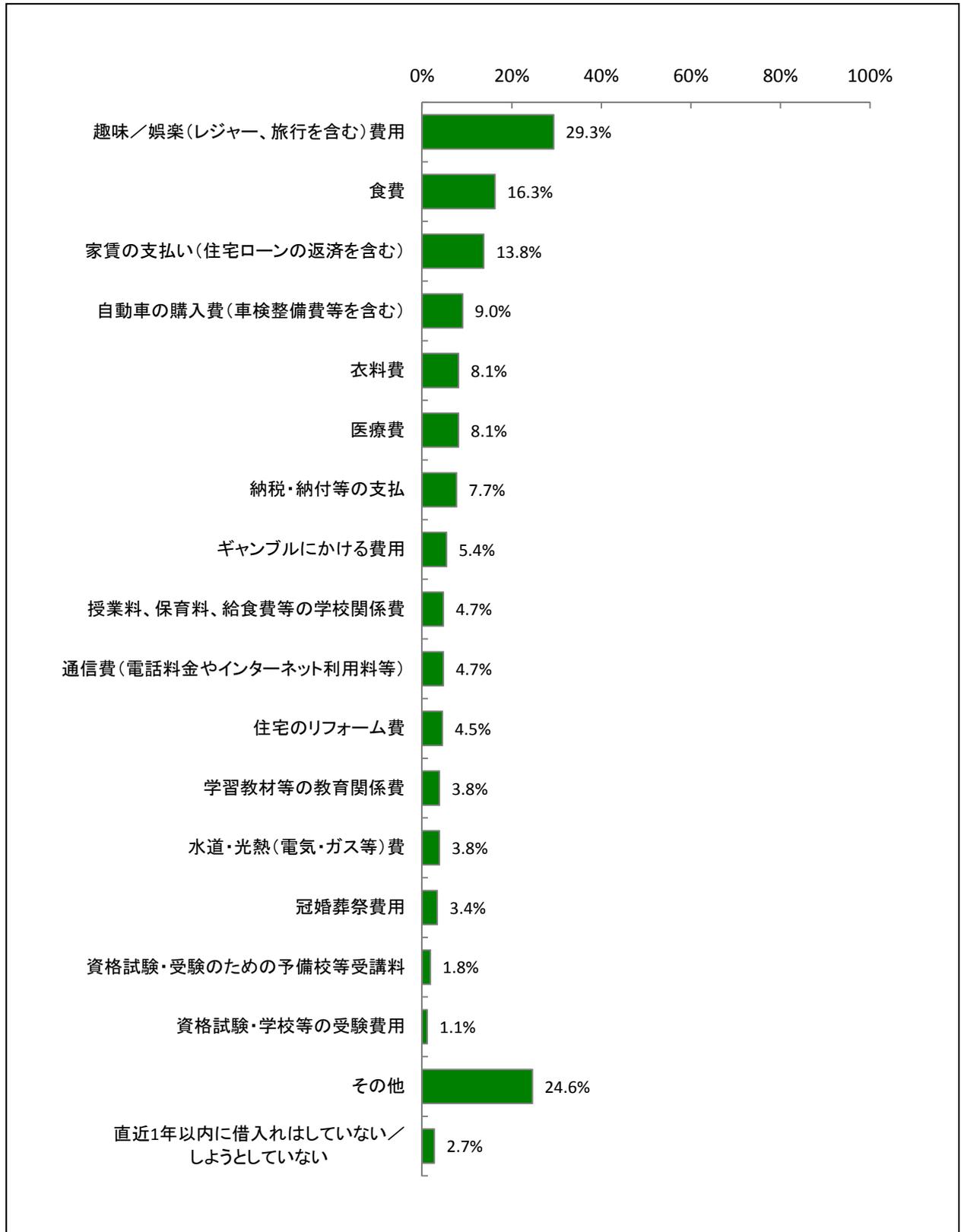
(年代別区分)



(3) 借入申込を行った際の資金使途

- 借入経験のある個人に対して直近1年以内における借入申込の資金使途について調査したところ、「趣味／娯楽(レジャー、旅行を含む)費用」が29.3%と最も高く、次いで「食費」が16.3%、「家賃の支払い(住宅ローンの返済を含む)」が13.8%となった。

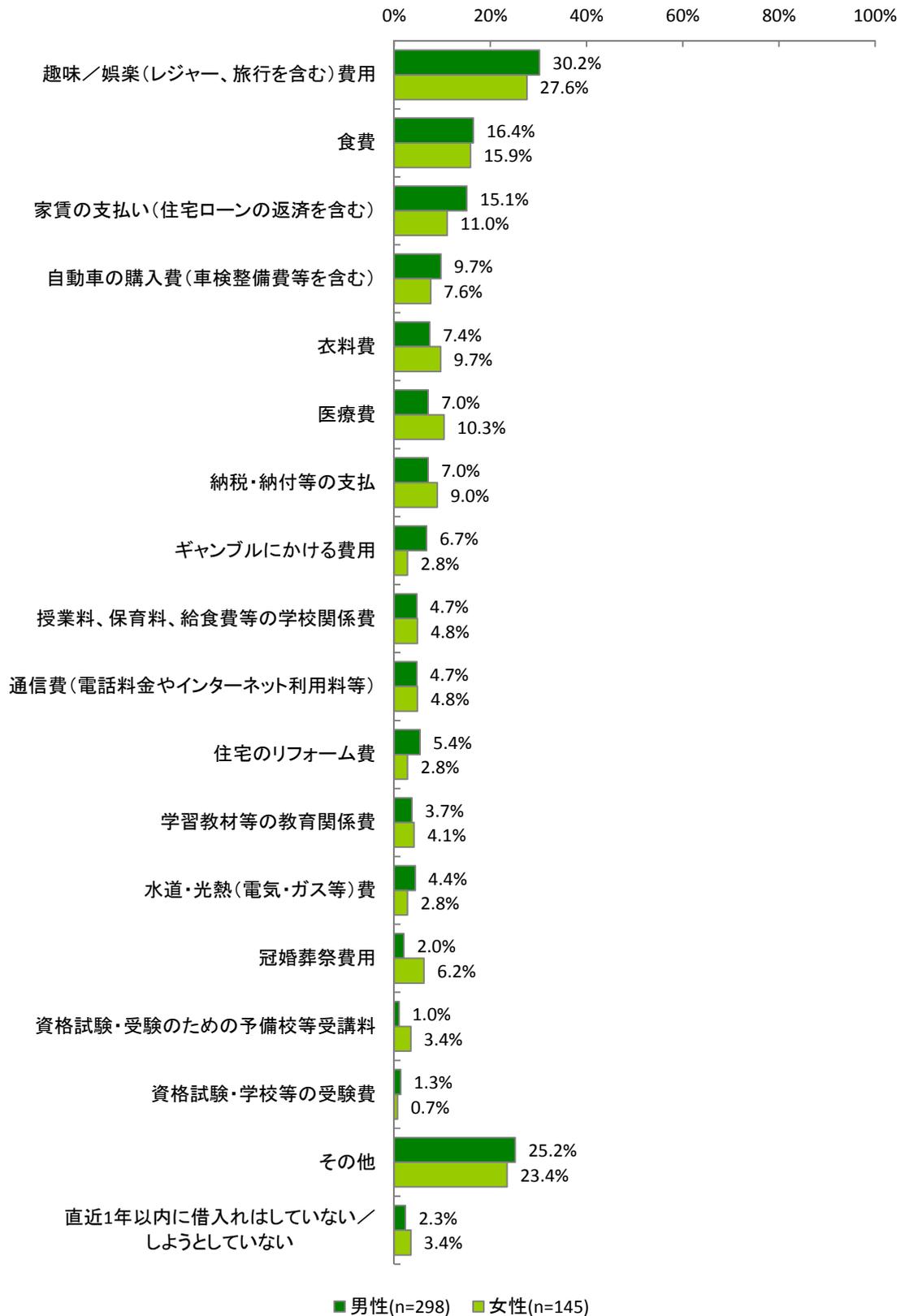
<図 3:直近1年以内に借入申込を行った際の資金使途(複数回答 n=443)>



(年代別区分)



(性別区分)



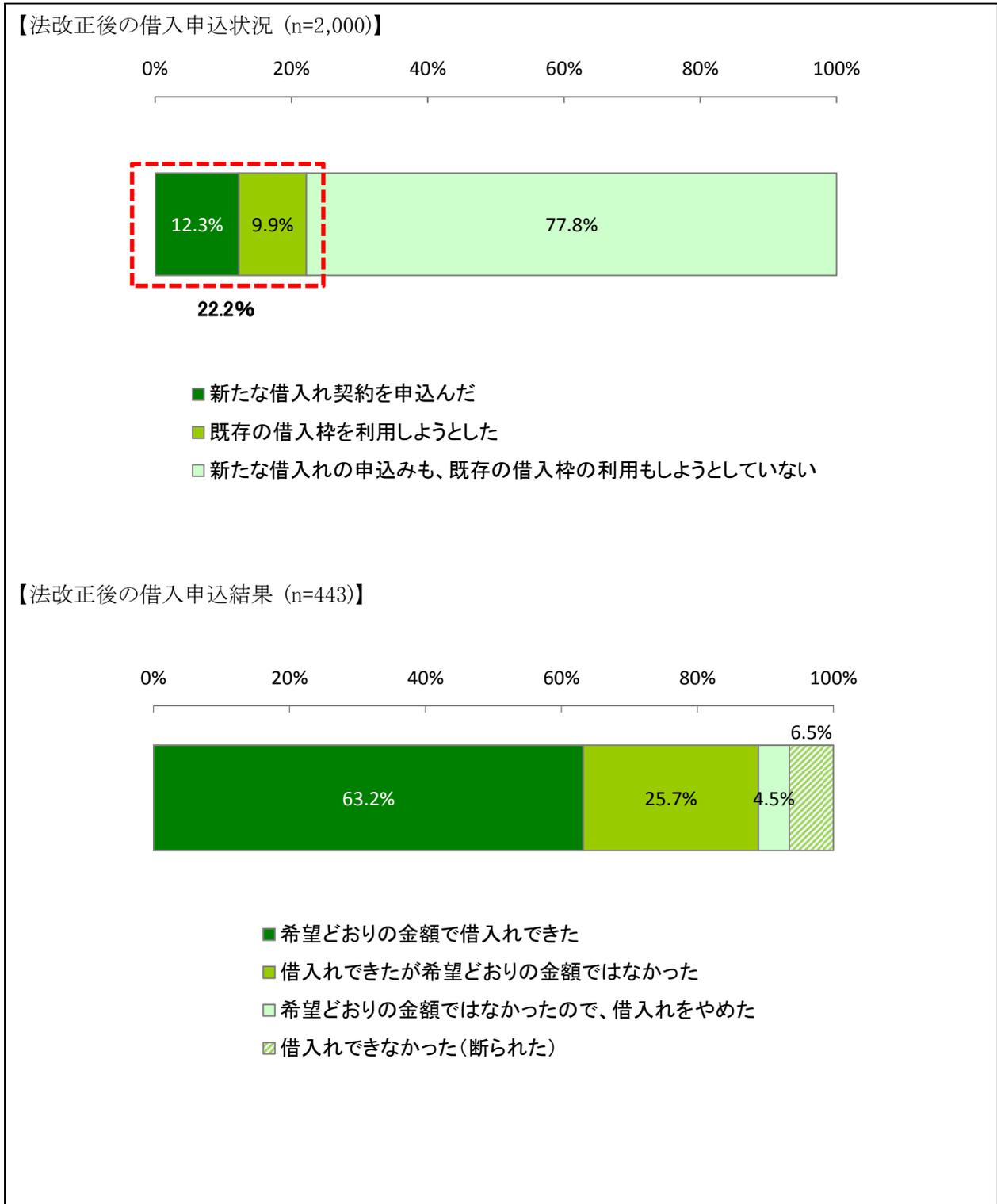
2. 借入行動とその変化

(1) 貸金業者への新たな借入申込状況・結果

① 貸金業者への借入申込状況・結果

- 借入経験のある個人の 22.2%が改正貸金業法の完全施行日以降に借入申込みを行い、そのうち 63.2%が希望どおりの借入れができたと回答している。

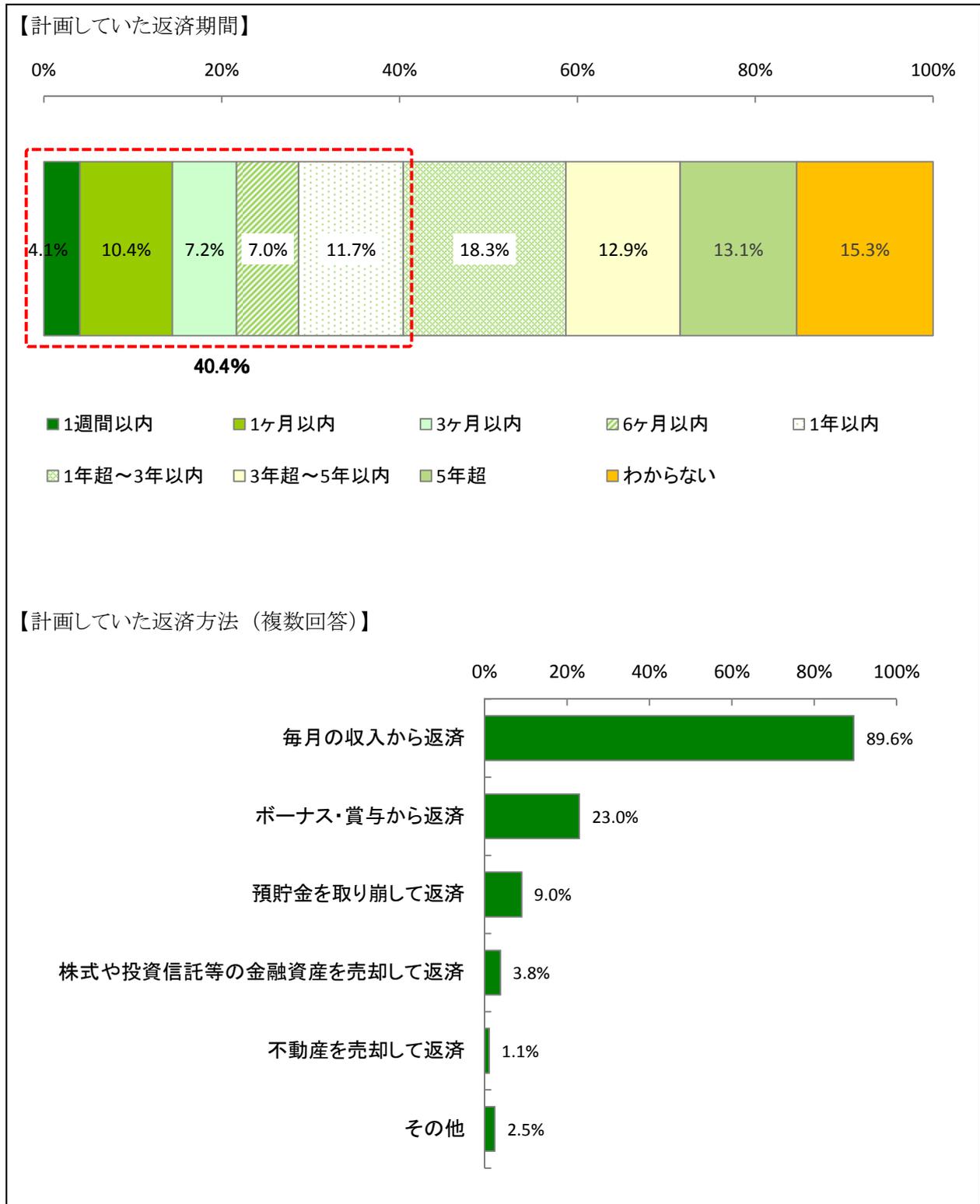
< 図 4:改正貸金業法完全施行後の借入申込状況・結果 >



② 計画していた返済期間・返済方法

- 借入れを申込みした際に計画していた返済期間をみると、40.4%が1年以内(「1週間以内」～「1年以内」)と回答しており、返済方法については「毎月の収入から返済する」と回答した割合が89.6%と最も高い結果となっている。

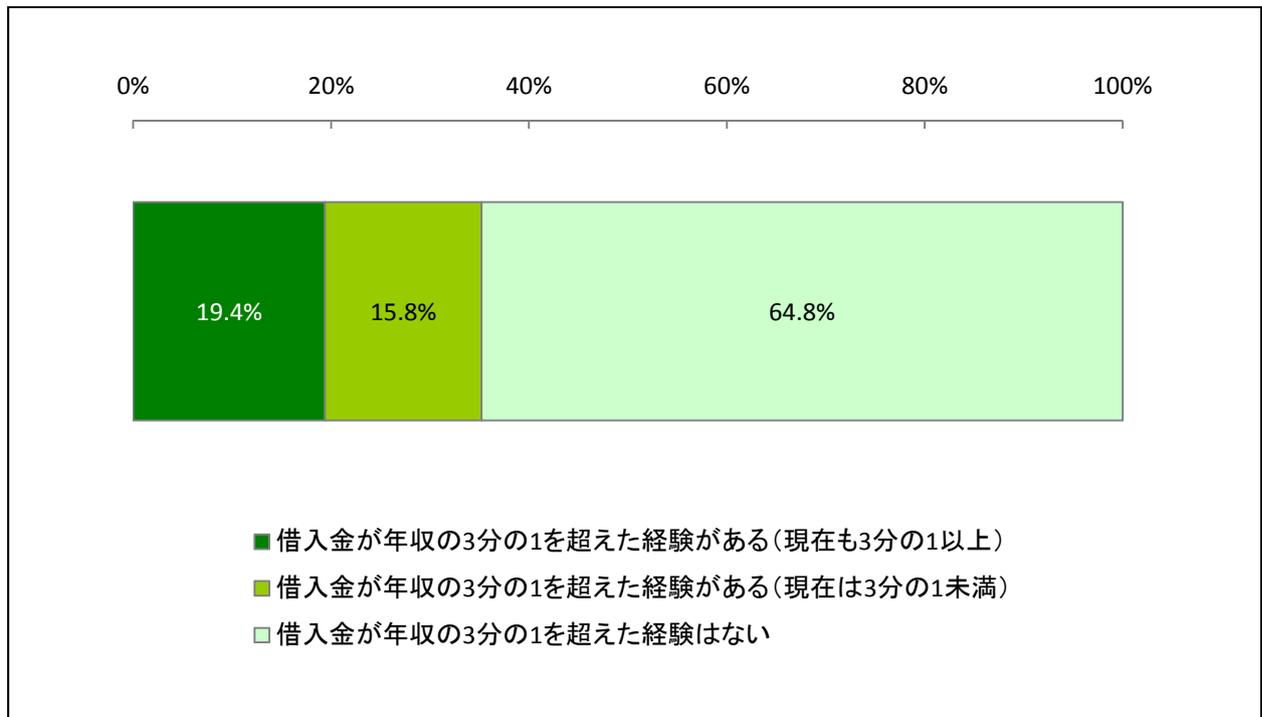
<図 5: 計画していた返済期間・返済方法 (n=443)>



③ 過去利用における総量規制該当の有無

- 借入経験のある個人に対して、貸金業者からの借入れが年収の3分の1を超えた経験の有無について調査したところ、64.8%が「借入金が年収の3分の1を超えた経験はない」と回答している。

<図 6: 総量規制該当の有無>

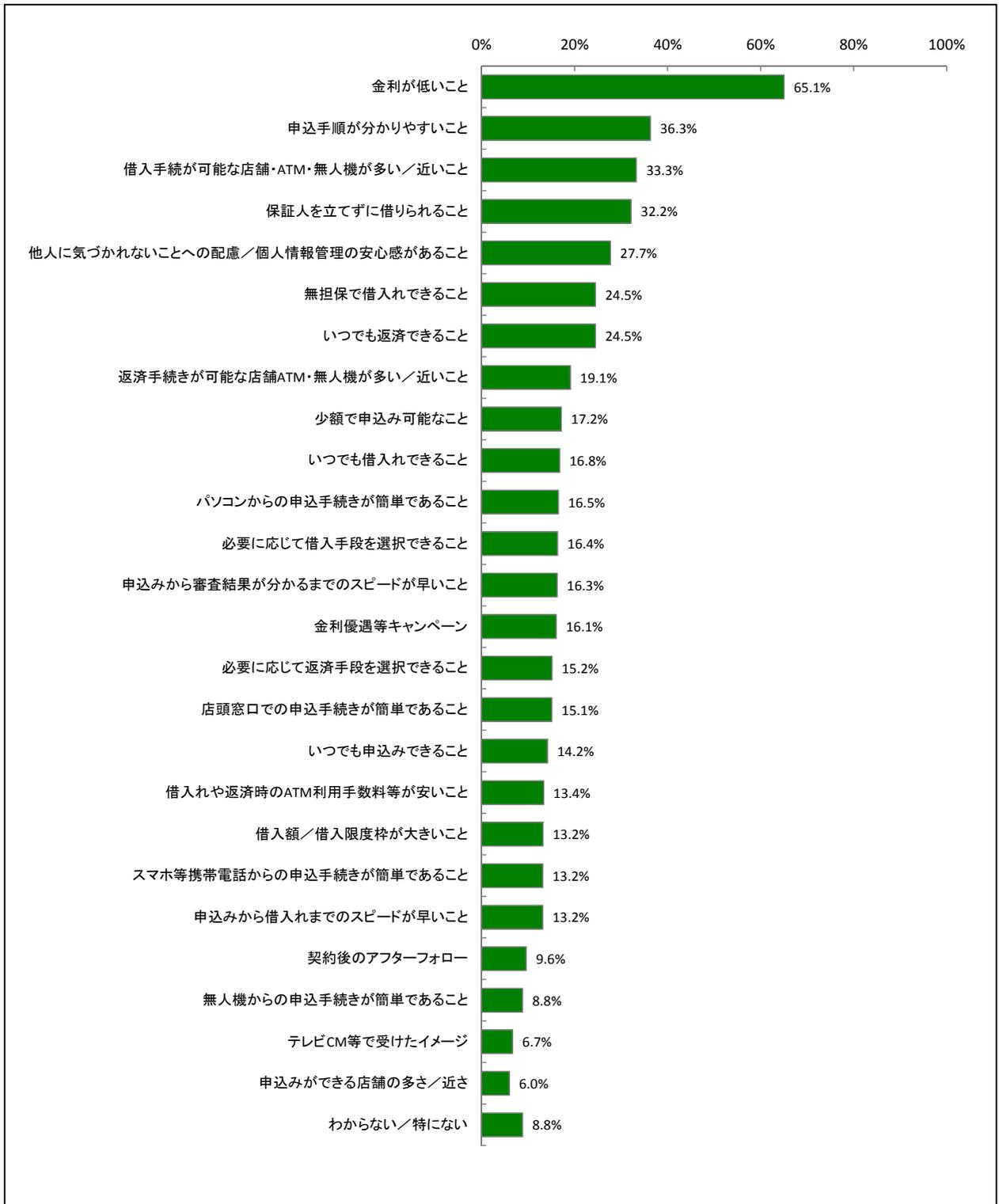


(2) 借入先を選ぶ際に検討した先と選んだ理由

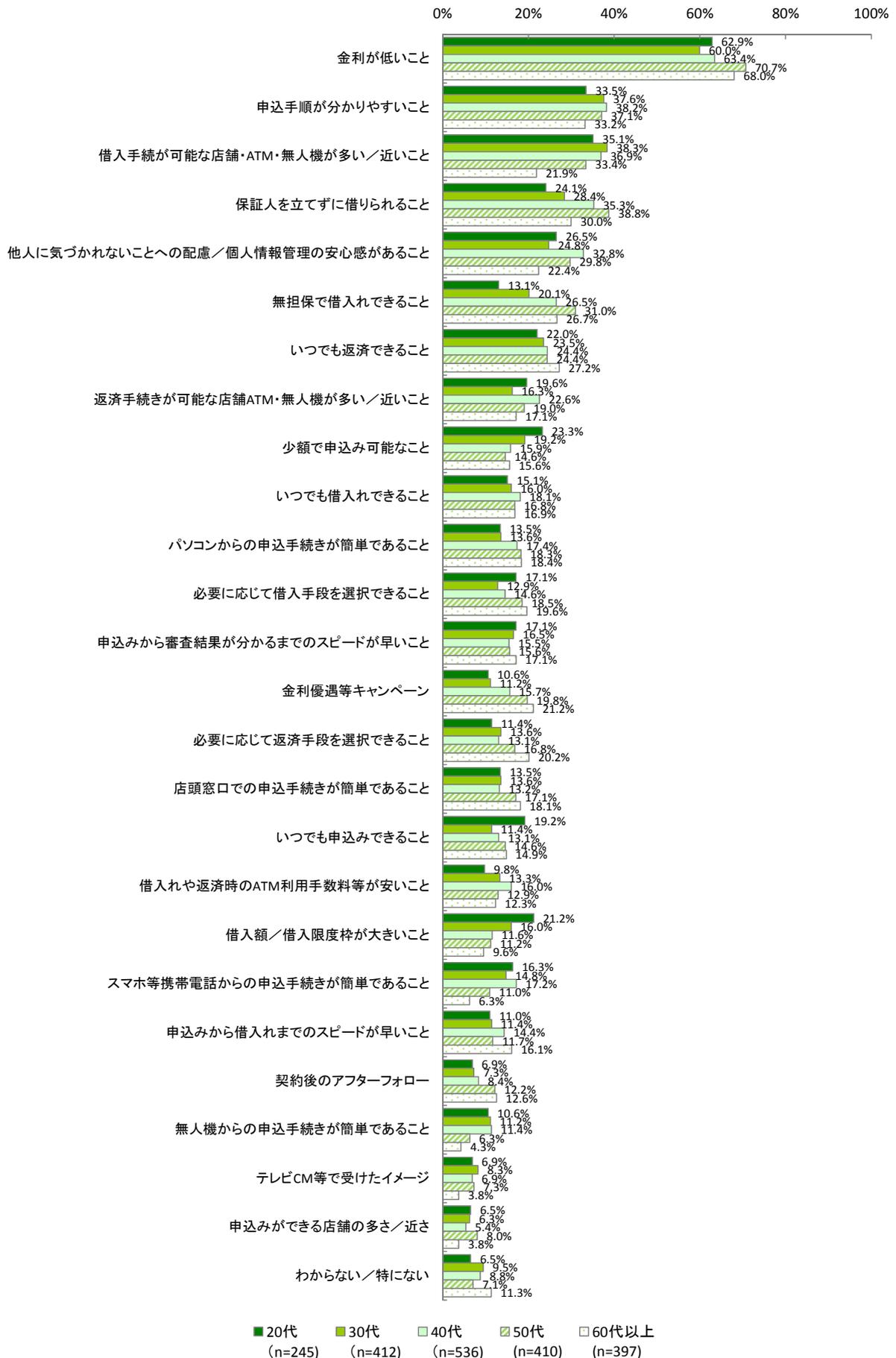
① 借入先を選定する際に重視するポイント

- 借入経験のある個人に対して、借入先を選定する際に重視するポイントを調査したところ、「金利が低いこと」と回答した割合が65.1%と最も高く、次いで「申込手順が分かりやすいこと」が36.3%、「借入手続きが可能な店舗・ATM・無人機が多い/近いこと」が33.3%となった。

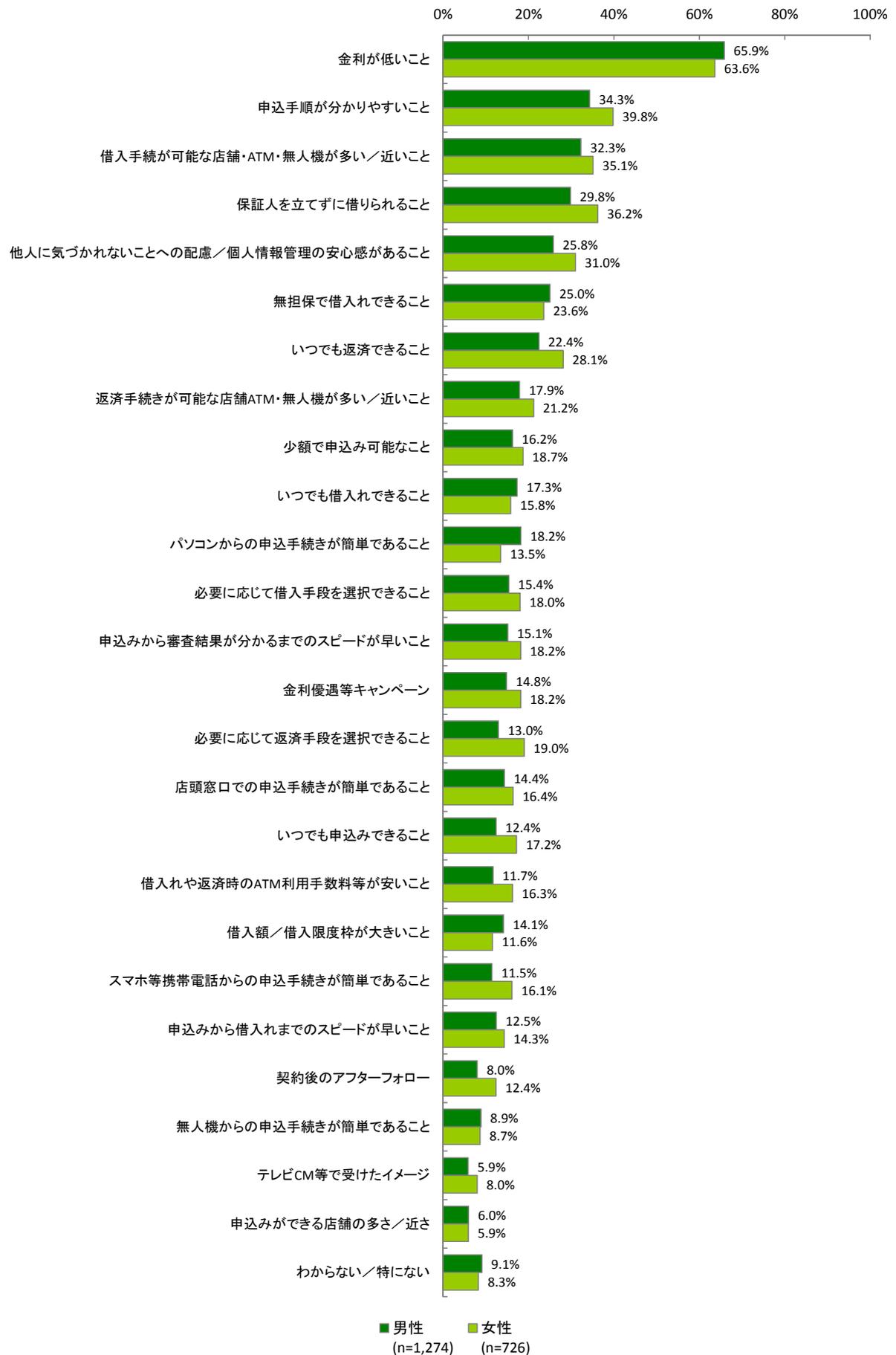
<図 7:借入先を選定する際に重視するポイント（複数回答 n=2,000）>



(年代別区分)



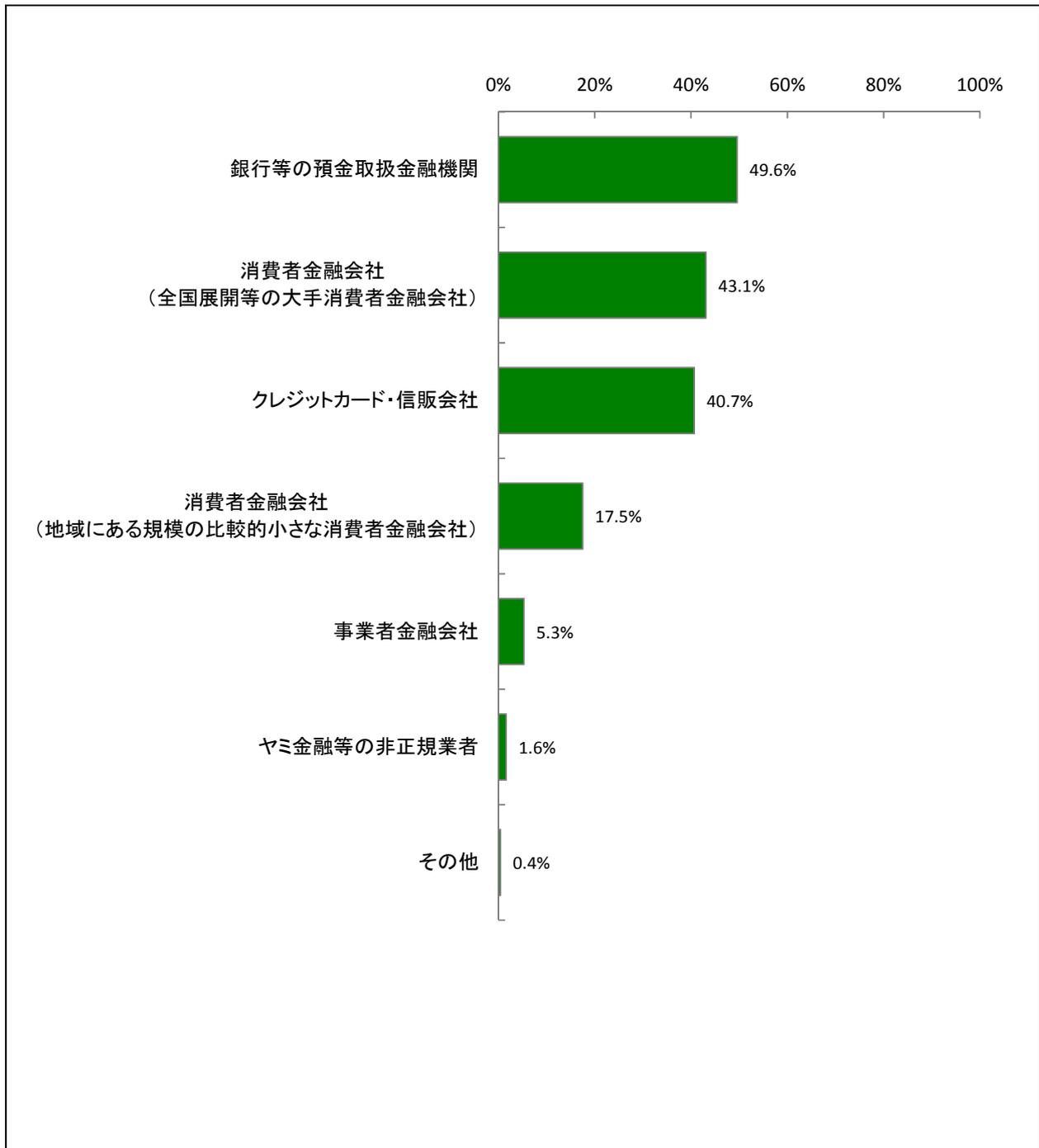
(性別区分)



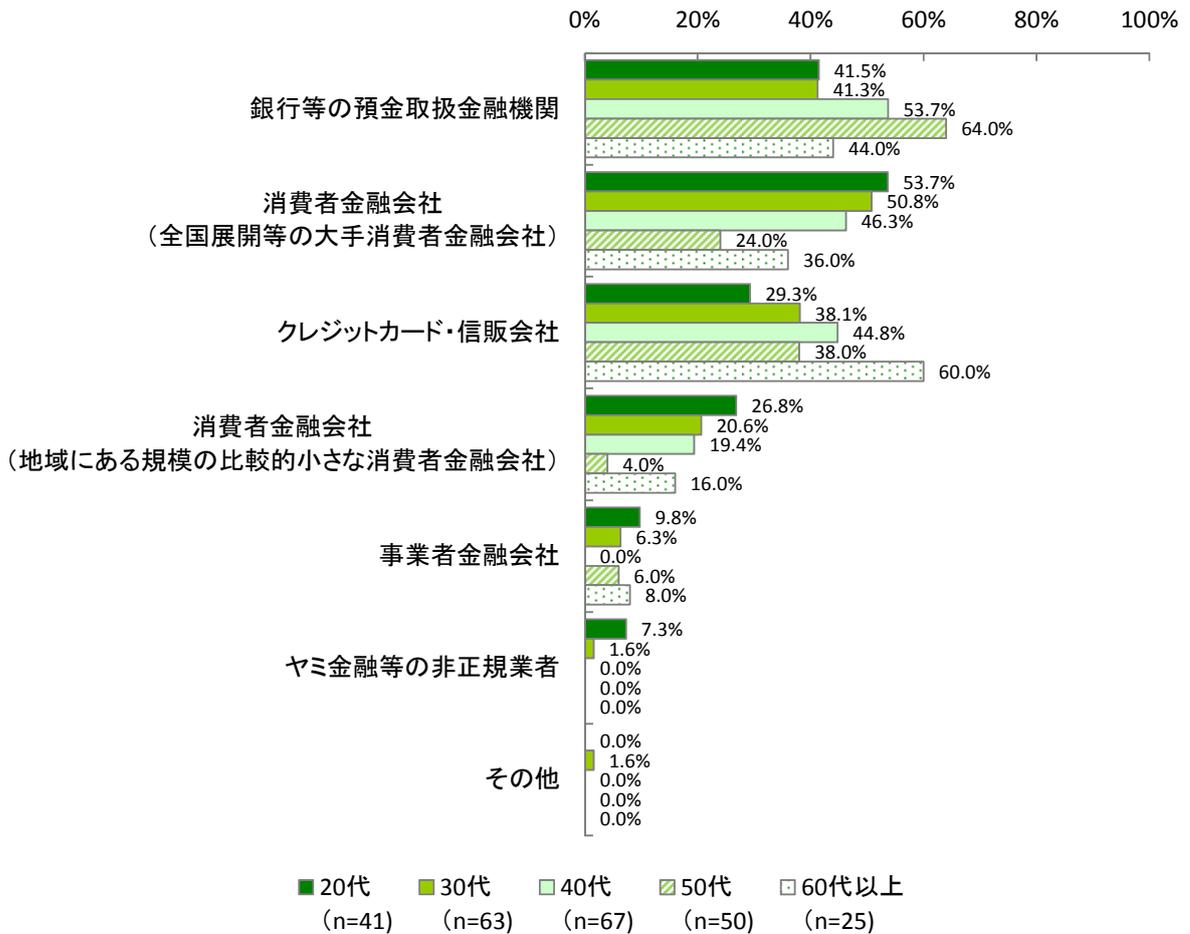
② 借入先として検討した先・選んだ理由

- 借入経験のある個人に対して、借入先として検討した先について調査を行ったところ、「銀行等の預金取扱金融機関」と回答した割合が49.6%と最も高く、次いで「消費者金融会社(全国展開等の大手消費者金融会社)」が43.1%、「クレジットカード・信販会社」が40.7%となった。
- さらに、年代別にみると、20代と30代では「消費者金融会社(全国展開等の大手消費者金融会社)」、40代と50代では「銀行等の預金取り扱い金融機関」、60代以上では「クレジットカード・信販会社」と回答した割合が最も高くなった。

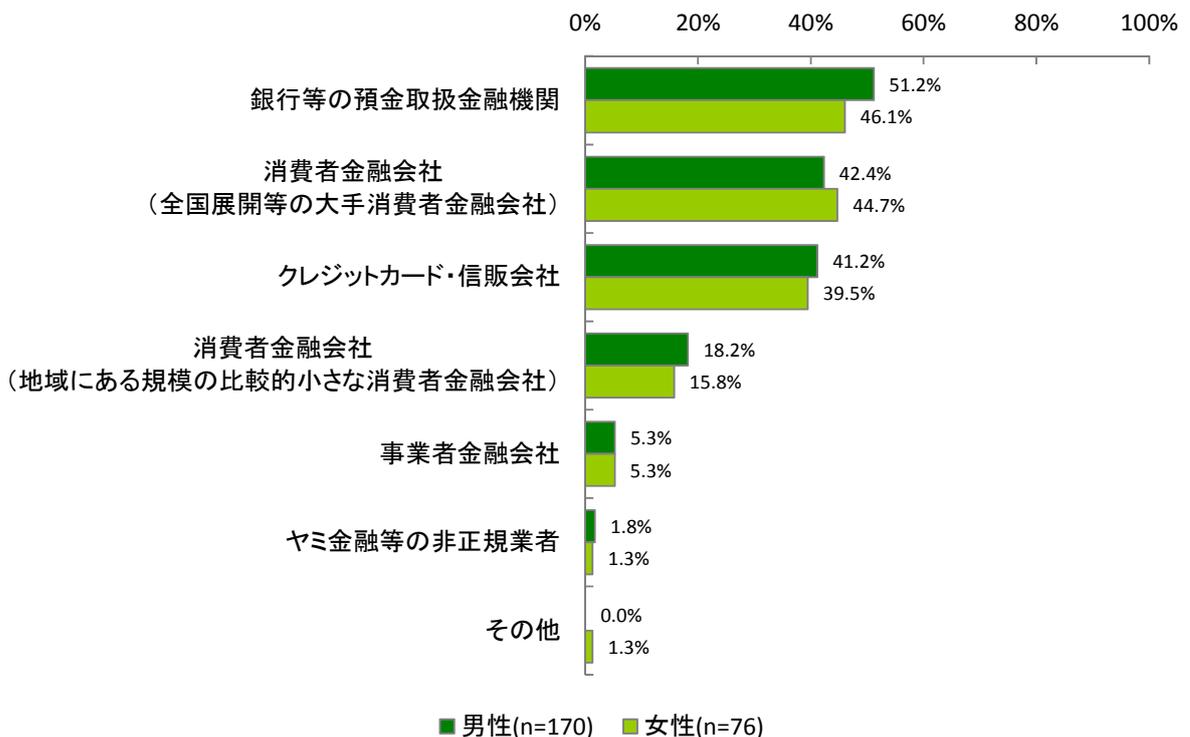
<図 8:借入先として検討した先 (複数回答 n=246)>



(年代別区分)

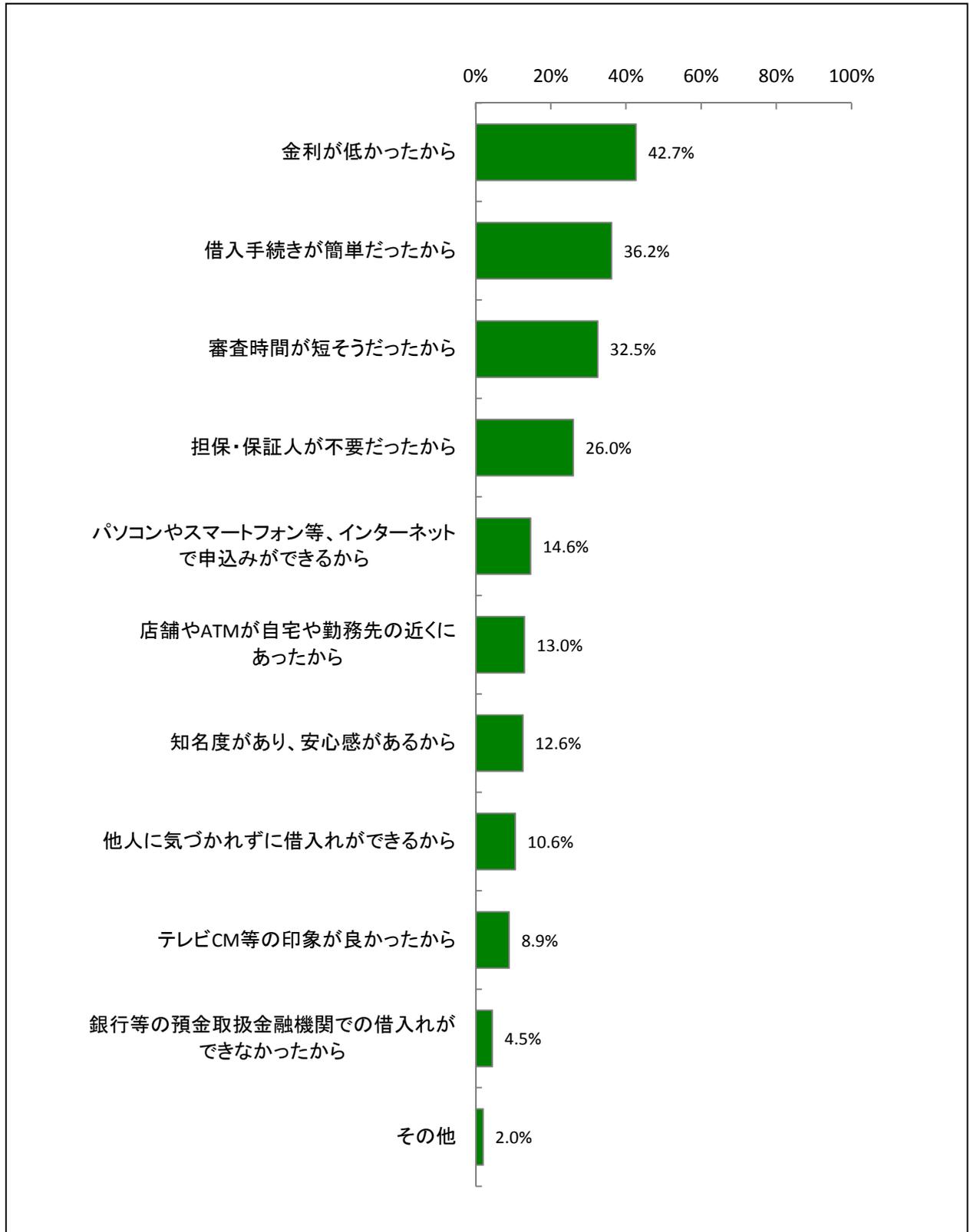


(性別区分)

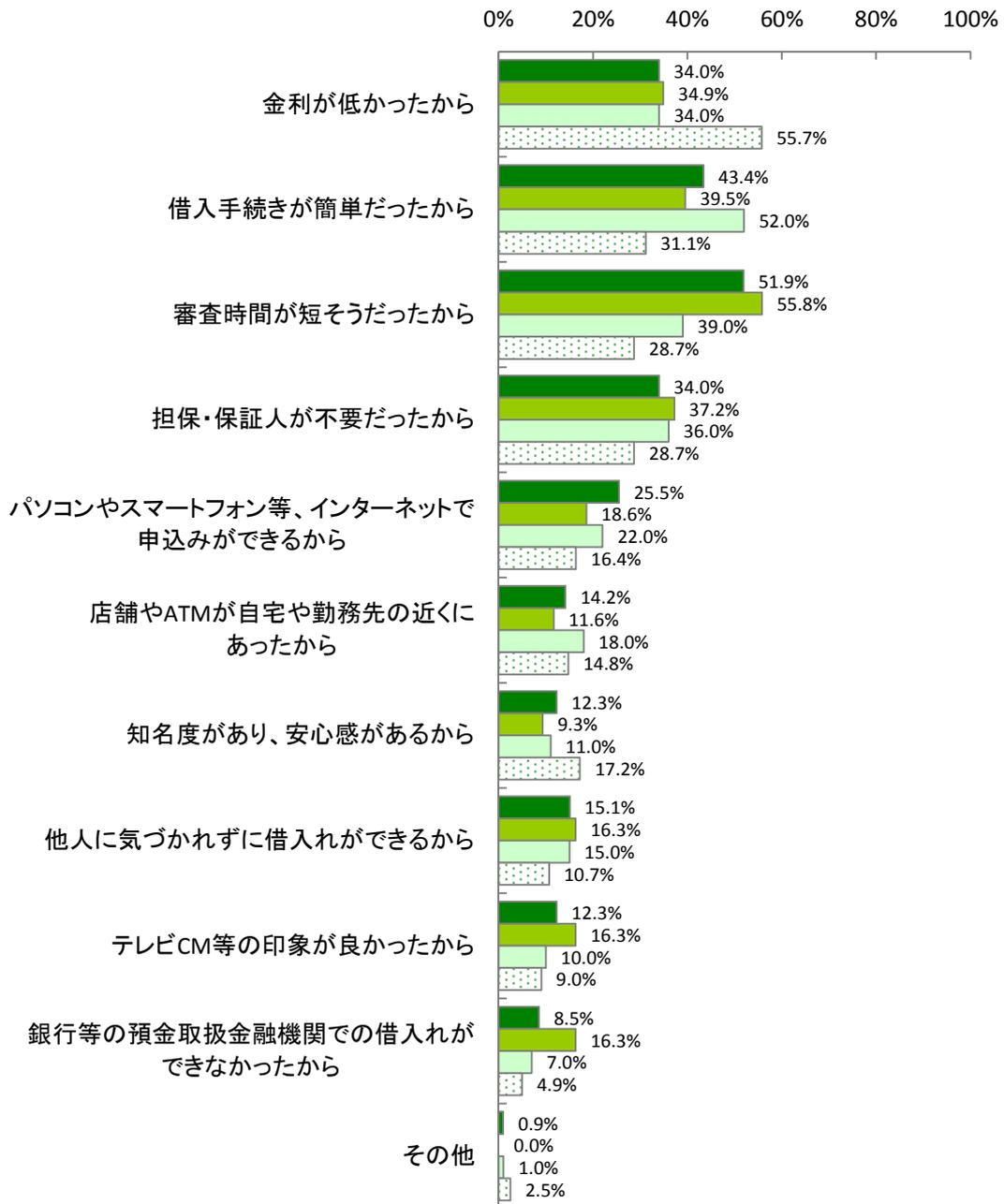


- 借入先を選定した理由については、「金利が低かったから」と回答した割合が 42.7%と最も高く、次いで「借入手続きが簡単だったから」が 36.2%と続いている。

<図 9:借入先として選んだ理由（複数回答 n=246）>

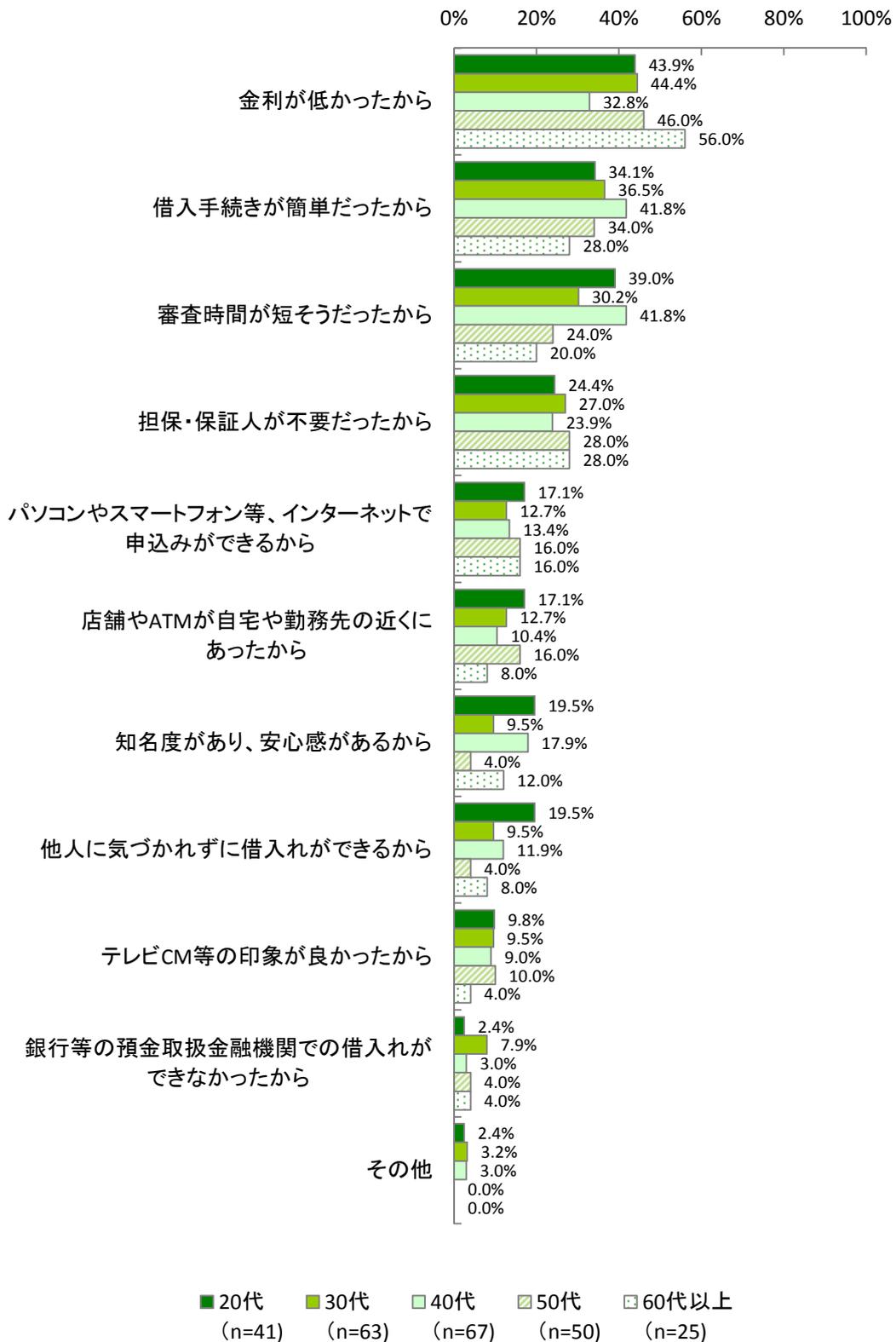


(借入検討先別区分)

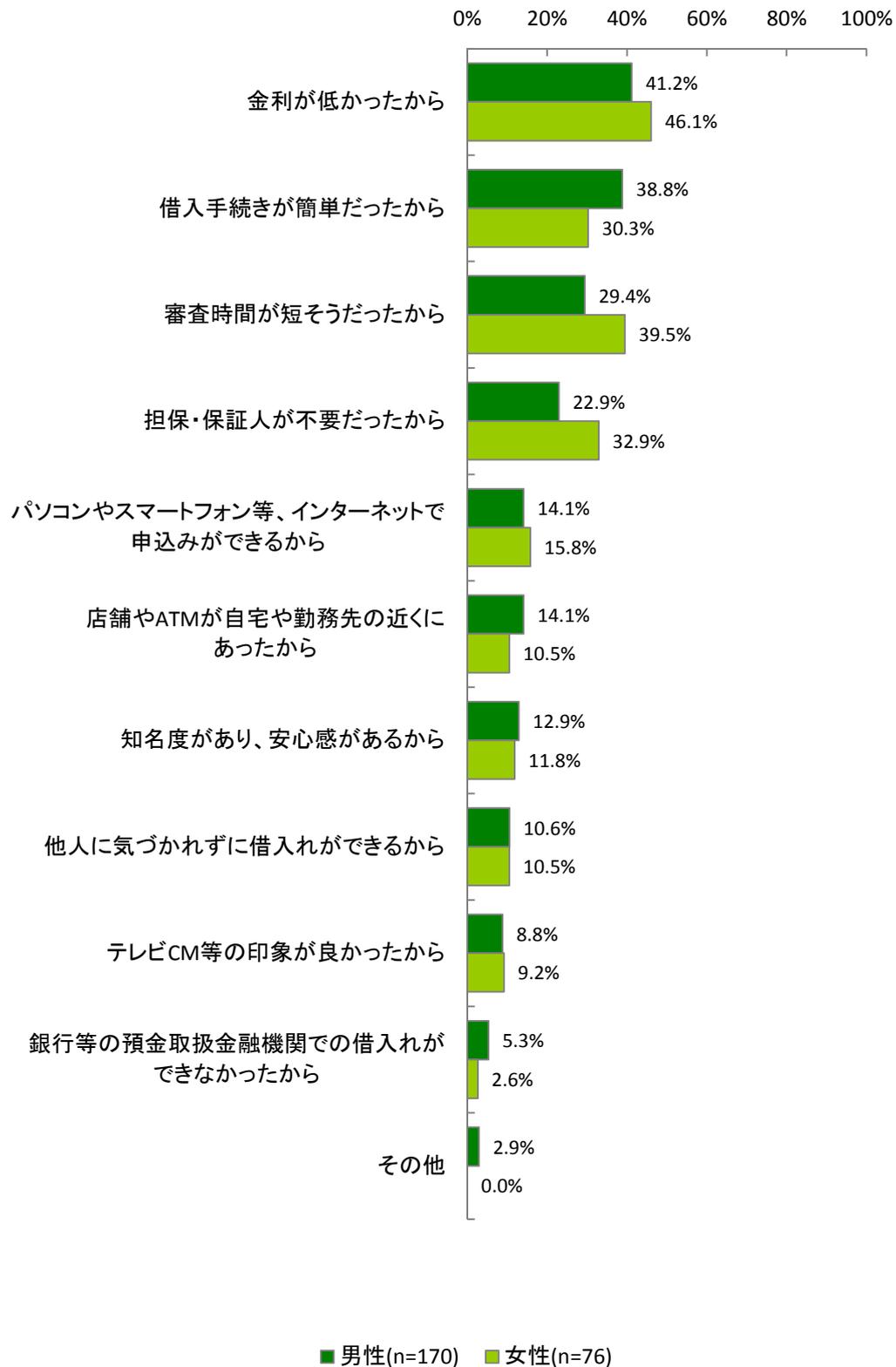


- 消費者金融会社(全国展開等の大手消費者金融会社)
(n=106)
- 消費者金融会社(地域にある規模の比較的小さな消費者金融会社)
(n=43)
- クレジットカード・信販会社
(n=100)
- 銀行等の預金取扱金融機関
(n=122)

(年代別区分)



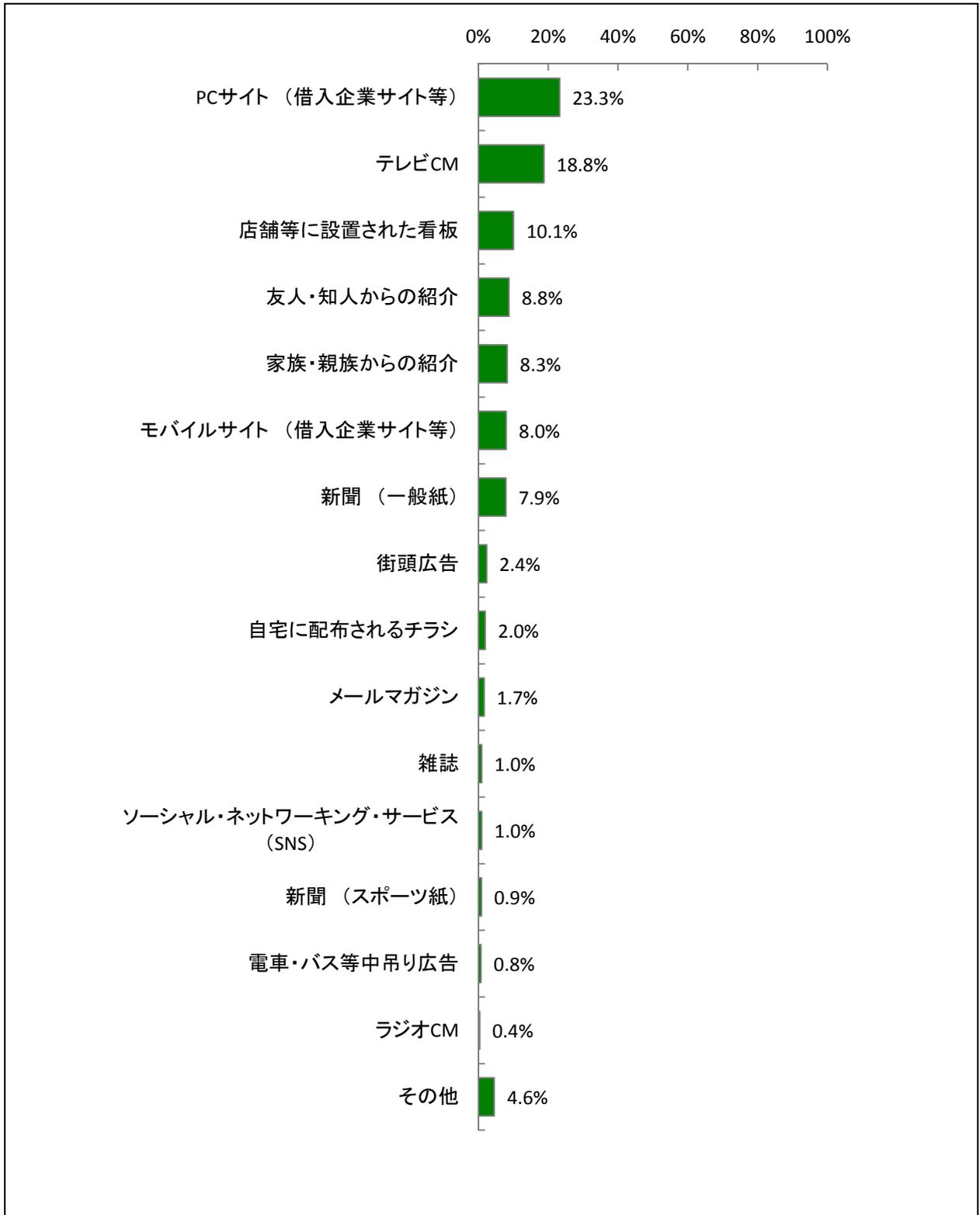
(性別区分)



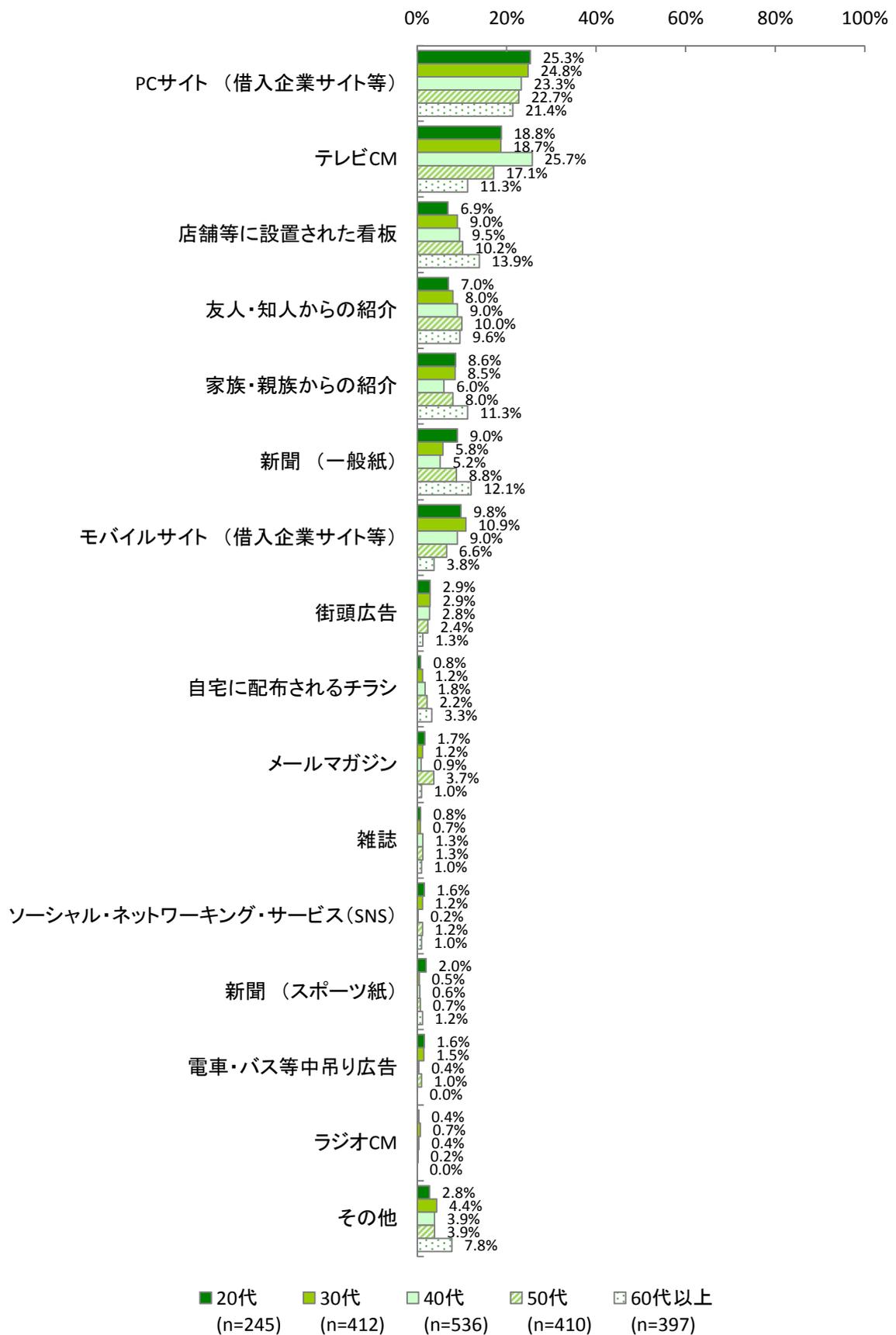
③ 借入先を選定する際の情報源

- 借入先を選定する際の情報源をみると、「PCサイト(借入企業サイト等)」と回答した割合が23.3%と最も高く、次いで「テレビCM」が18.8%、「店舗等に設置された看板」が10.1%となった。

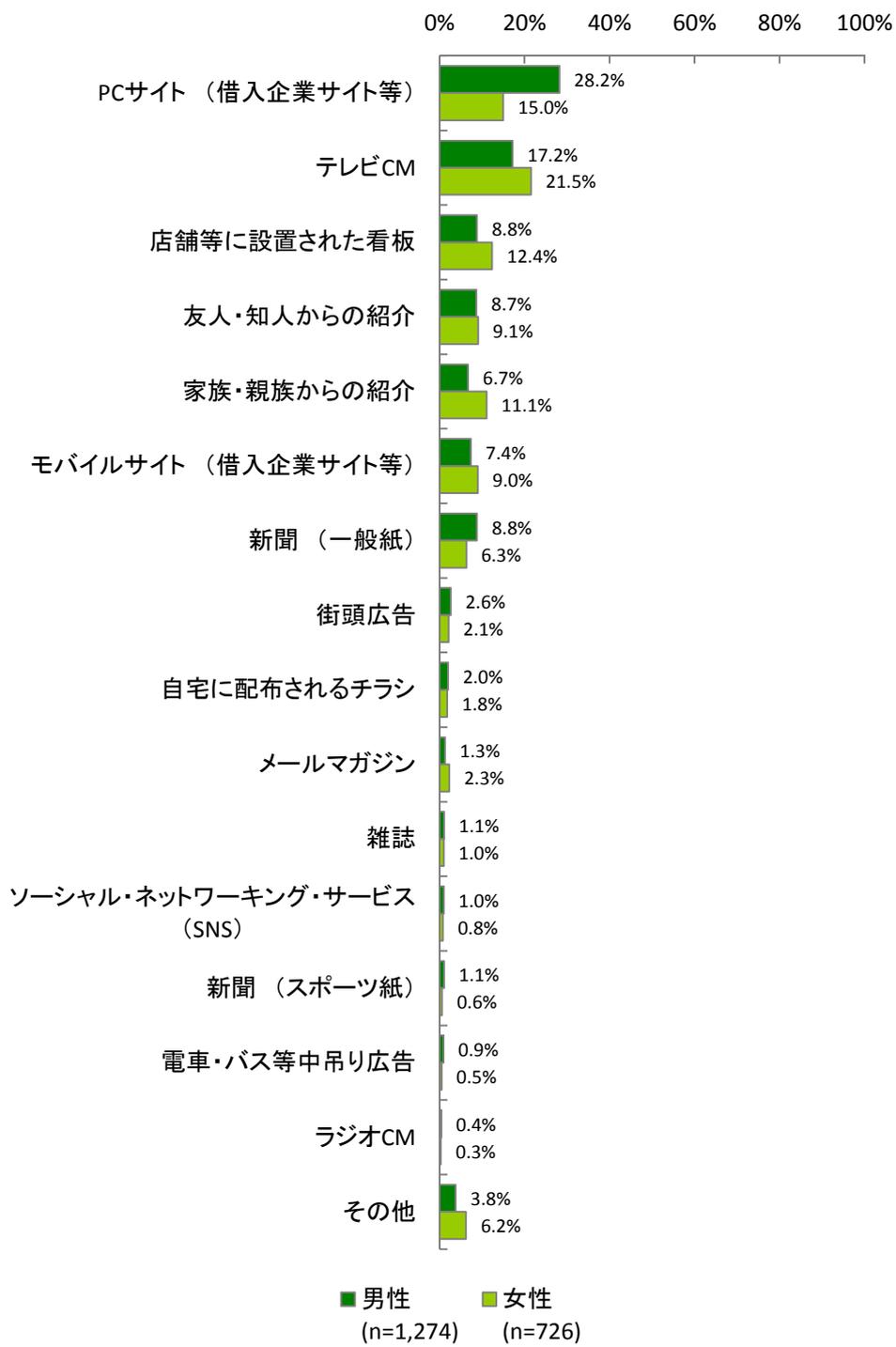
<図 10:借入先を選定する際の情報源 (n=2,000)>



(年代別区分)



(性別区分)

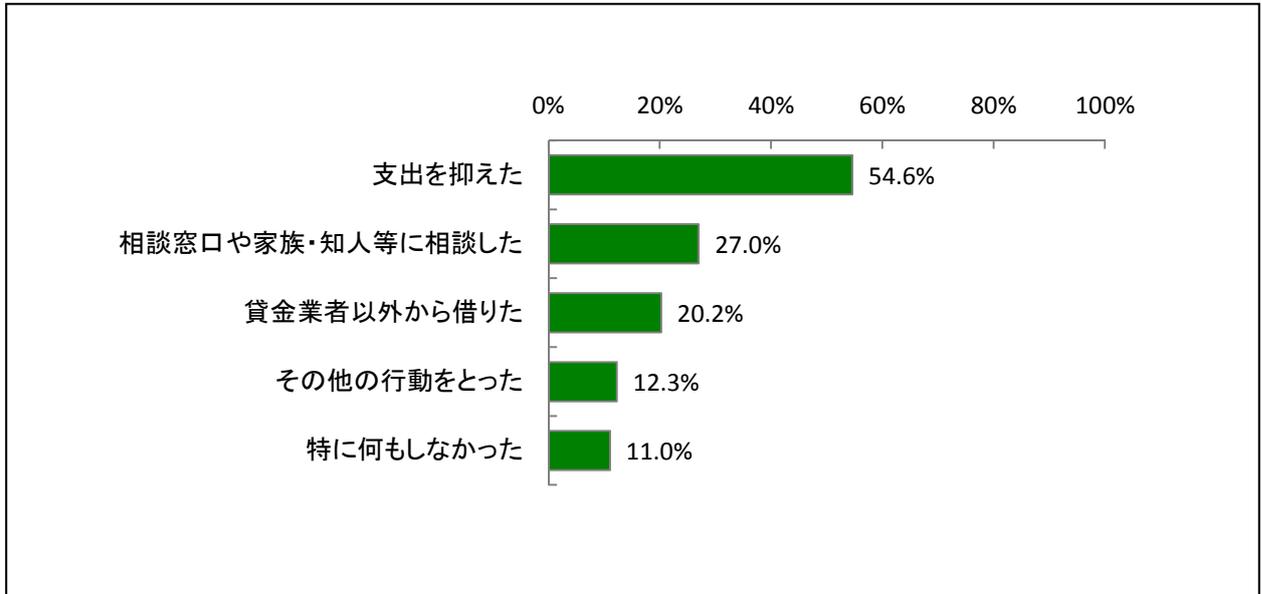


(3) 借入れできなくなった際に行った行動

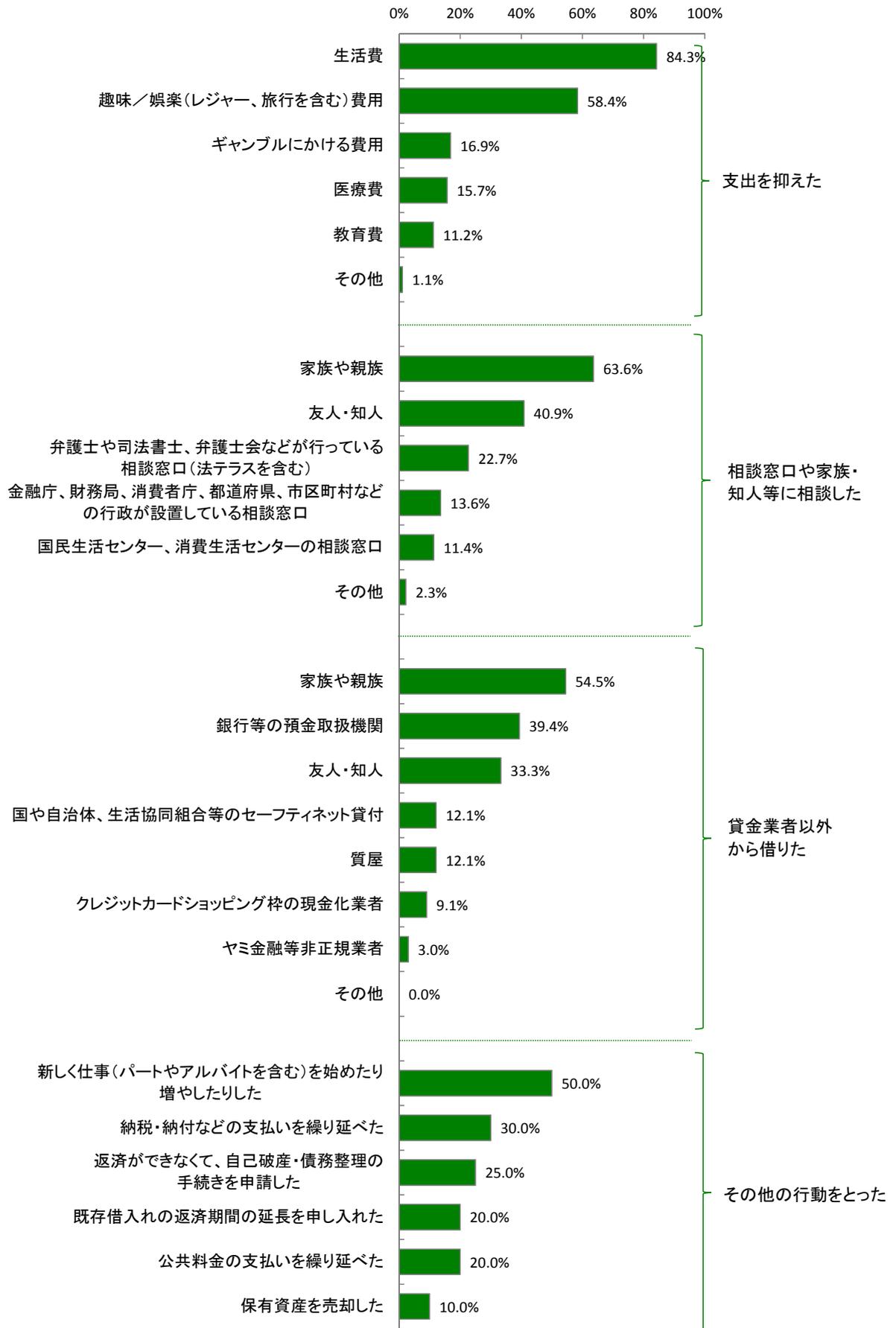
① 借入れできなくなった(申込まなかった)際に行った行動

- 借入経験のある個人に対して、借入れできなくなった(申し込みなかった)際に行った行動について調査したところ、「支出を抑えた」と回答した割合が54.6%と最も高く、次いで「相談窓口や家族・知人等に相談した」が27.0%、「貸金業者以外から借りた」が20.2%となった。

<図 11:借入れできなくなった際に行った行動 (複数回答 n=163)>



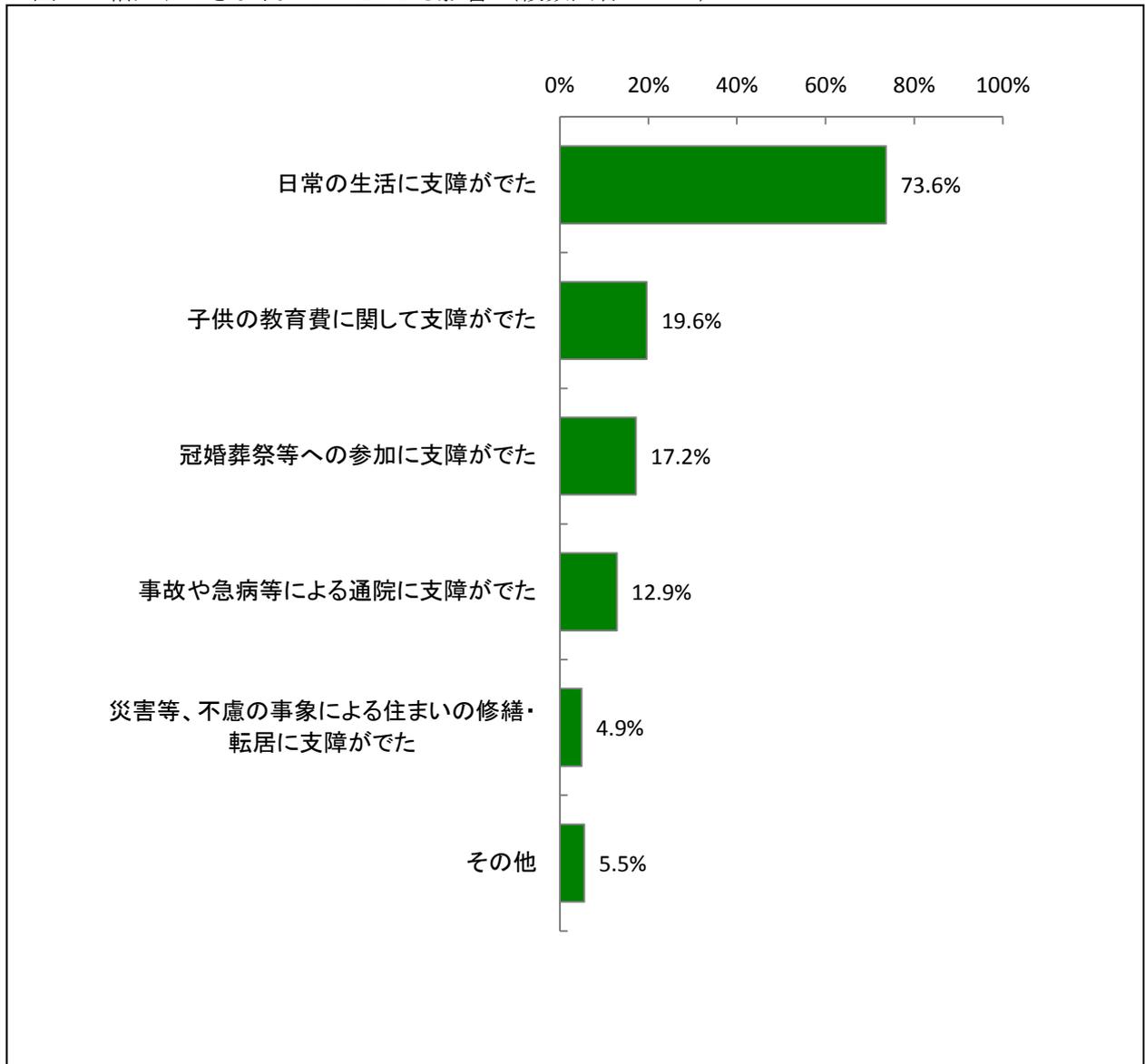
(借入ができなくなった際に行った行動の詳細)



② 借入れできなくなったことによる影響

- 希望どおりの借入れができなくなったことによる影響については、「日常生活に支障がでた」が73.6%と最も高く、次いで「子供の教育費に関して支障がでた」が19.6%と続いている。

<図 12:借入れできなくなったことによる影響 (複数回答 n=163)>

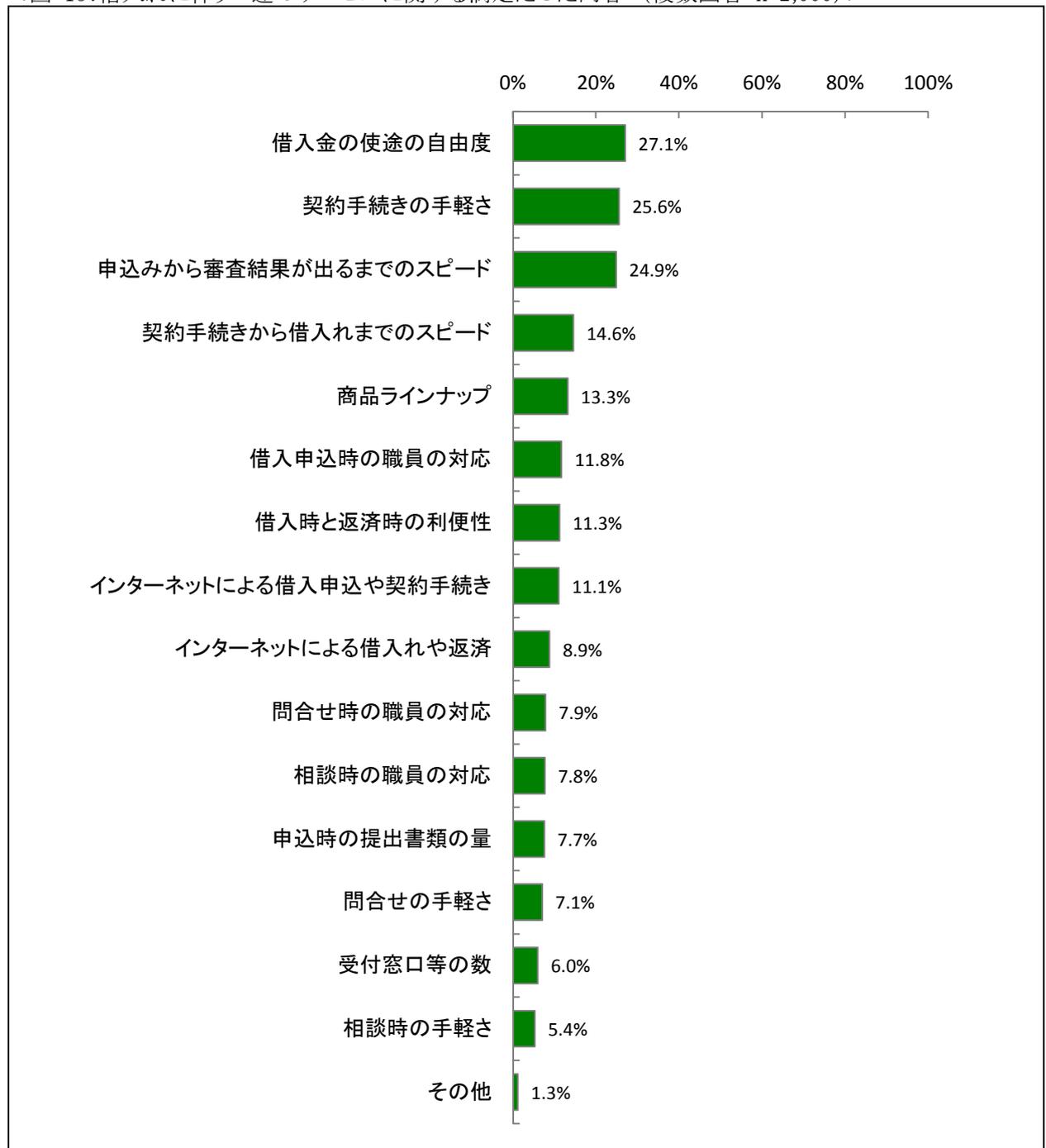


(4) 借入れに伴う一連のサービスに関する満足度

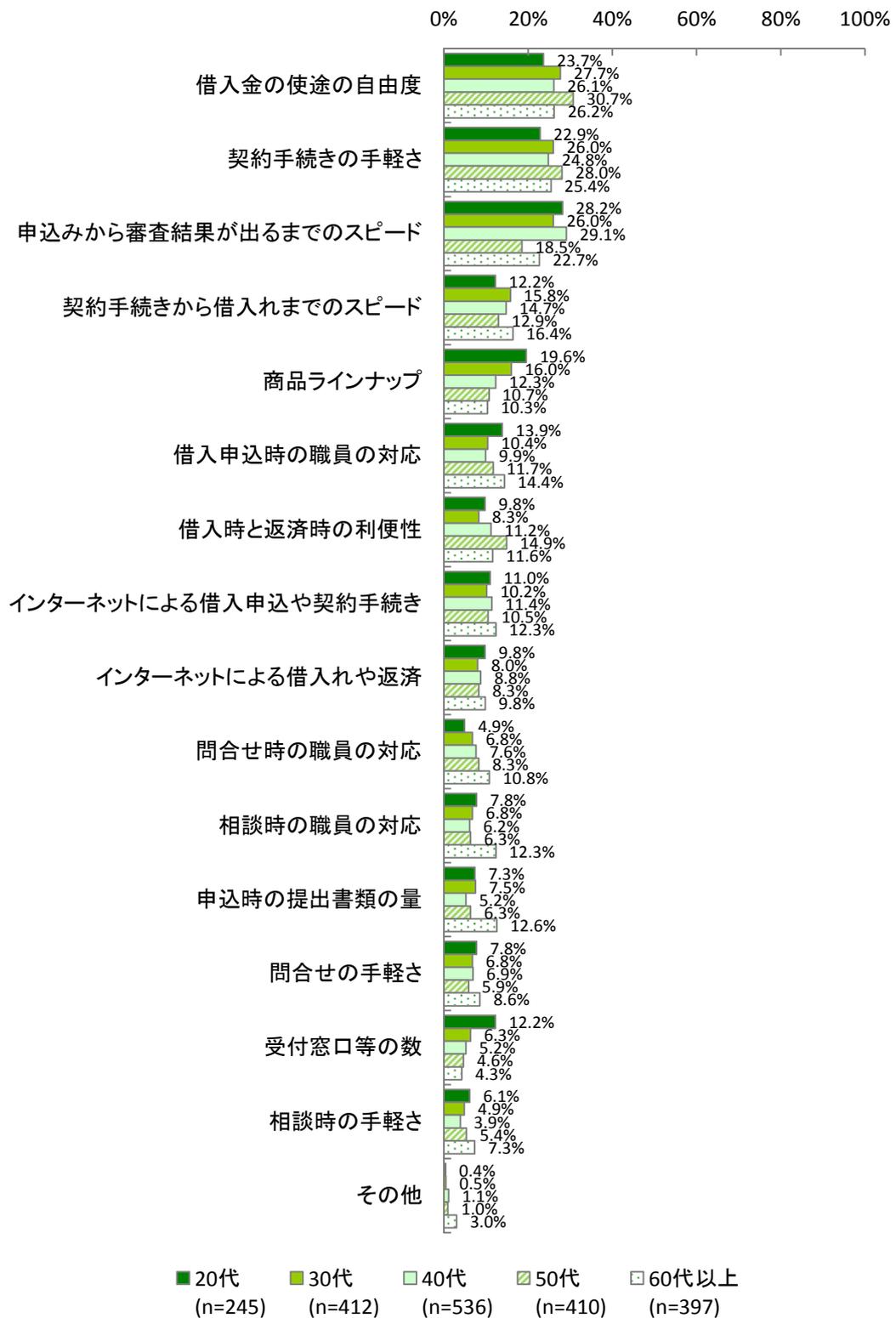
① 借入れに伴う一連のサービスについて満足であった内容

- 借入経験のある個人に対して、借入れに伴う一連のサービスについて満足であった内容を調査したところ、「借入金の使途の自由度」が27.1%と最も高く、次いで「契約手続きの手軽さ」が25.6%、「申込みから審査結果が出るまでのスピード」が24.9%となった。
- さらに、男女別に満足であった内容をみると、男性では「借入金の使途の自由度」、「申込みから審査結果が出るまでのスピード」が女性よりも高い結果となった。一方、女性では「インターネットによる借入申込や契約手続き」、「借入申込時の職員の対応」が男性よりも高い結果となっている。

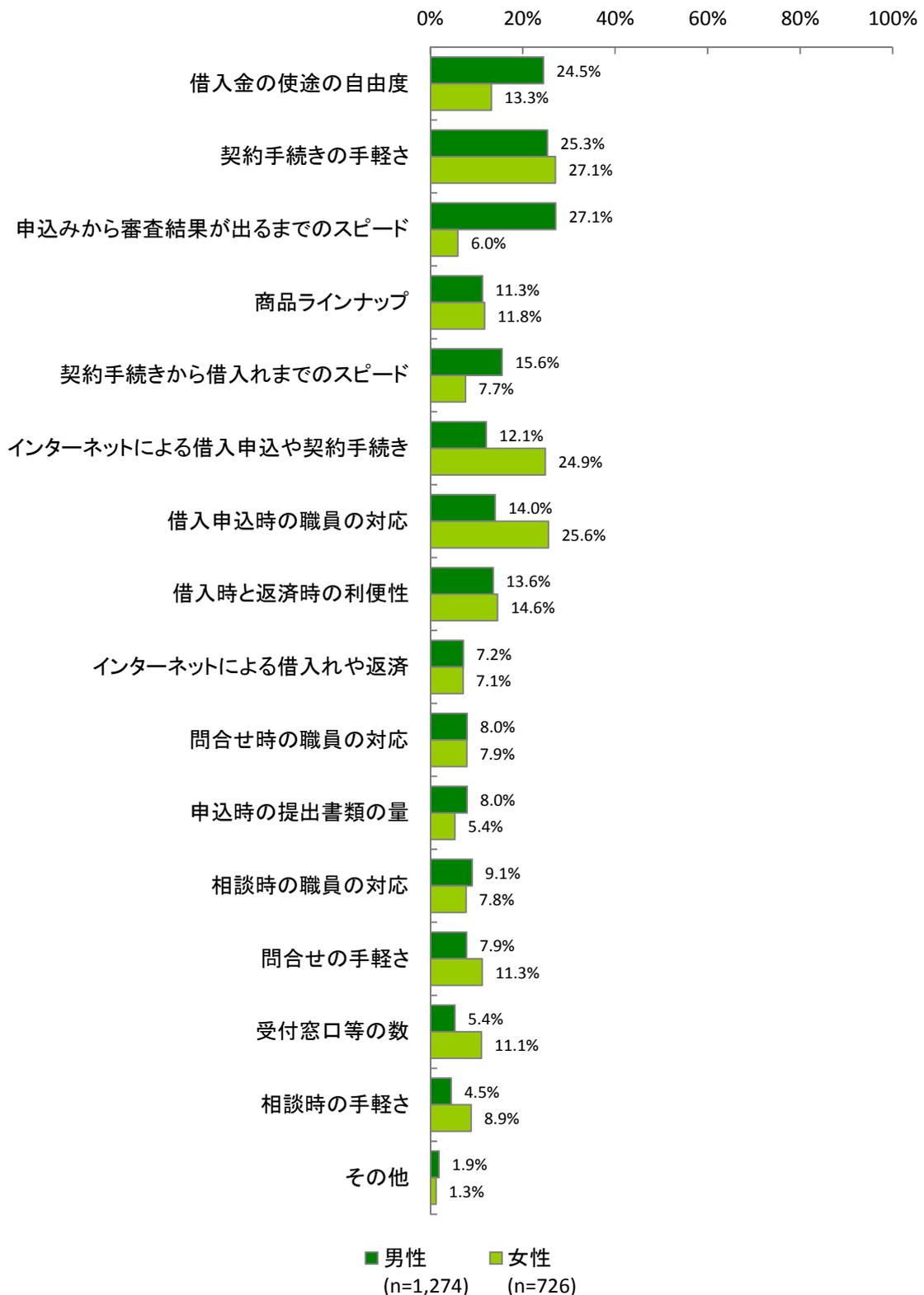
<図 13:借入れに伴う一連のサービスに関する満足だった内容（複数回答 n=2,000）>



(年代別区分)



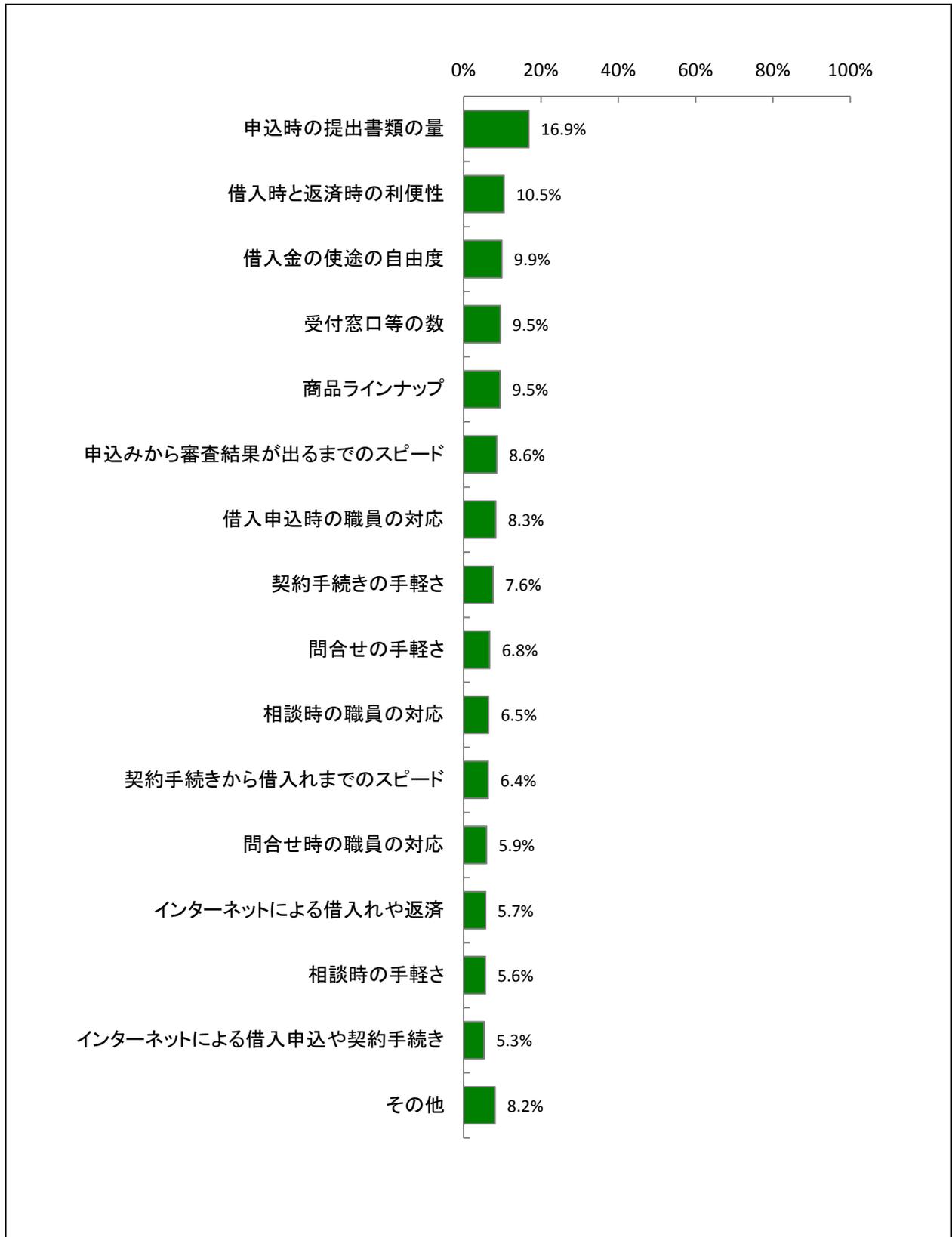
(性別区分)



② 借入れに伴う一連のサービスについて不満足であった内容

- 借入れに伴う一連のサービスについて不満足であった内容については、「申込時の提出書類の量」が16.9%と最も高く、次いで「借入時と返済時の利便性」が10.5%と続いている。

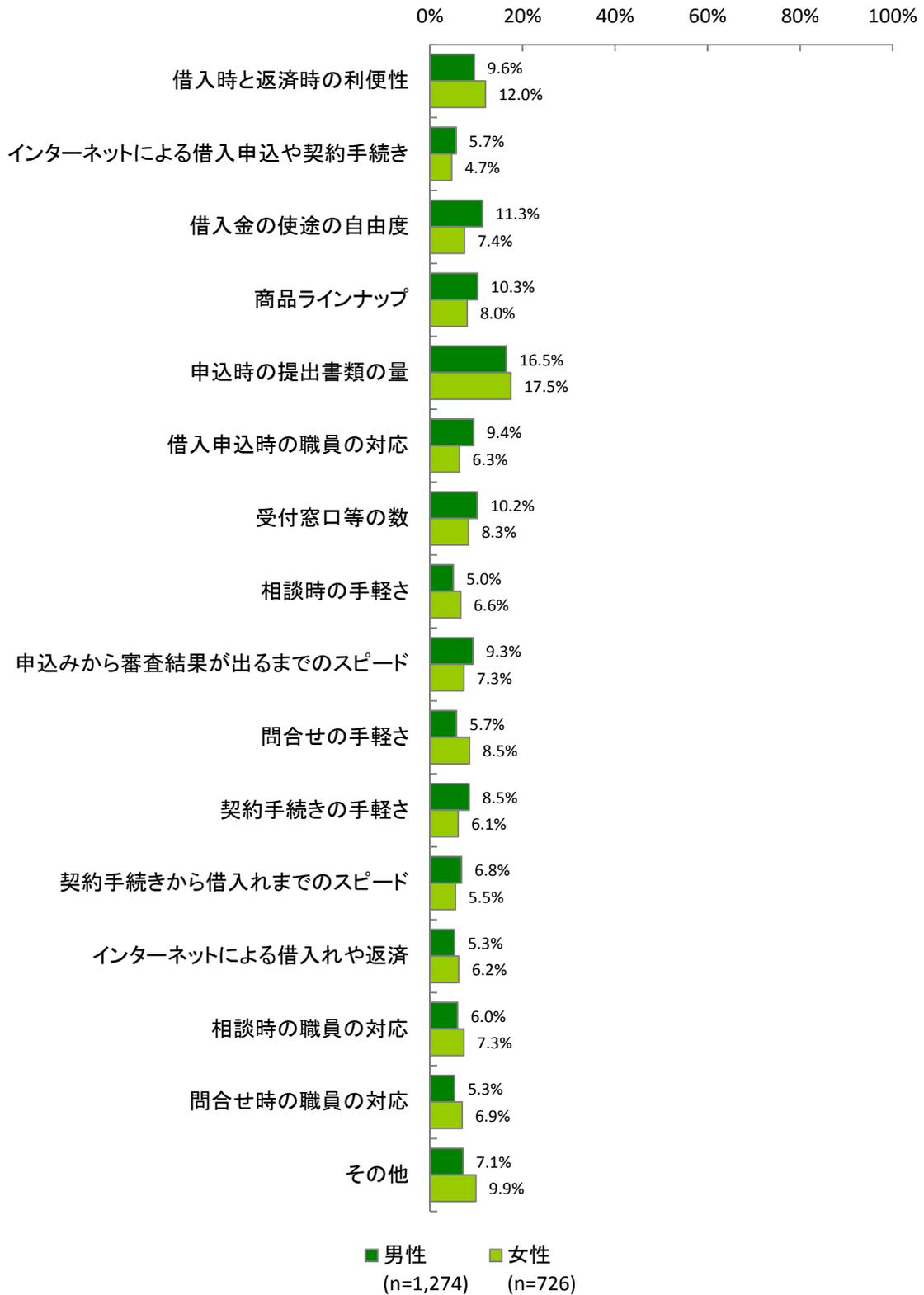
<図 14:借入れに伴う一連のサービスに関する不満足だった内容（複数回答 n=2,000）>



(年代別区分)



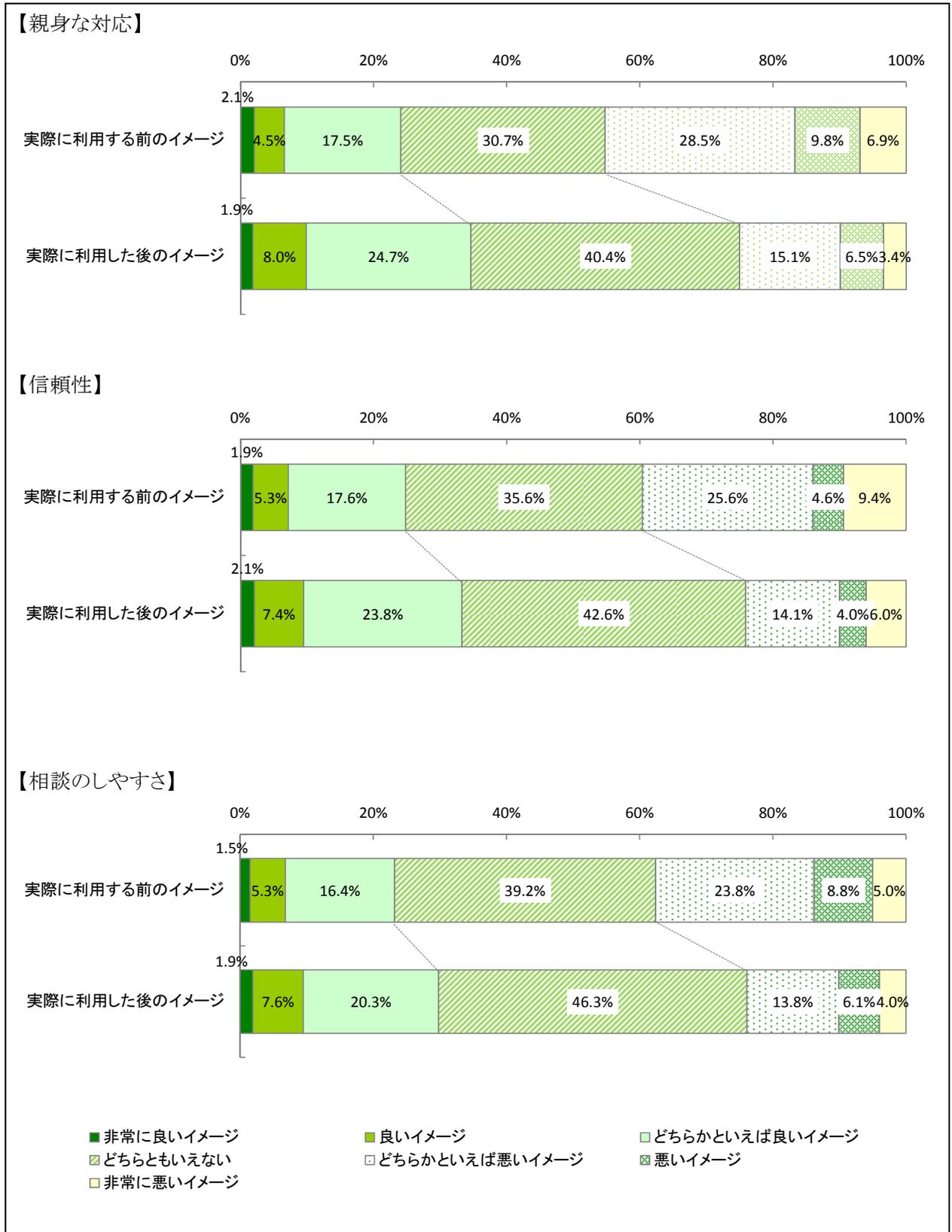
(性別区分)



(5) 貸金業者に対する印象の変化

- 借入経験のある個人に対して、貸金業者に対する印象の変化について調査したところ、実際に利用した後では、良いイメージと回答した割合が利用する前に比べて全ての項目で高くなった。一方、悪いイメージと回答した割合は利用する前に比べて全ての項目で低くなっている。

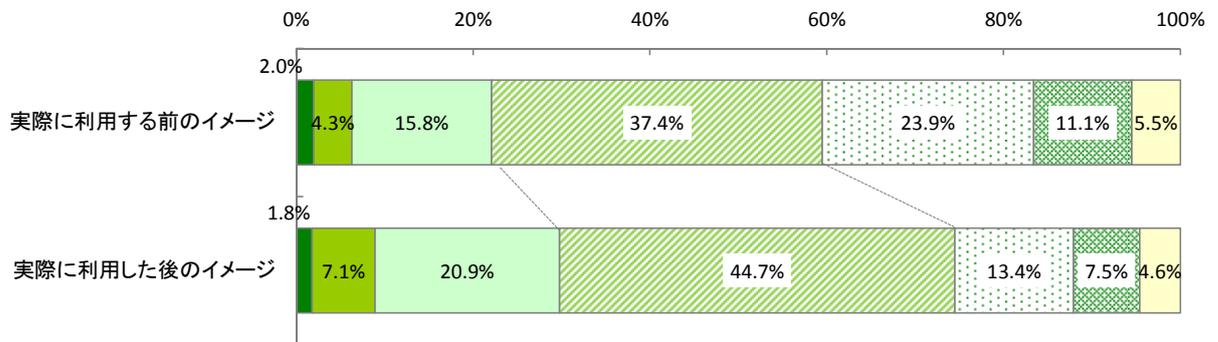
<図 15: 貸金業者に対する印象の変化 (n=2,000)>



【安心感】



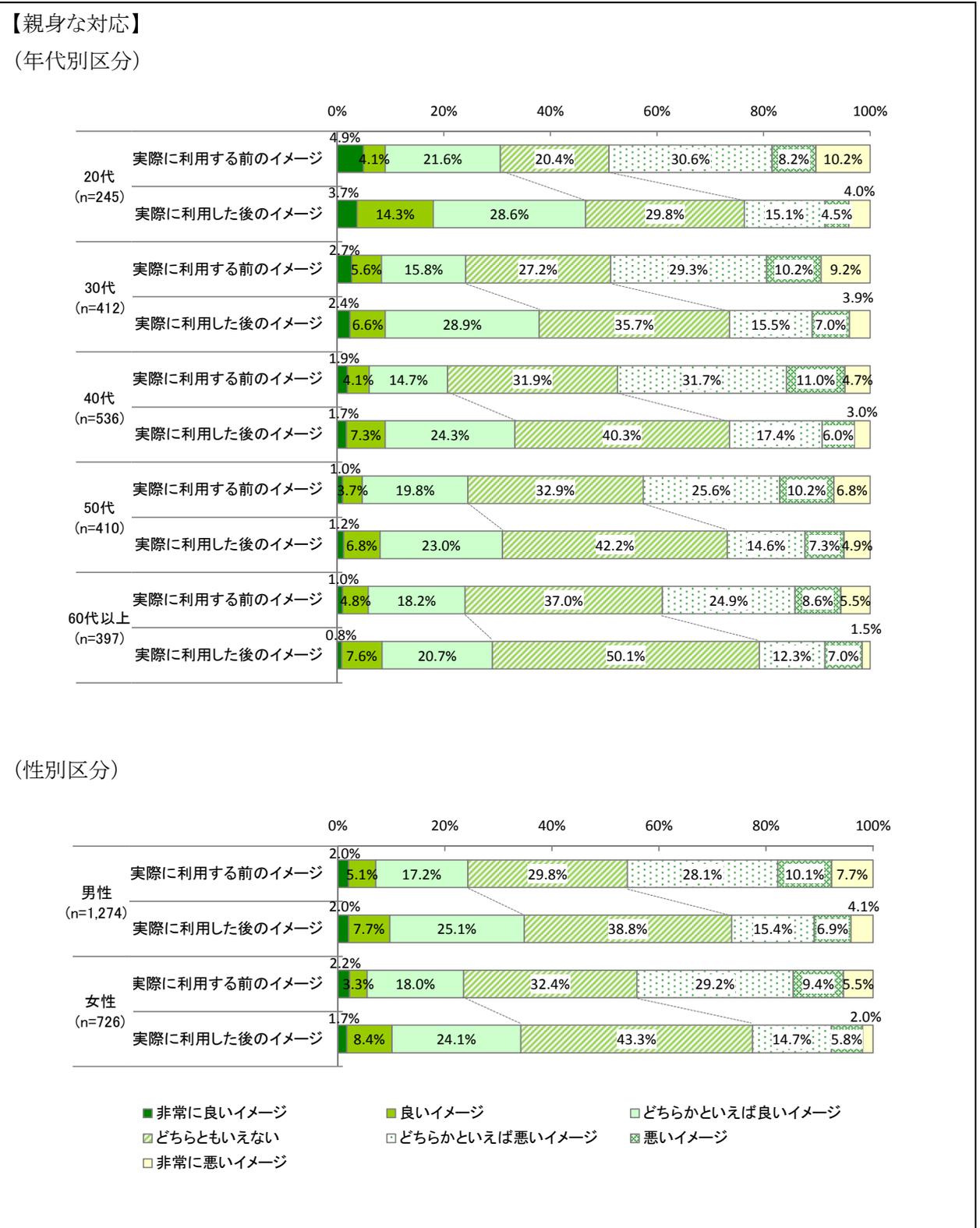
【親近感】



- 非常に良いイメージ
- 良いイメージ
- どちらかといえば良いイメージ
- どちらともいえない
- どちらかといえば悪いイメージ
- 悪いイメージ
- 非常に悪いイメージ

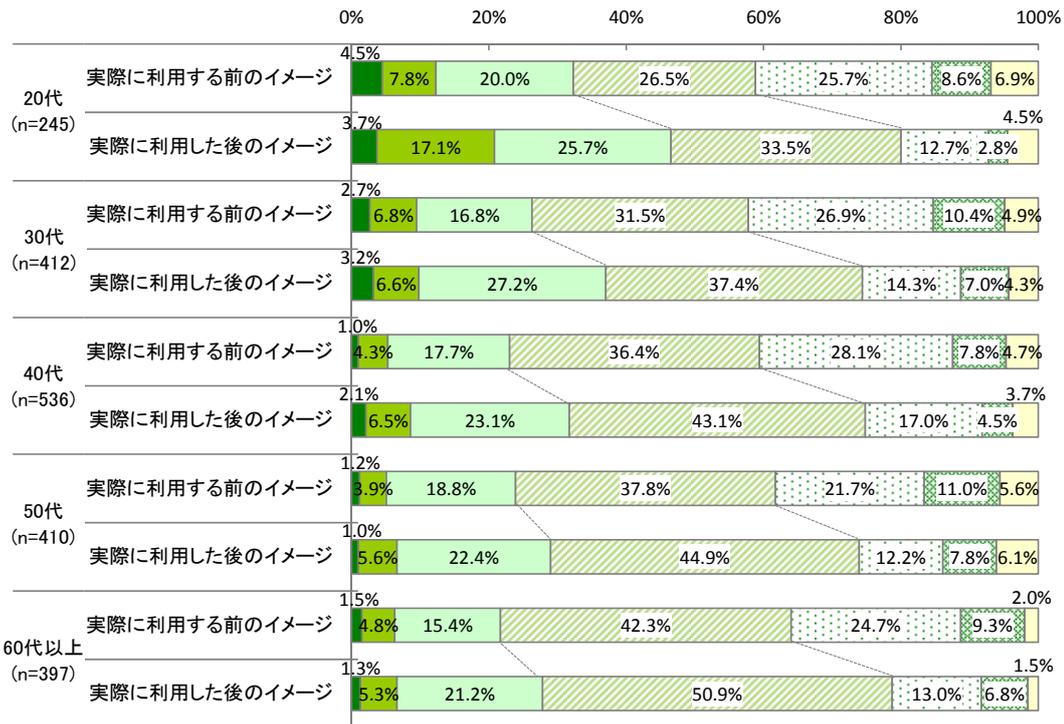
- さらに、年代別に良いイメージと回答した割合の実際に利用する前と後での増加率をみると、20代から50代では「親身な対応」、60代では「安心感」がそれぞれ高い結果となった。
- また、20代および30代では、全ての項目において他の年代に比べて良いイメージと回答した割合が高い。

<図 16: 貸金業者に対する印象の変化 (年代別区分・性別区分)>

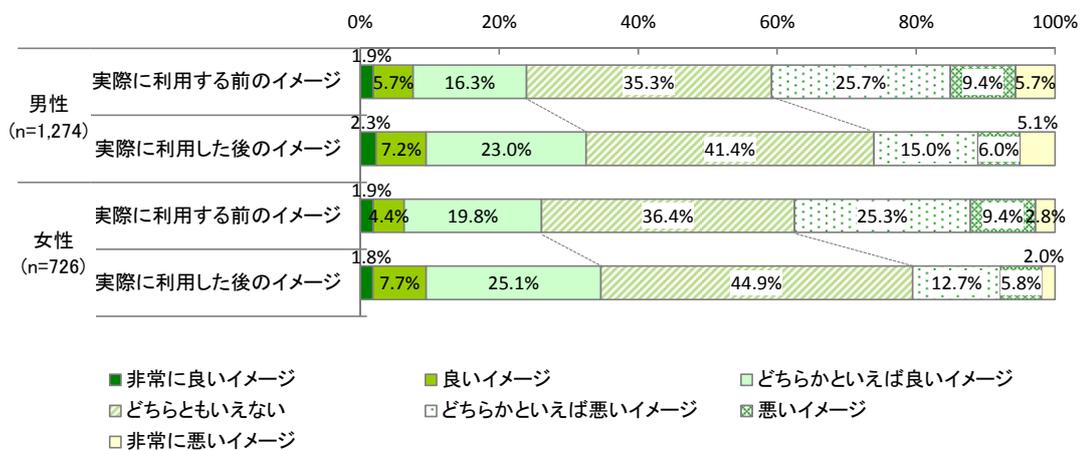


【信頼性】

(年代別区分)



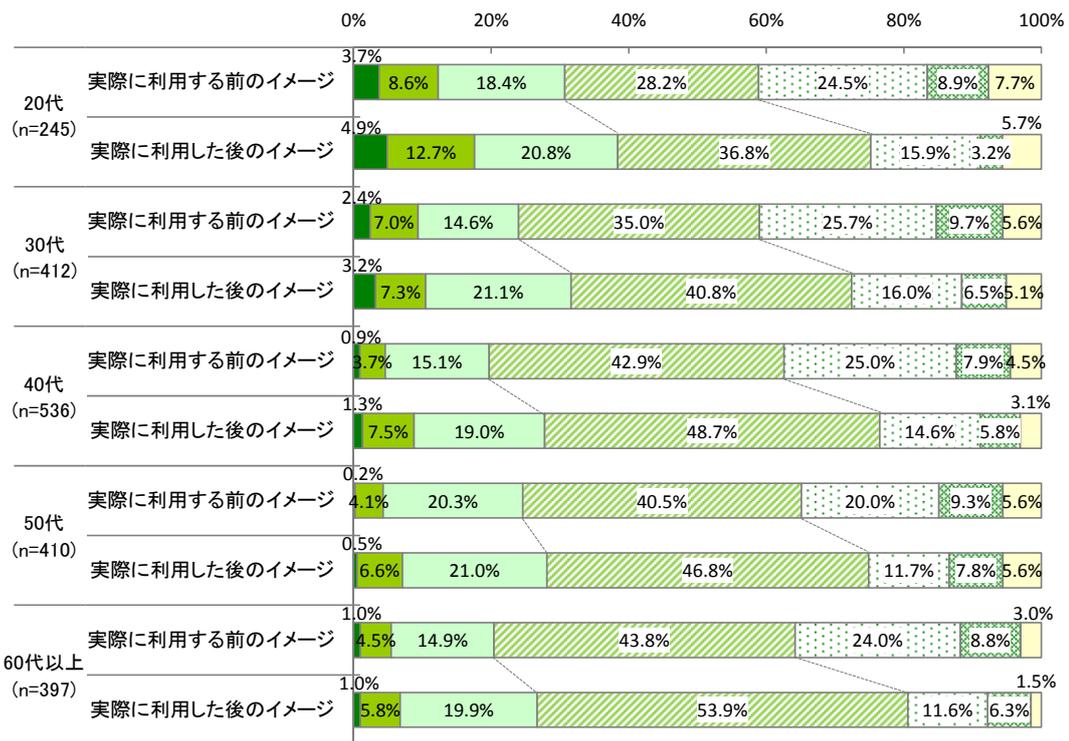
(性別区分)



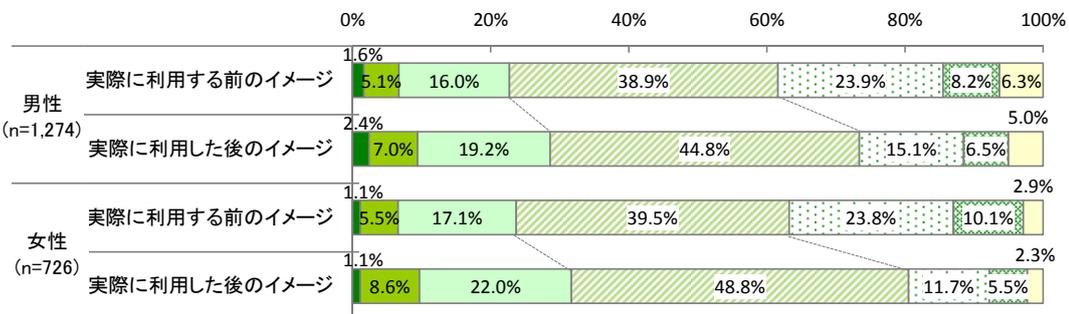
- 非常に良いイメージ
- 良いイメージ
- どちらかといえば悪いイメージ
- ▨ どちらともいえない
- ▨ どちらかといえば良いイメージ
- ▨ 悪いイメージ
- 非常に悪いイメージ

【相談のしやすさ】

(年代別区分)



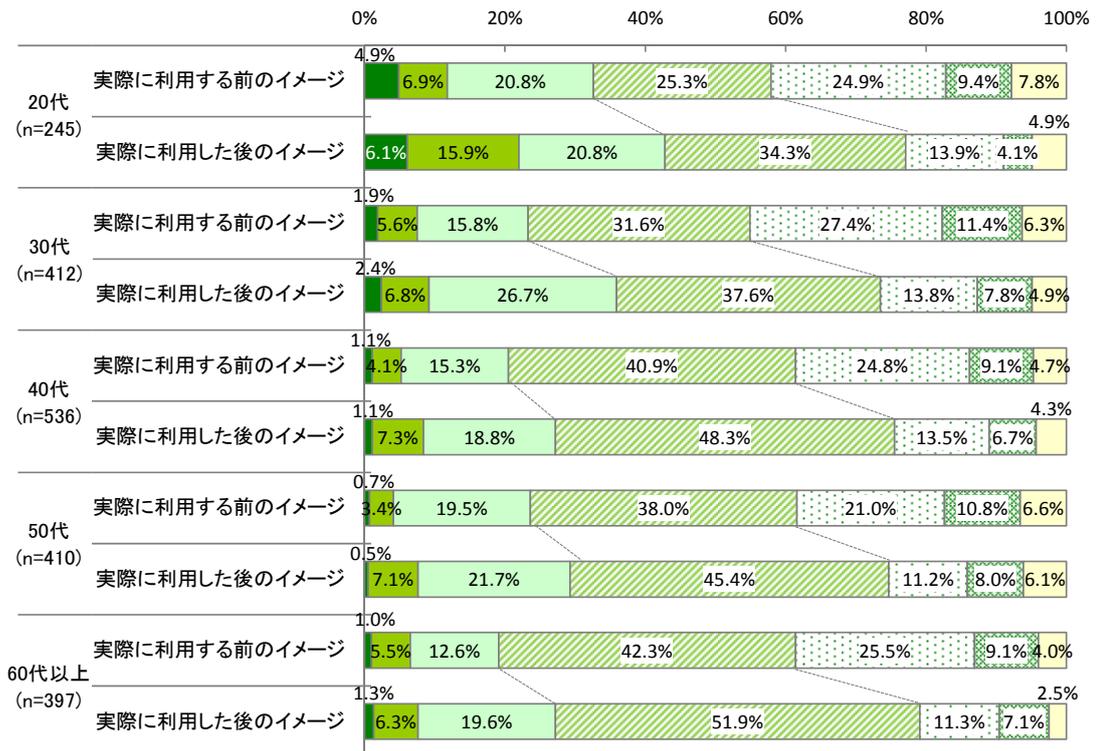
(性別区分)



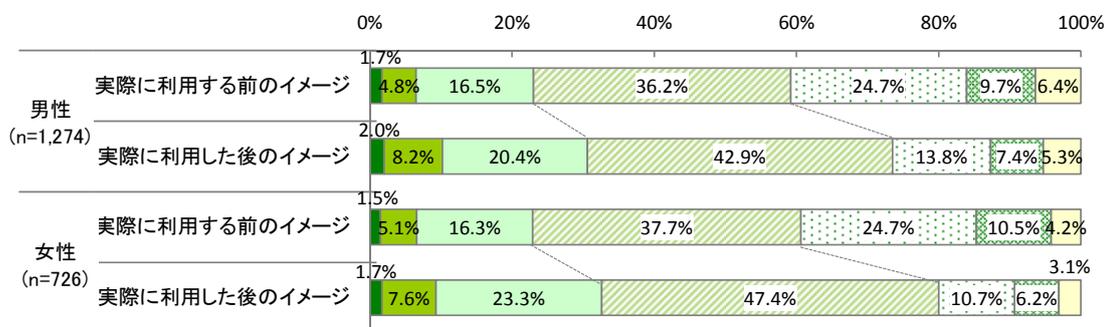
- 非常に良いイメージ
- 良いイメージ
- どちらかといえば良いイメージ
- どちらともいえない
- どちらかといえば悪いイメージ
- 悪いイメージ
- 非常に悪いイメージ

【安心感】

(年代別区分)



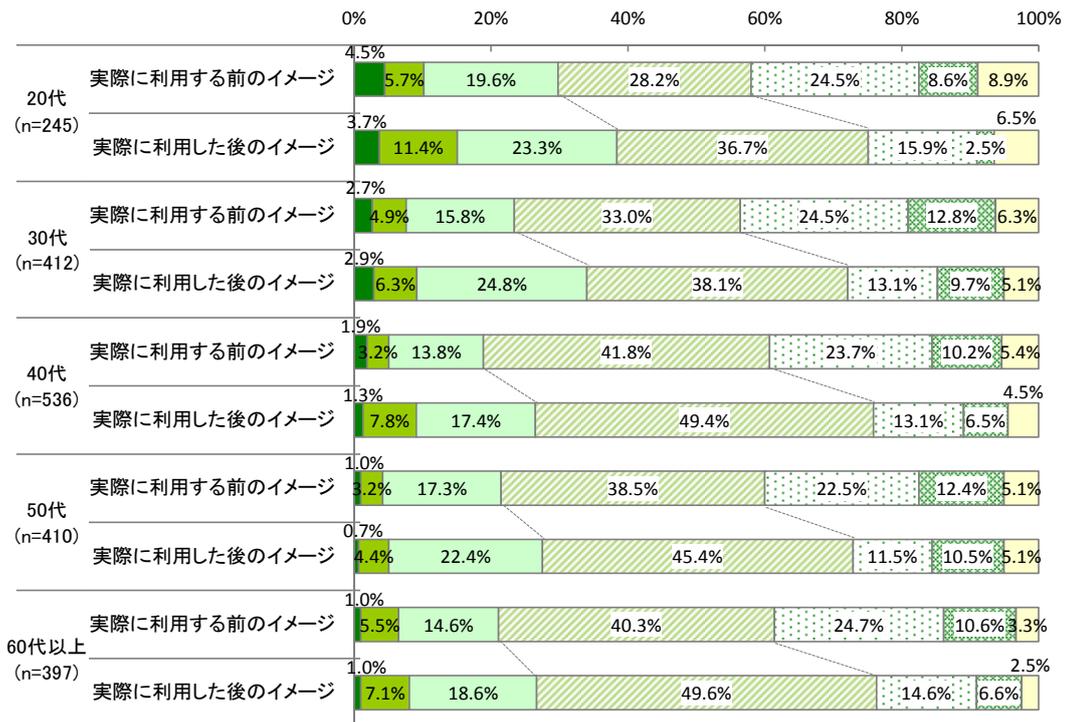
(性別区分)



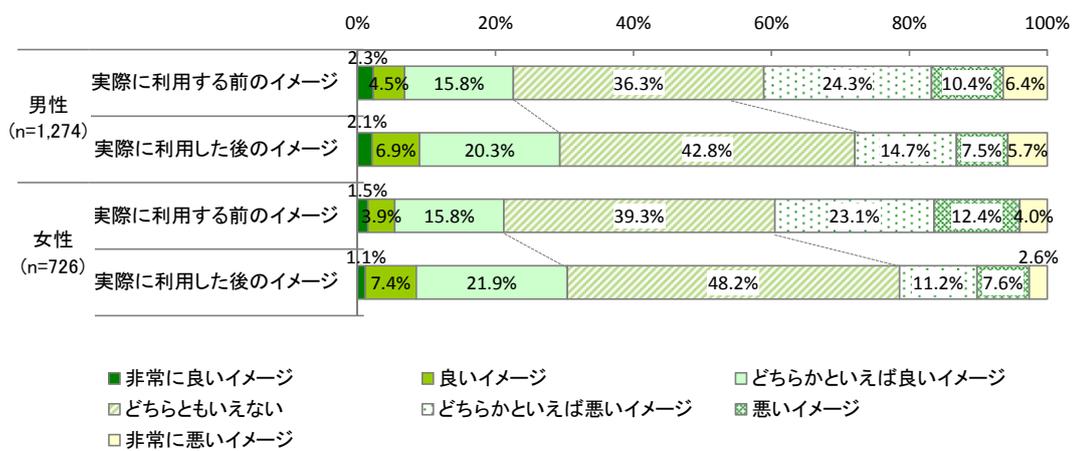
- 非常に良いイメージ
- 良いイメージ
- どちらかといえば良いイメージ
- ▨ どちらともいえない
- どちらかといえば悪いイメージ
- 悪いイメージ
- 非常に悪いイメージ

【親近感】

(年代別区分)



(性別区分)



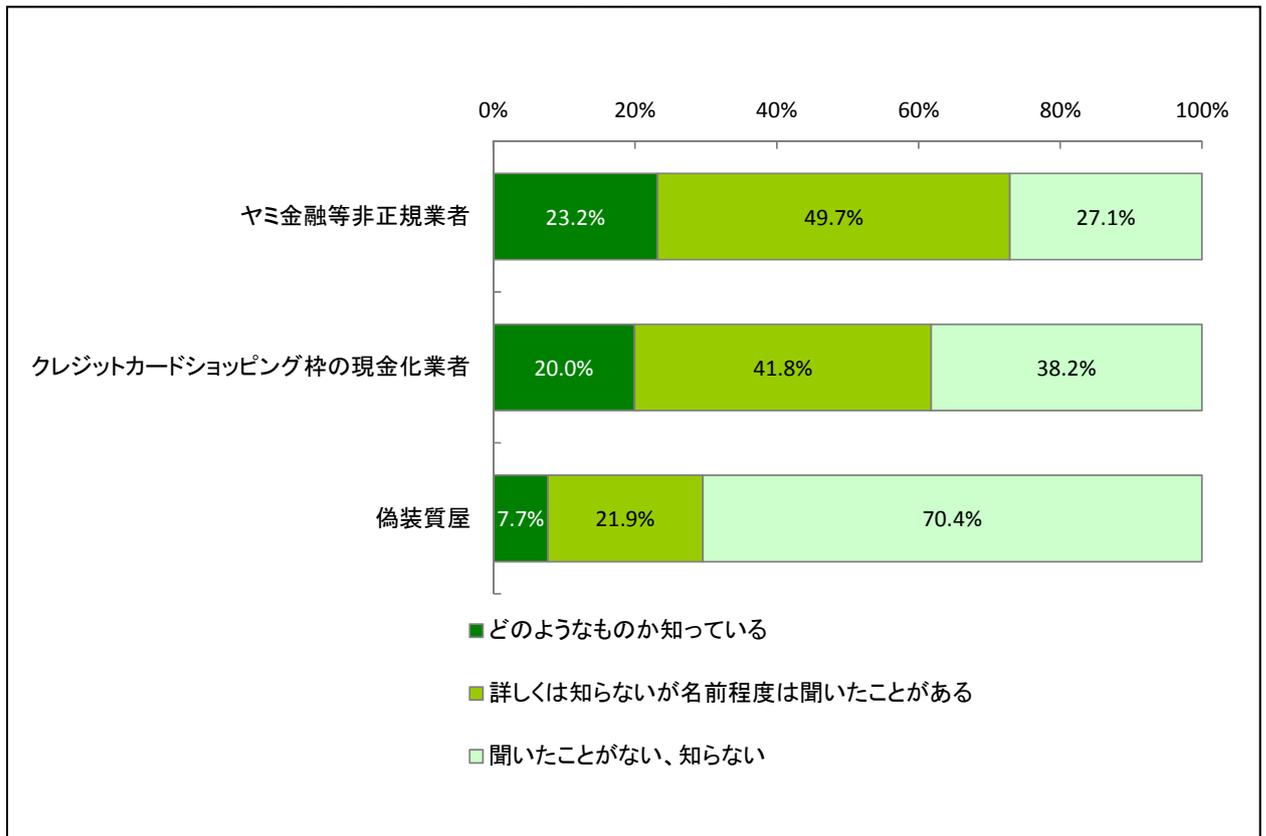
- 非常に良いイメージ
- 良いイメージ
- どちらかといえば良いイメージ
- ▨ どちらともいえない
- どちらかといえば悪いイメージ
- 悪いイメージ
- 非常に悪いイメージ

(6) ヤミ金融等非正規業者との接触状況

① ヤミ金融等非正規業者についての認知

- 借入経験のある個人に対して、ヤミ金融等非正規業者、クレジットカードショッピング枠の現金化業者、偽装質屋の認知について調査したところ、「どのようなものか知っている」と回答した割合は、「ヤミ金融等非正規業者」が23.2%、「クレジットカードショッピング枠の現金化業者」が20.0%、「偽装質屋」が7.7%となった。

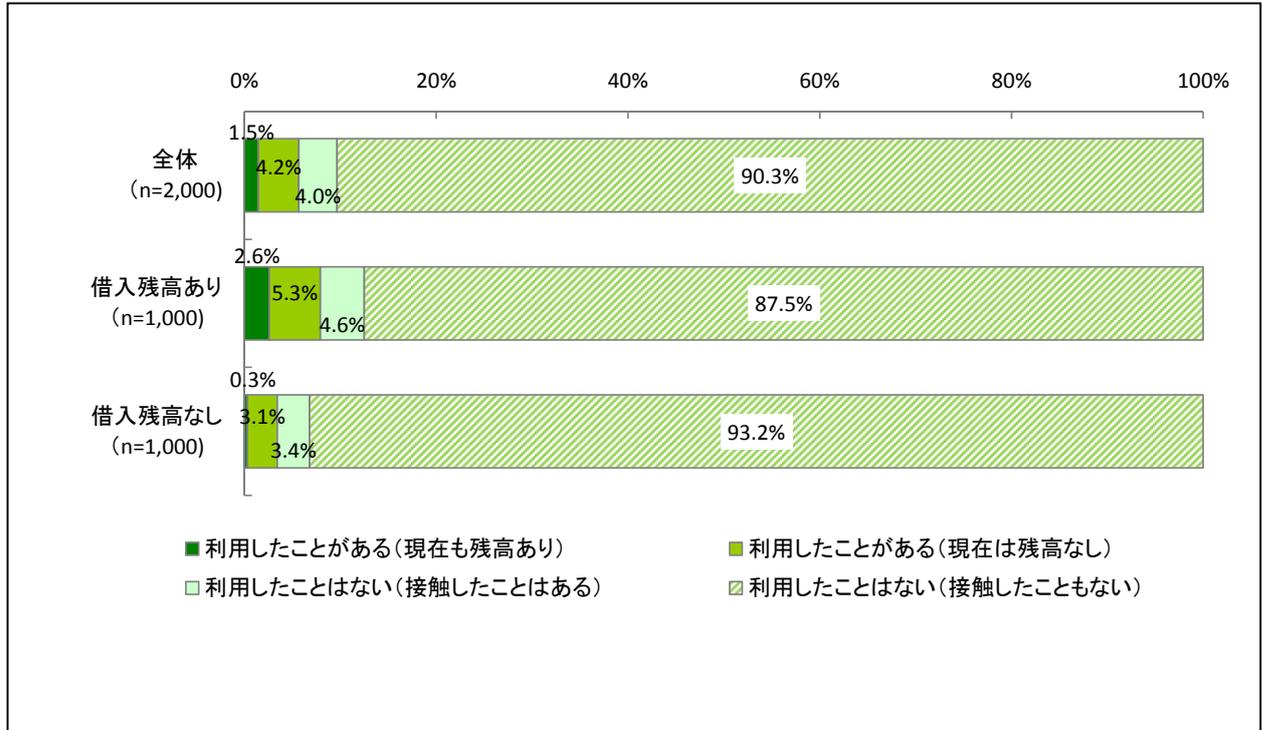
<図 17: ヤミ金融等非正規業者についての認知度 (n=2,000)>



② ヤミ金融等非正規業者の利用状況および接触有無

- ヤミ金融等非正規業者の利用状況および接触有無について調査したところ、9.7%が接触したことがあると回答しており、そのうち現在貸金業者からの借入残高がある利用者については12.5%が接触したことがあると回答している。

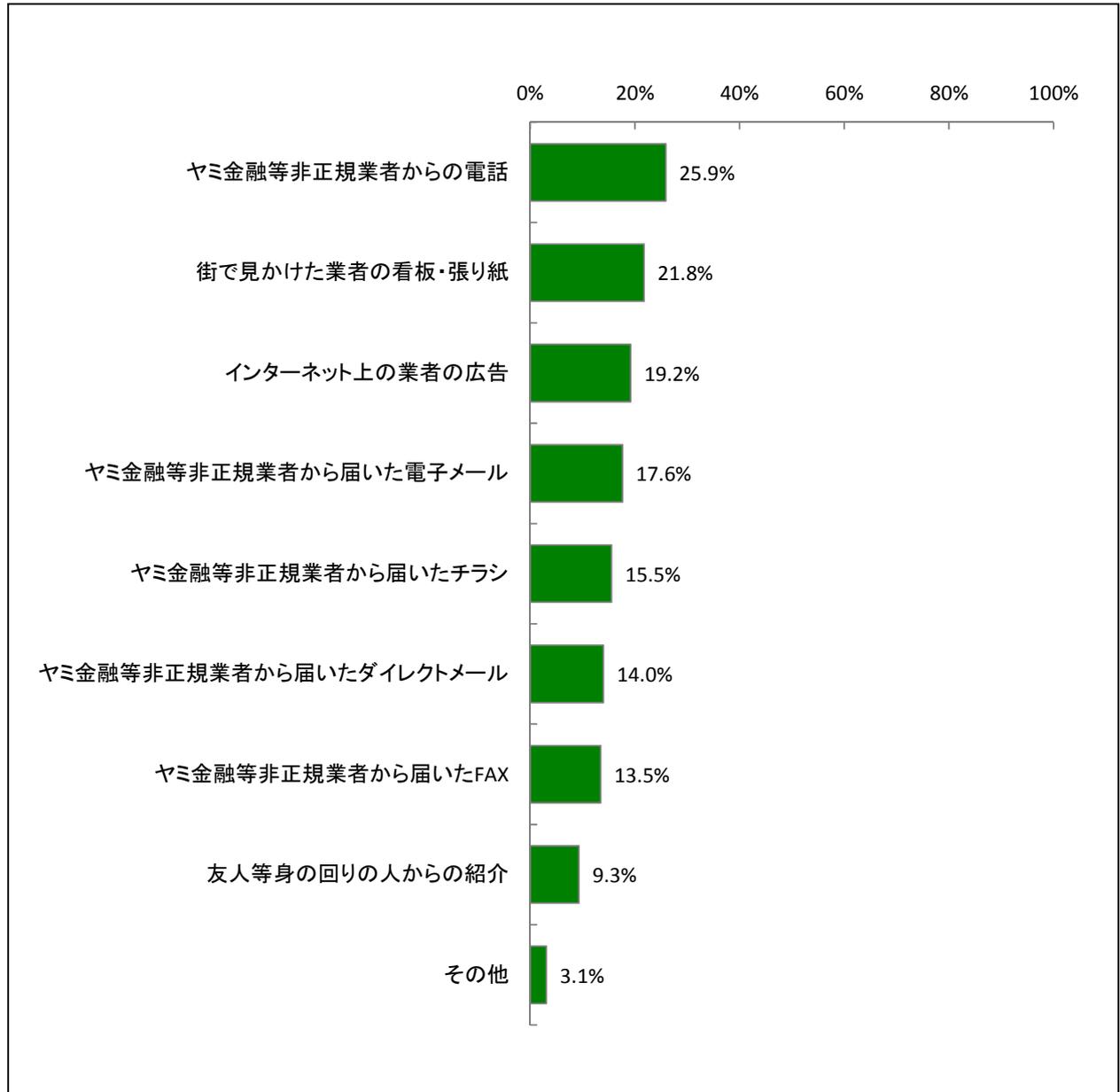
<図 18: ヤミ金融等非正規業者の利用状況および接触有無>



③ ヤミ金融等非正規業者との接触方法

- ヤミ金業者等非正規業者との接触方法は、「ヤミ金業者等非正規業者からの電話」が最も高く25.9%、次いで「街で見かけた業者の看板・張り紙」が21.8%、「インターネット上の業者の広告」が19.2%となっている。

<図 19: ヤミ金融等非正規業者との接触方法 (複数回答 n=193)>

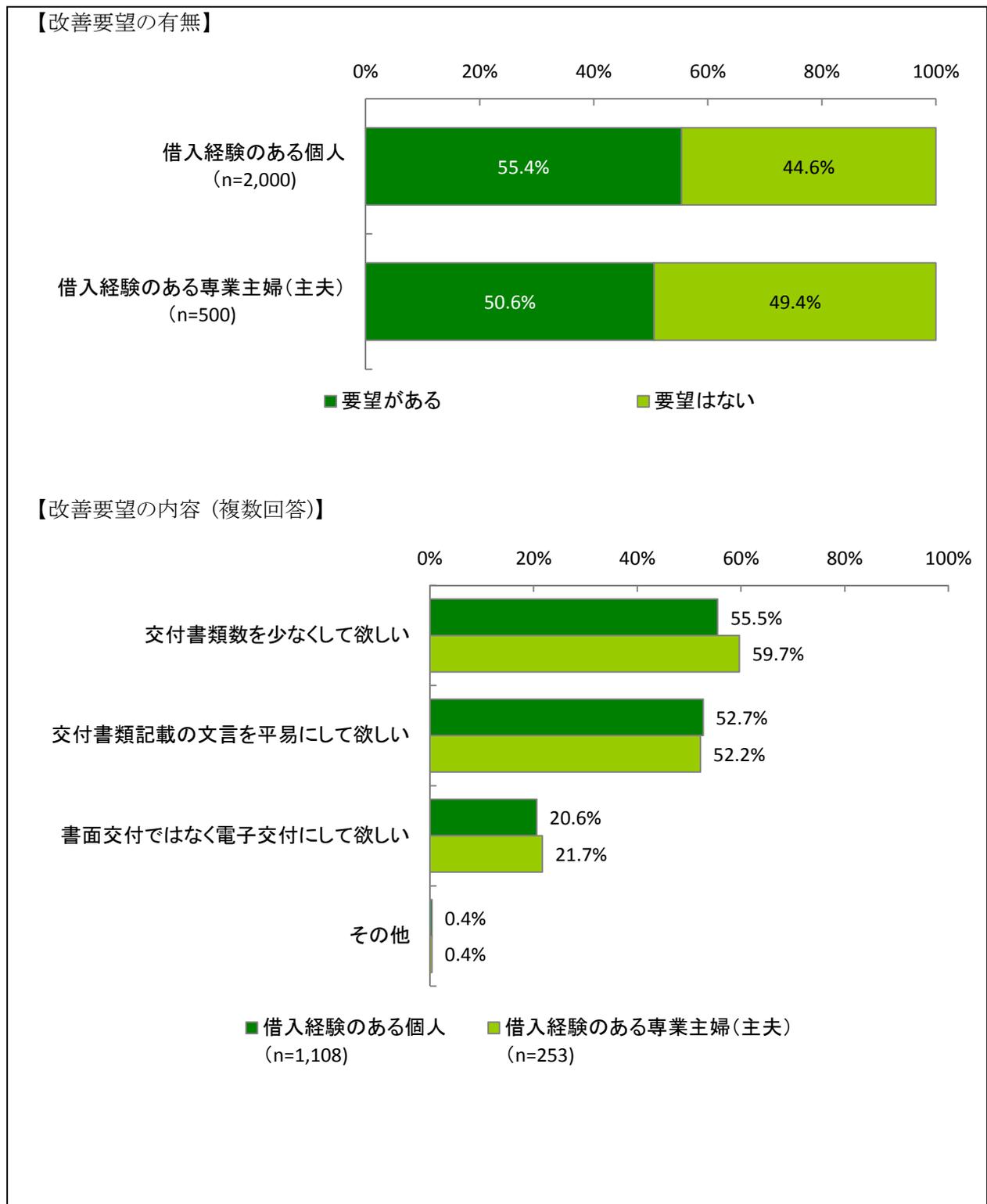


3. 貸金業者に対する期待・要望

(1) 借入れの契約を締結する際に交付される書類について

- 借入経験のある個人に対して、借入れの契約を締結する際に交付される書類への改善要望の有無について調査したところ、55.4%が「要望がある」と回答しており、その内容では「交付書類数を少なくしてほしい」と回答した割合が55.5%と最も高くなった。また、専業主婦(主夫)でも、それぞれ50.6%、59.7%と同様の結果となっている。

<図 20: 借入れの契約(借換え含む)を締結する際に貸金業者から交付される書類への改善要望>

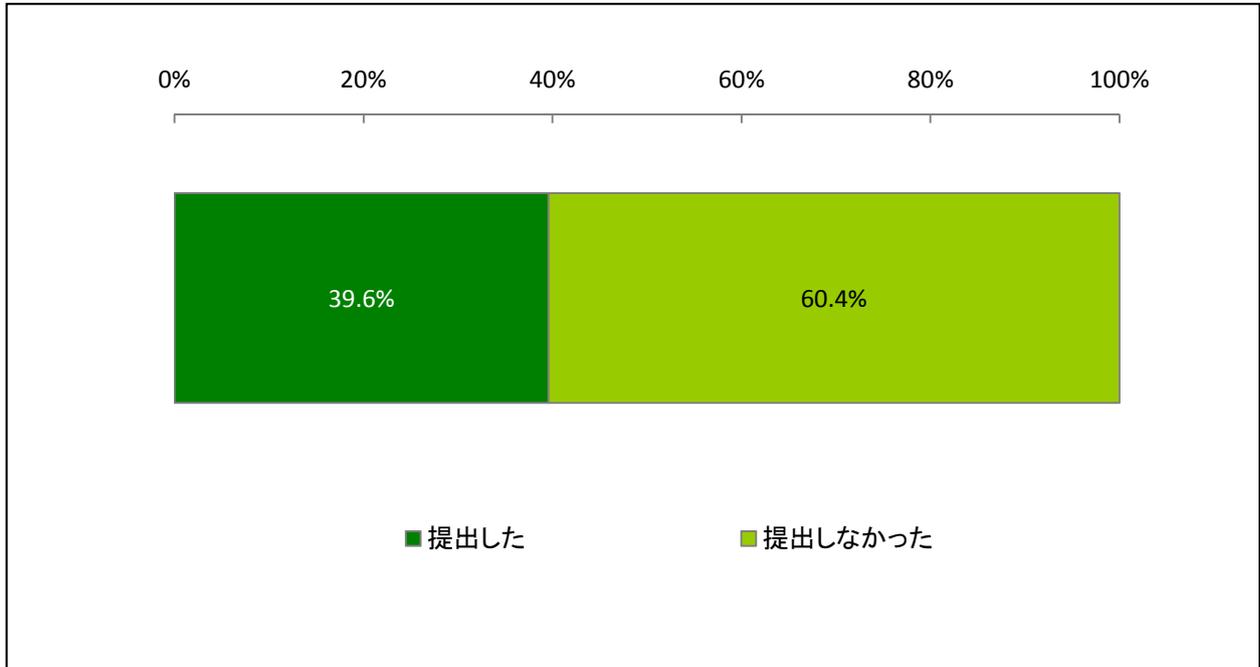


(2) 専業主婦(主夫)の借入れについて

① 配偶者の資力を証明する書類の提出有無

- 改正貸金業法の完全施行日以降に新たな借入れを申込んだ専業主婦(主夫)に対して、配偶者の資力を証明する書類の提出有無について調査をしたところ、60.4%が「提出しなかった」と回答している。

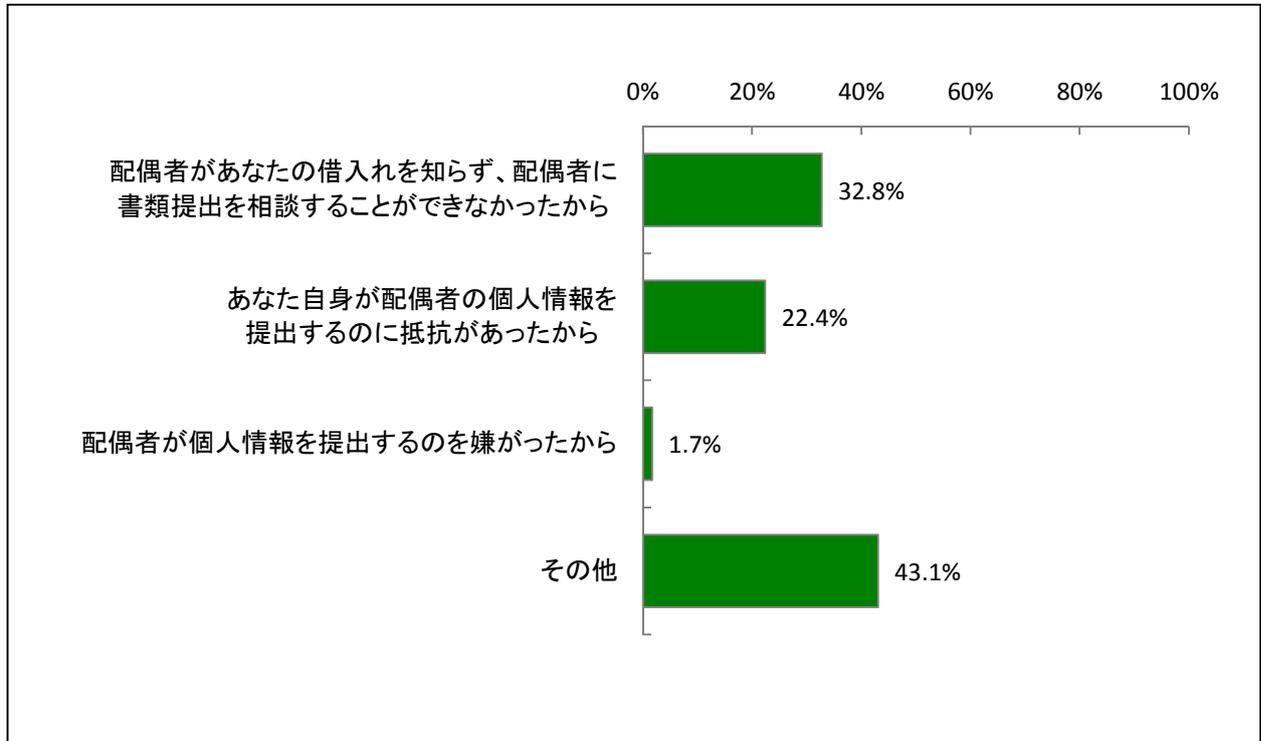
<図 21:配偶者の資力を証明する書類提出 (n=96)>



② 配偶者の資力を証明する書類を提出しなかった理由

- 配偶者の資力を証明する書類を提出しなかった理由については、「配偶者があなたの借入れを知らず、配偶者に書類提出を相談することができなかったから」が32.8%と最も高く、次いで「あなた自身が配偶者の個人情報を提出するのに抵抗があったから」が22.4%と続いている。

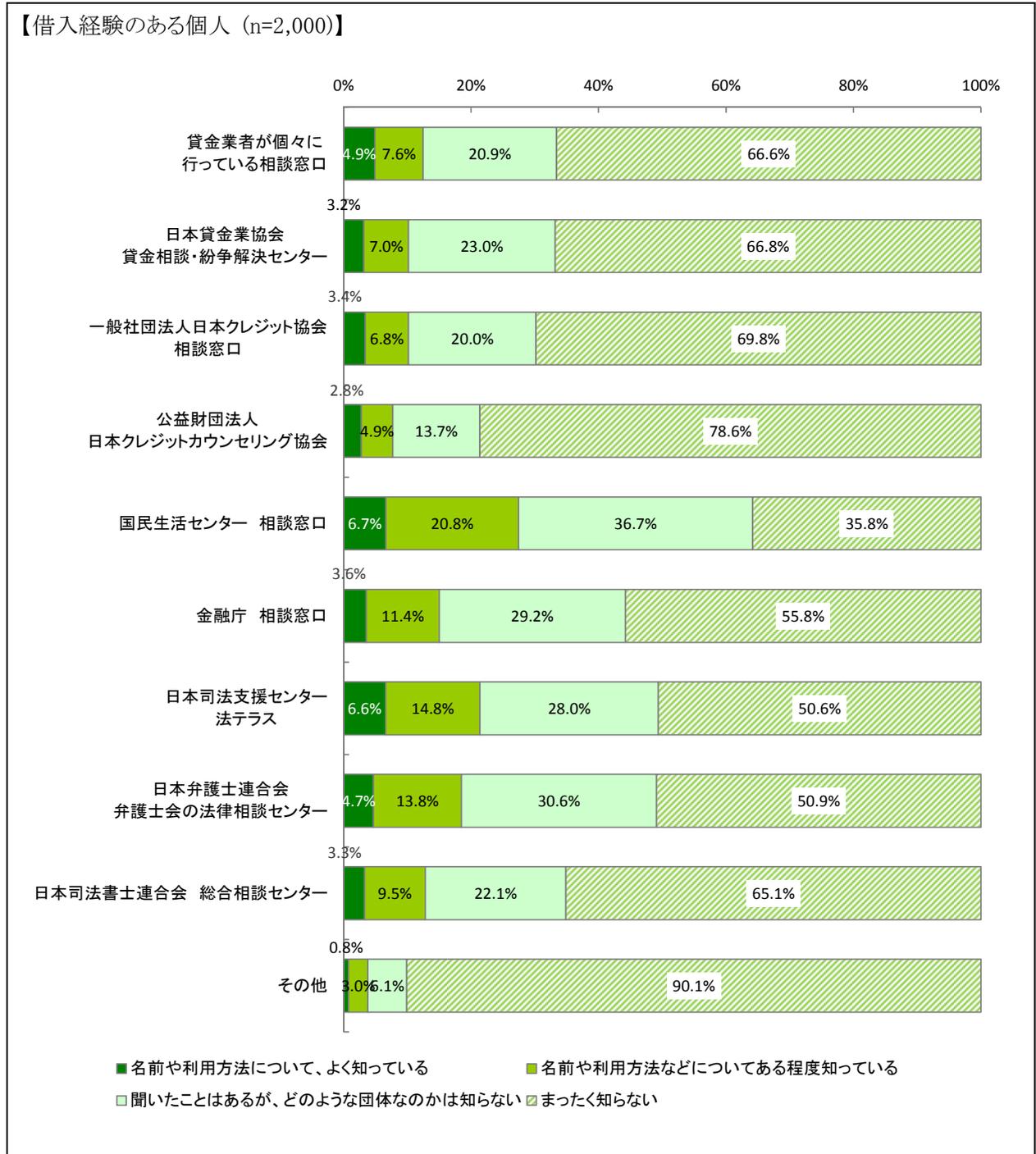
<図 22:配偶者の資力を証明する書類を提出しなかった理由 (複数回答 n=58)>



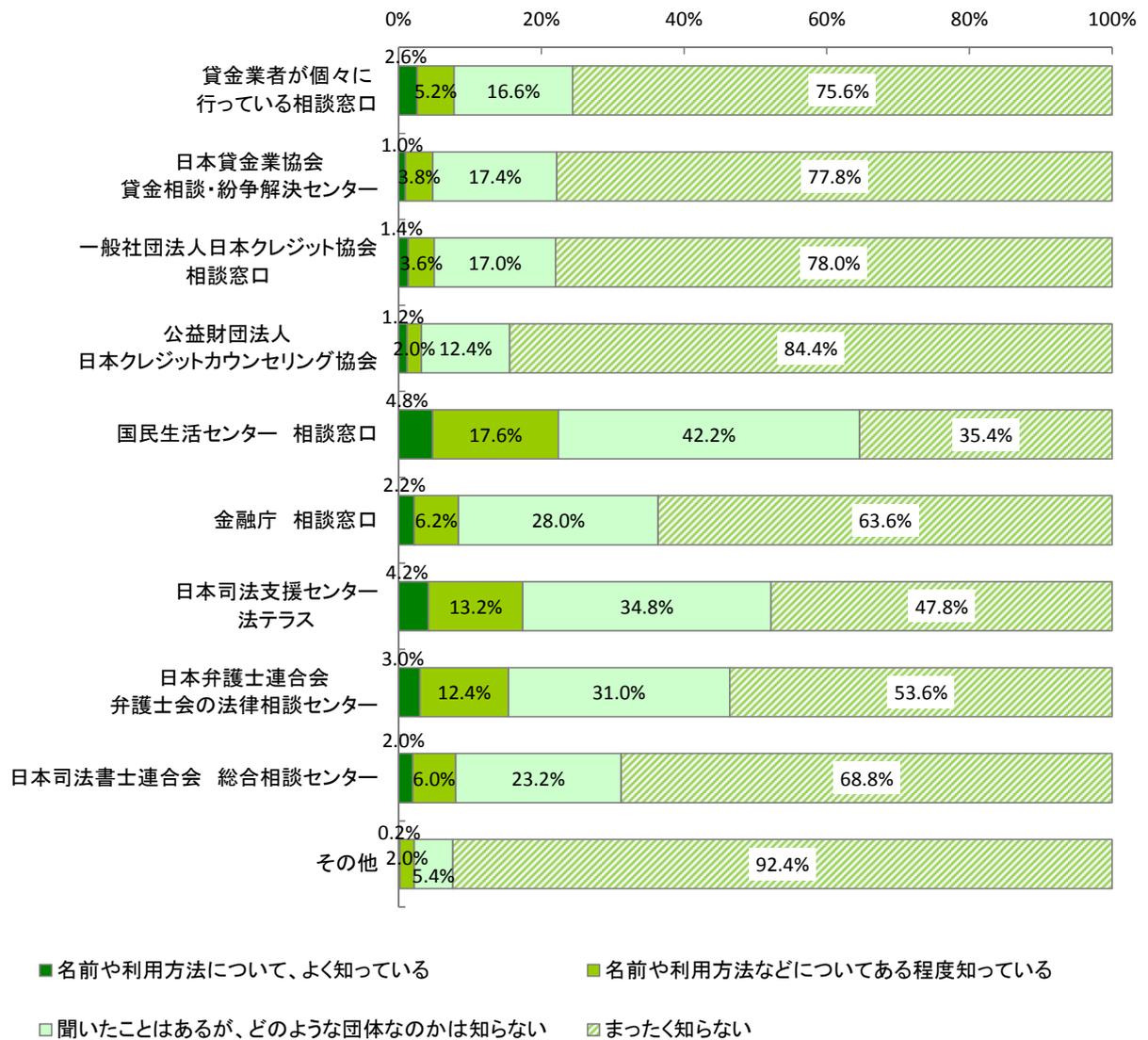
(3) カウンセリングを行っている相談窓口・機関・団体の認知

- 返済等に関するカウンセリングを行っている相談窓口・機関・団体の認知について調査したところ、「名前や利用方法について、よく知っている」、「名前や利用方法などについて、ある程度知っている」と回答した割合の合計では、「国民生活センター相談窓口」が27.5%と最も高く、次いで「日本司法支援センター法テラス」が21.4%と続いている。

<図 23:返済等に関するカウンセリング相談窓口・機関・団体の認知>



【借入経験のある専業主婦(主夫) (n=500)】

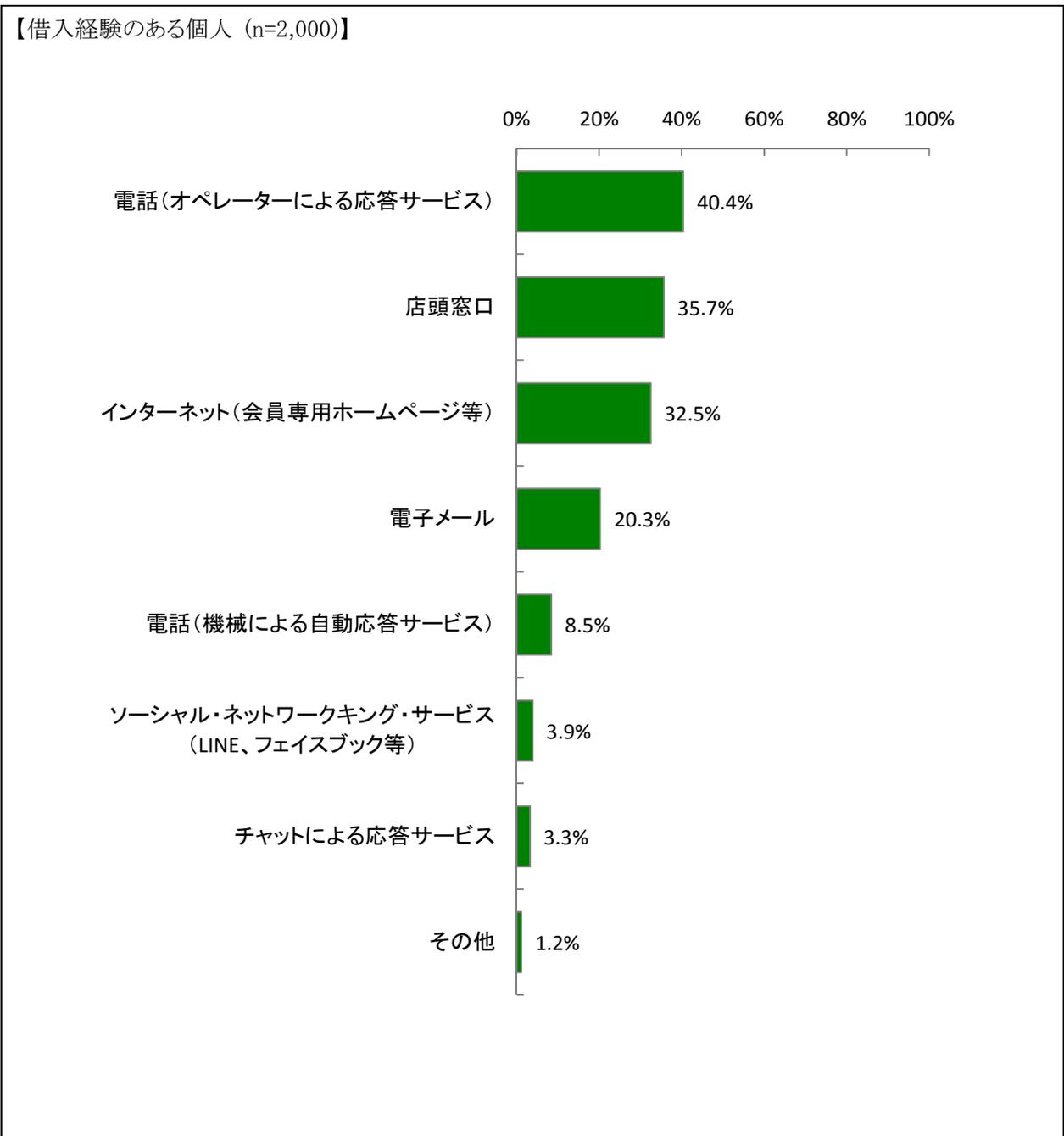


(4) 貸金業者に望んでいること

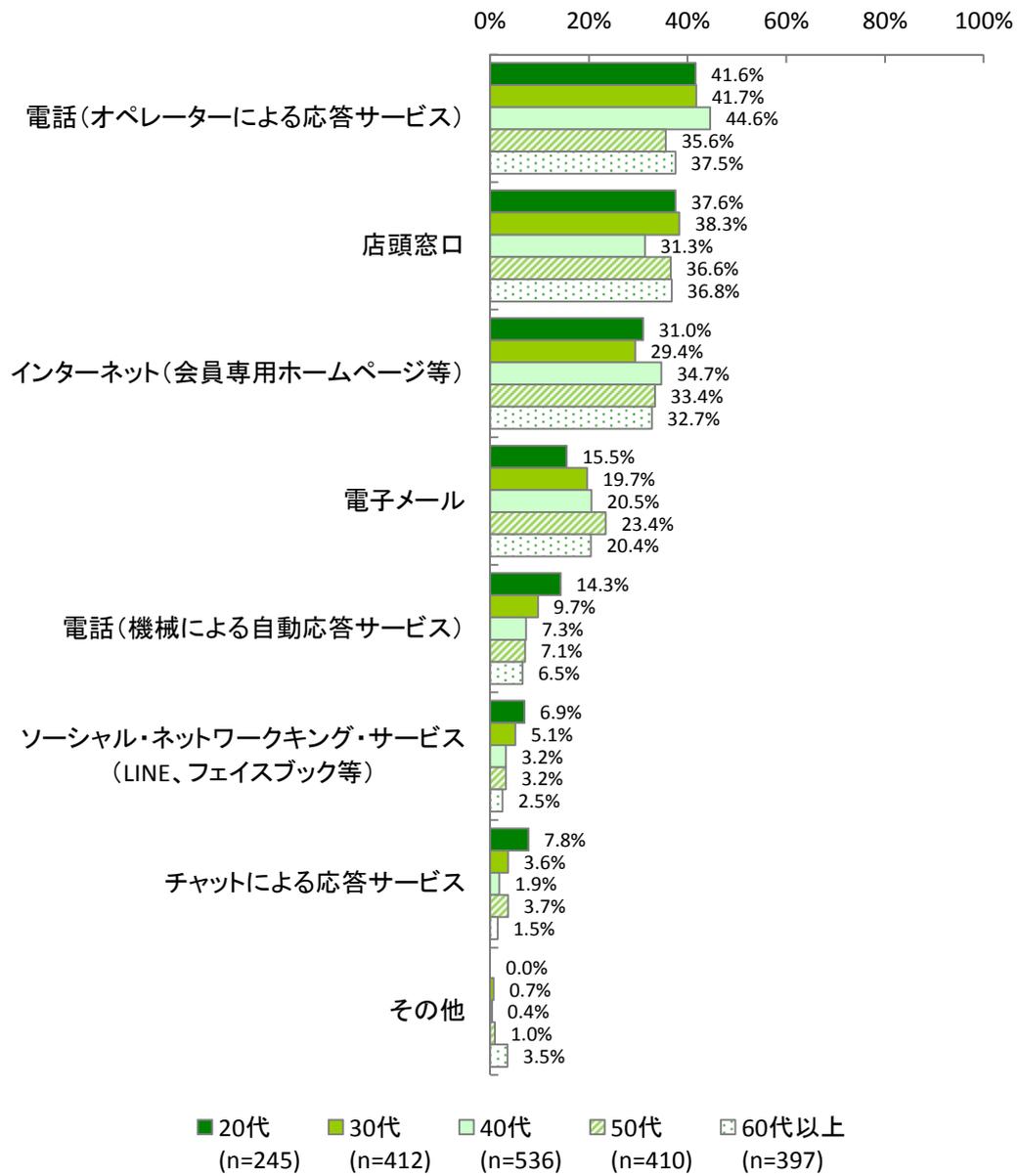
① 借入先との連絡方法・手段

- 借入経験のある個人に対して、希望する借入先との連絡方法・手段について調査したところ、「電話(オペレーターによる応答サービス)」が40.4%と最も高く、次いで「店頭窓口」が35.7%、「インターネット(会員専用ホームページ等)」が32.5%となった。

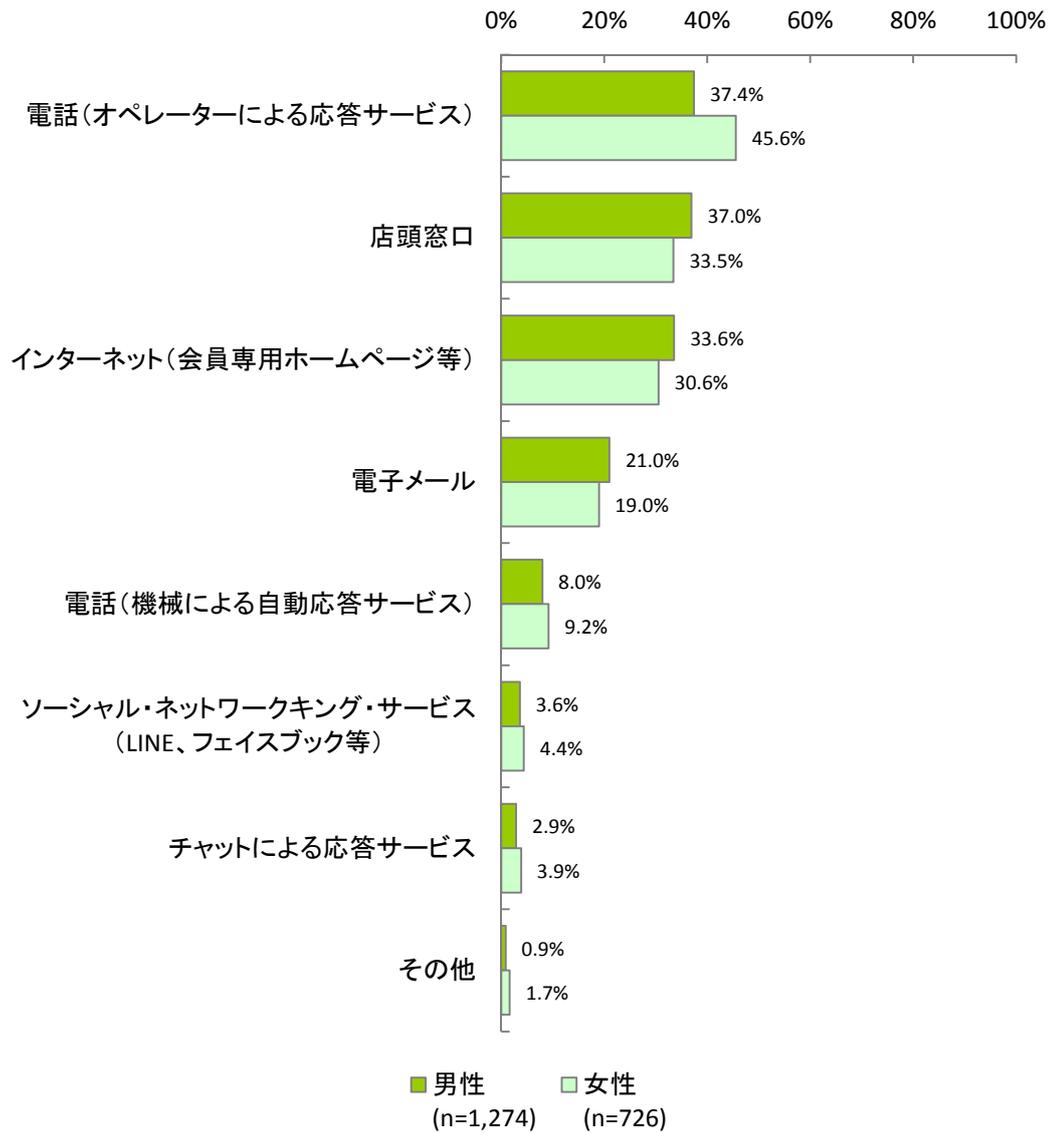
<図 24:借入先との連絡方法 (複数回答)>



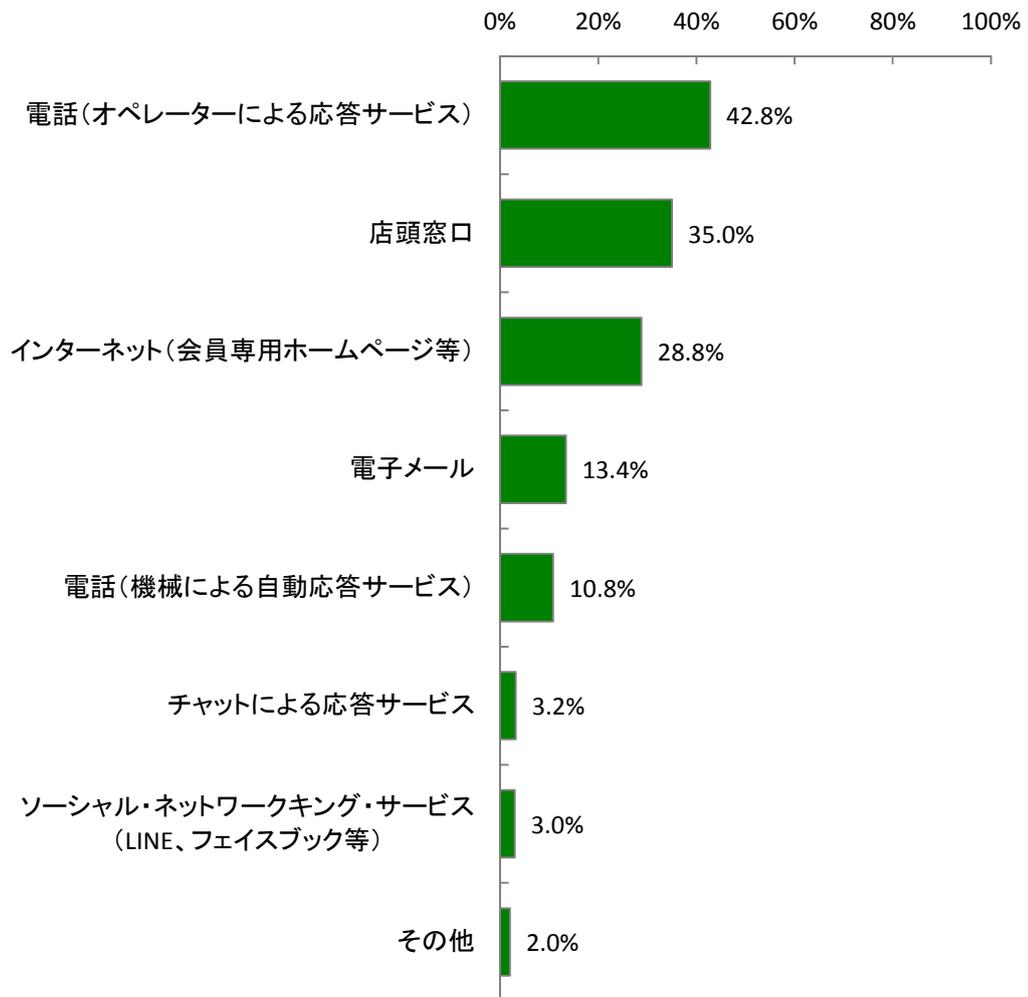
(年代別区分)



(性別区分)



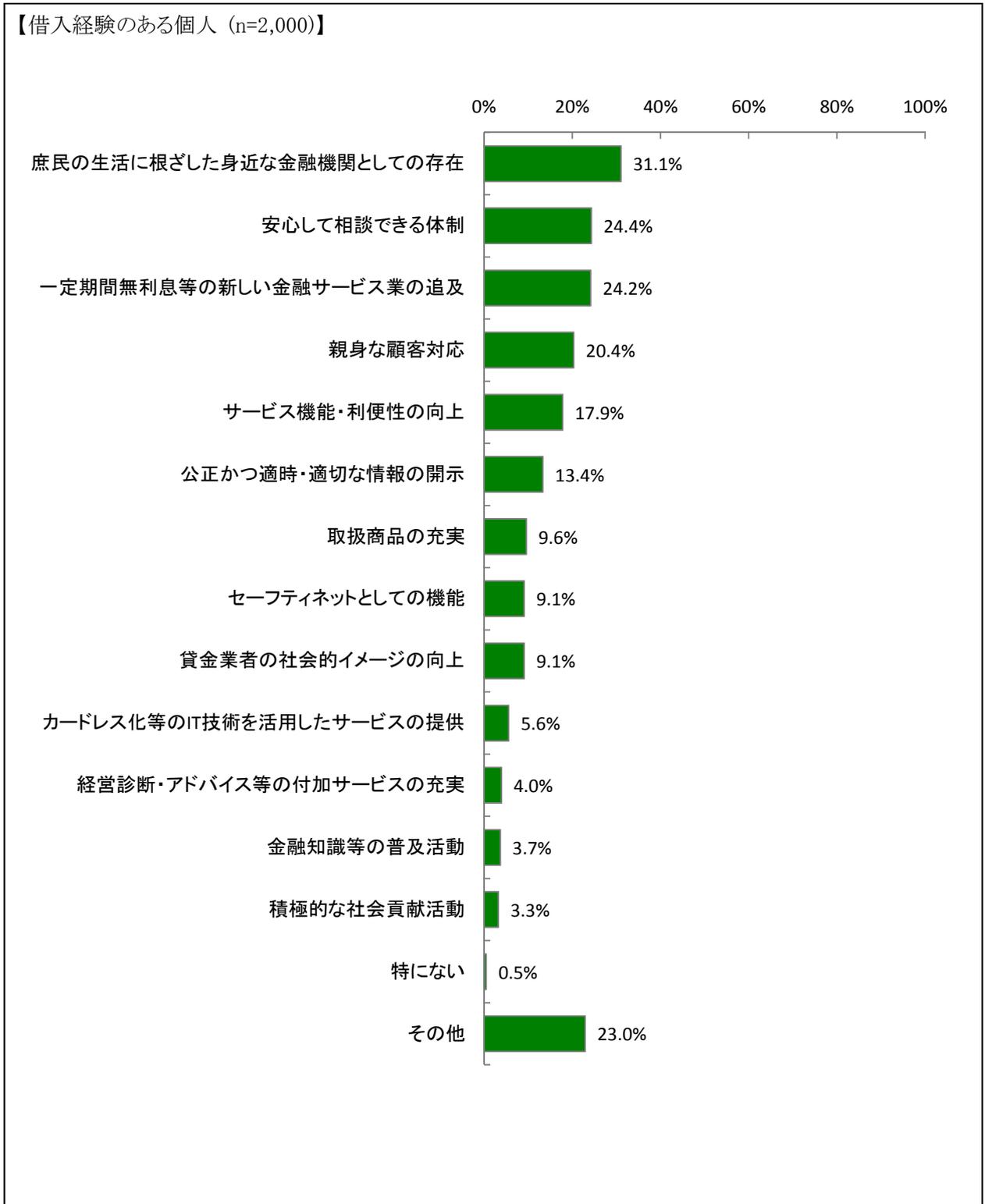
【借入経験のある専業主婦(主夫) (n=500)】



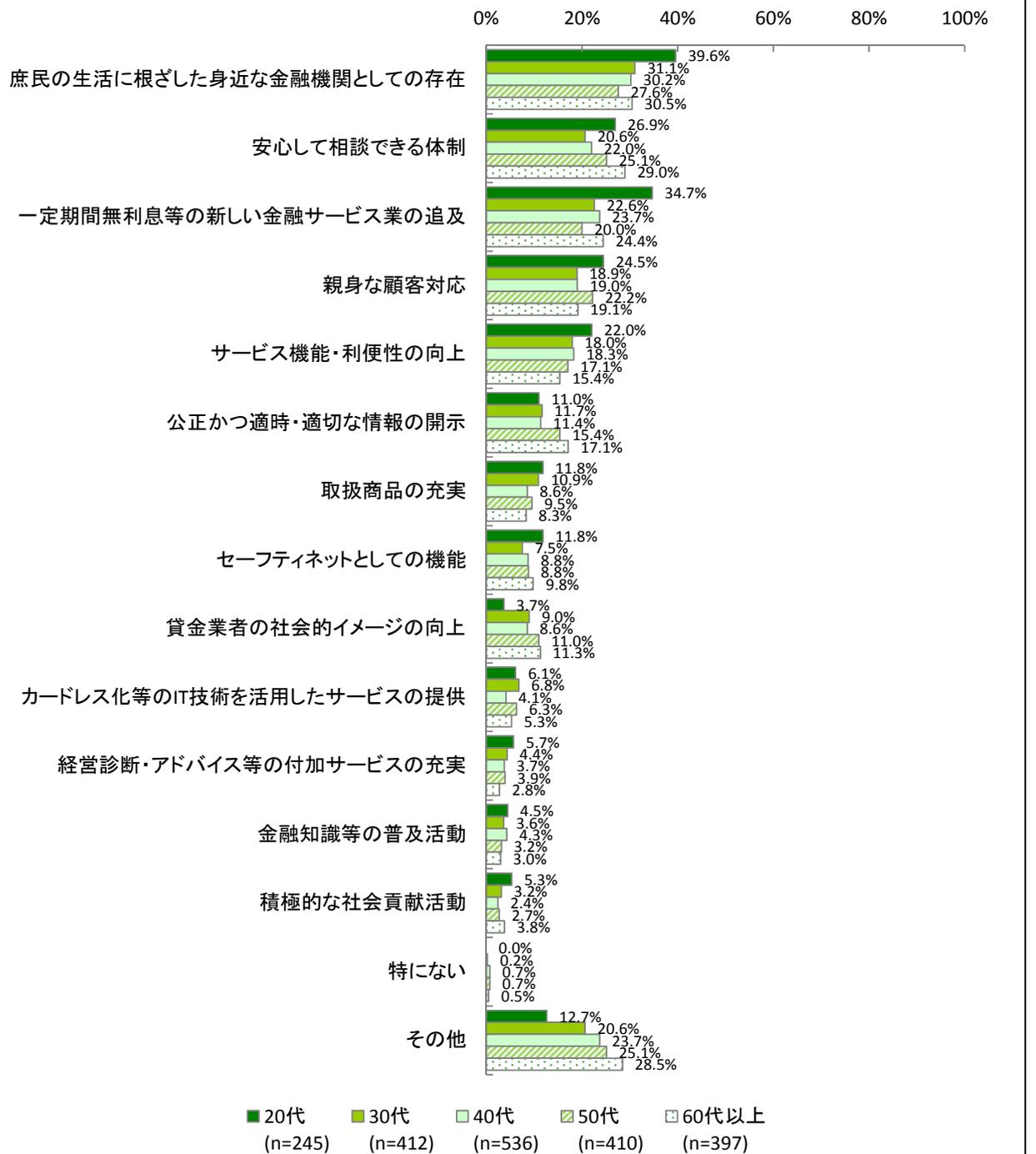
② 貸金業者に望むこと

- 貸金業者に望むことについては、「庶民の生活に根ざした身近な金融機関としての存在」が31.1%と最も高く、次いで「安心して相談できる体制」が24.4%と続いている。また、専業主婦(主夫)では、「安心して相談できる体制」が29.8%と最も高く、次いで「庶民の生活に根ざした身近な金融機関としての存在」が29.2%となっている。

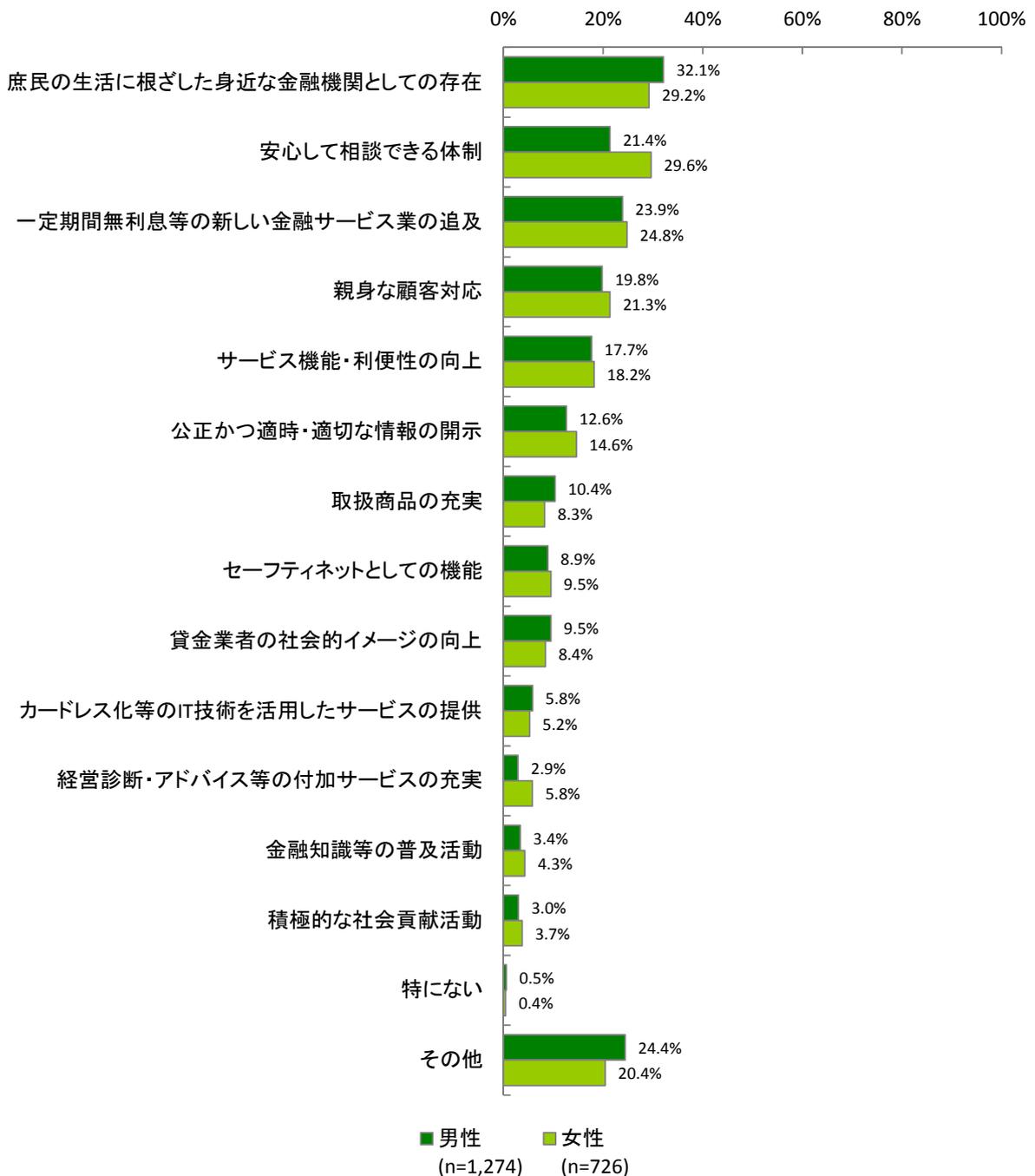
<図 25:貸金業者に望むこと (複数回答)>



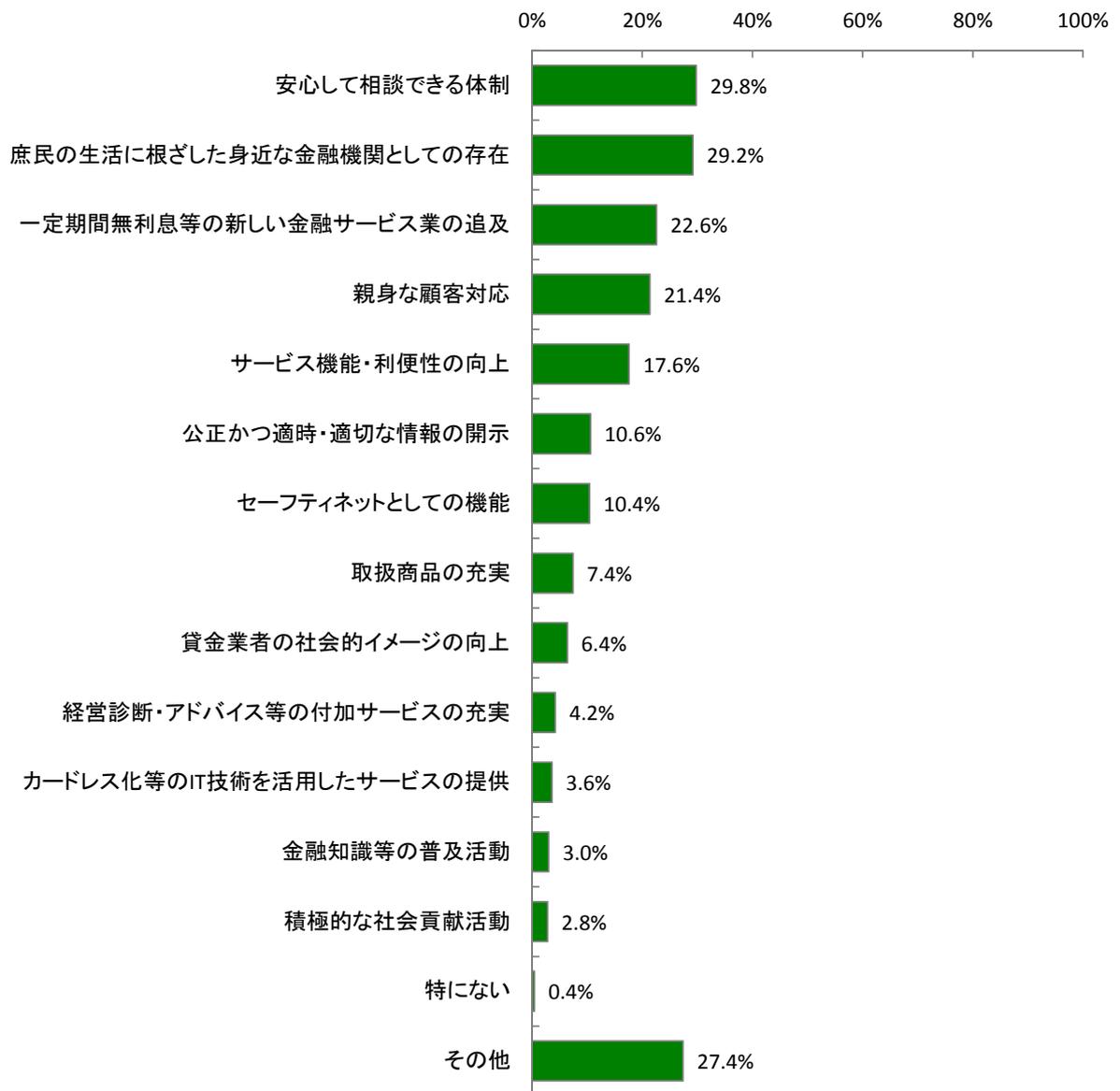
(年代別区分)



(性別区分)



【借入経験のある専業主婦(主夫) (n=500)】



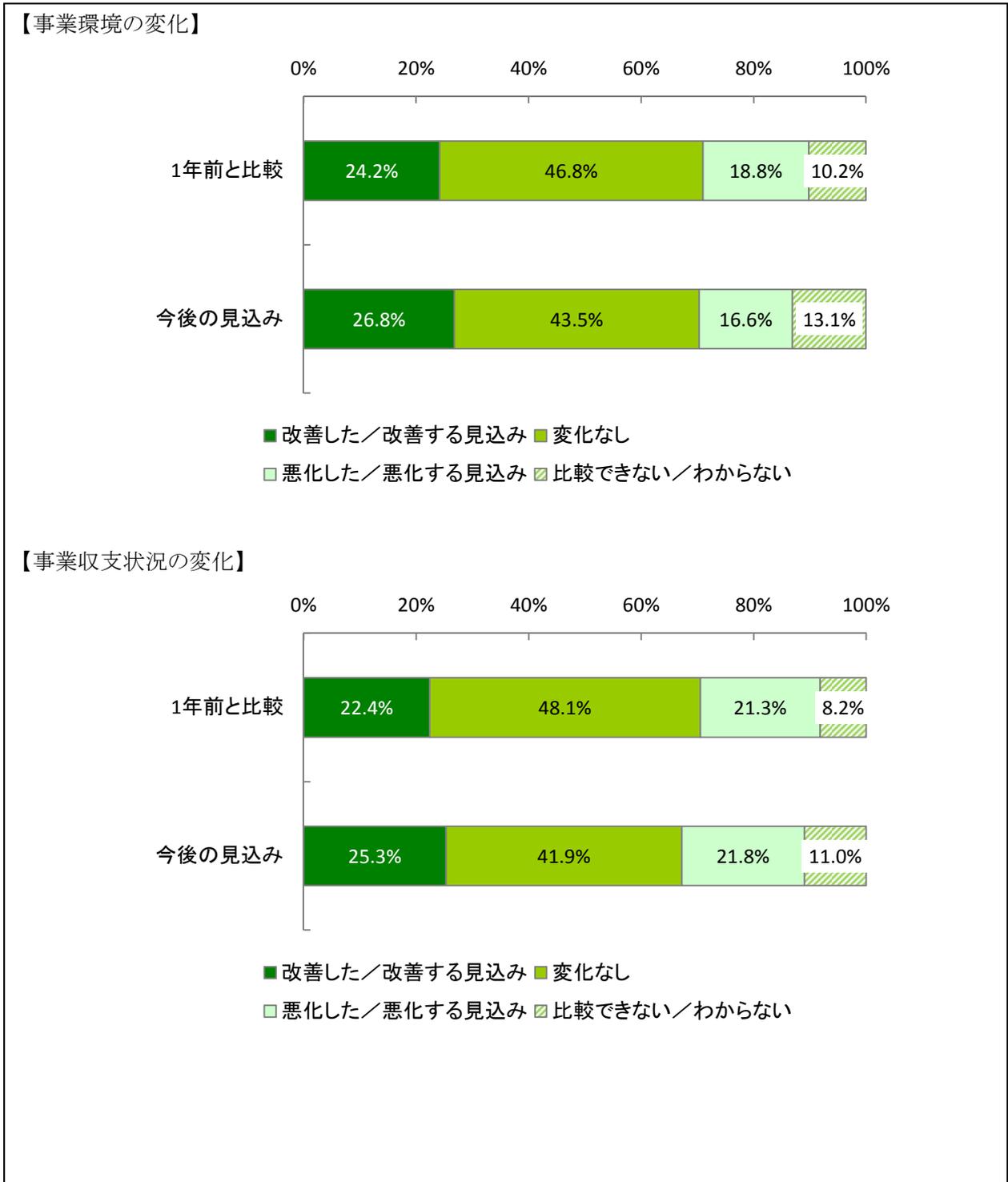
Ⅱ.借入経験のある事業者

1. 借入れの動機・背景

(1) 事業環境ならびに事業収支状況の変化と今後の見通し

- 借入経験のある事業者に対して、事業環境の変化とその見通しについて調査したところ、24.2%が1年前と比較して「改善した」と回答しており、今後の見込みでも26.8%が「改善する見込み」と回答している。

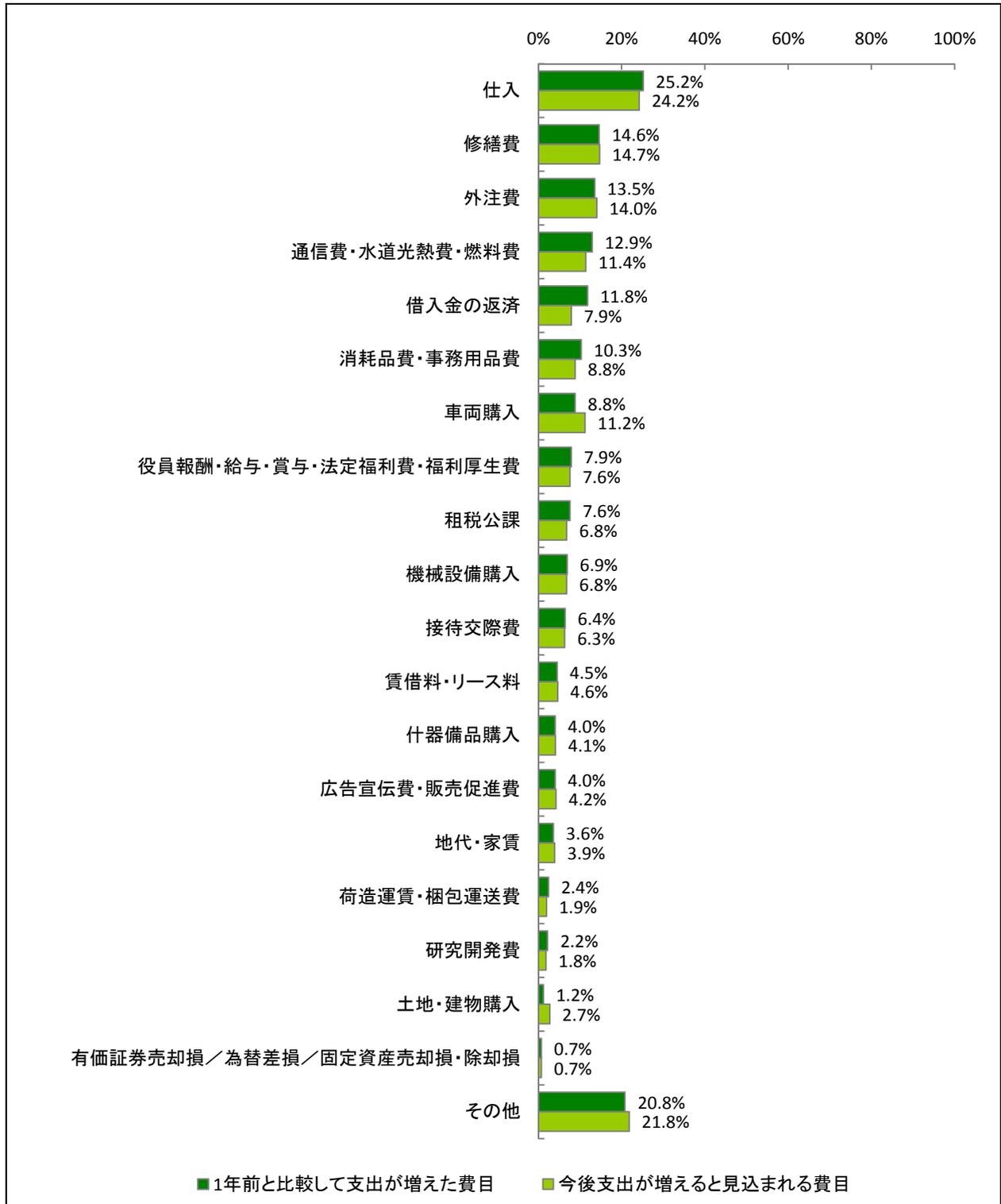
<図 26: 事業環境・事業収支状況の変化 (n=1,000)>



(2) 支出が増加した費目・今後支出が増加する見込みの費目

- 1年前と比較し支出が増加した費目をみると、「仕入」が25.2%と最も高く、次いで「修繕費」が14.6%、「外注費」が13.5%と続いており、今後支出が増加する見込みの費目では、「仕入」が24.2%と最も高い結果となっている。

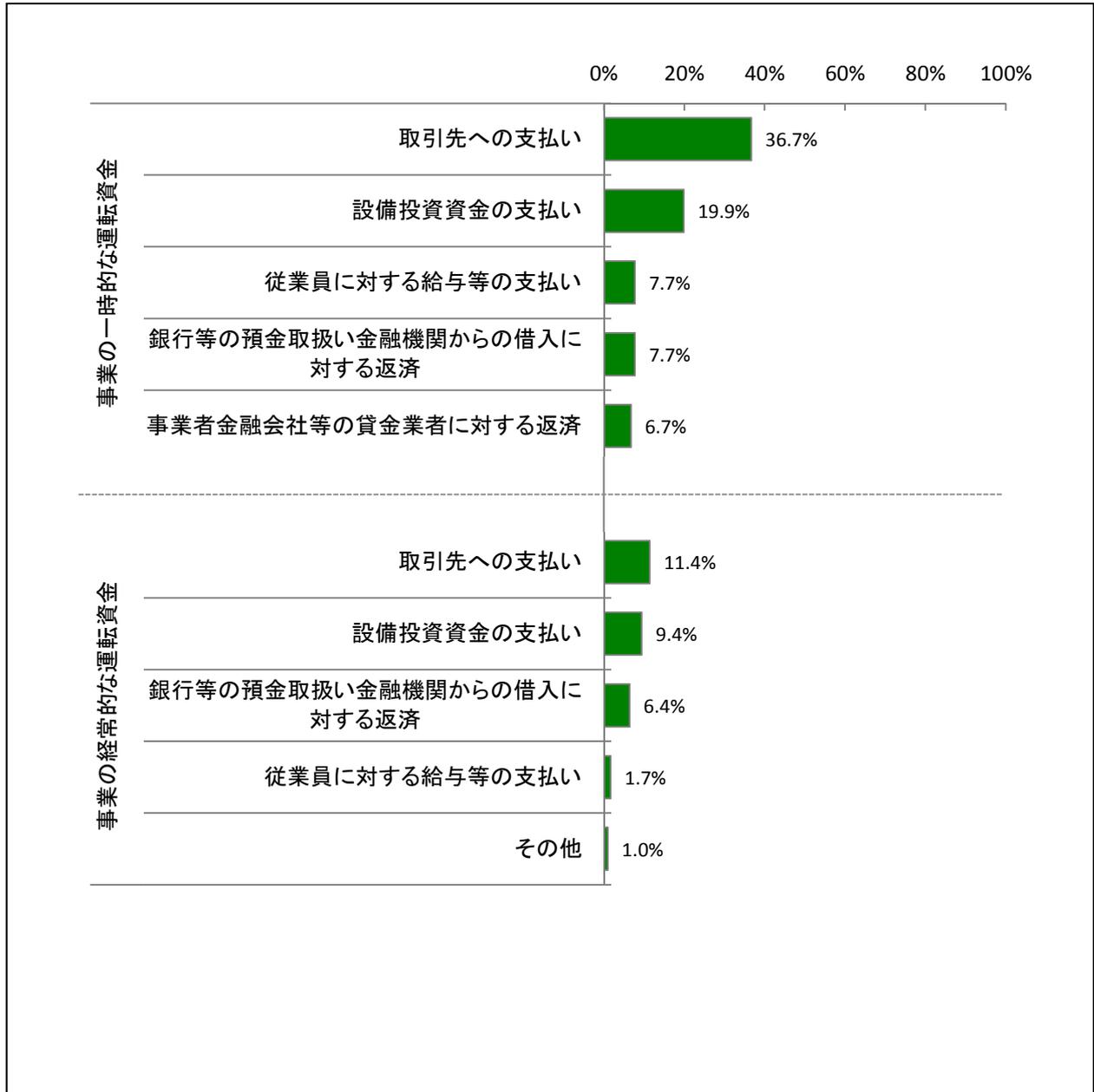
<図 27: 支出が増加した費目・今後支出が増加する見込みの費目 (複数回答 n=1,000)>



(3) 借入申込を行った際の資金使途

- 借入経験のある事業者に対して、直近1年以内における借入申込の資金使途について調査したところ、「取引先への支払い(事業の一時的な運転資金)」と回答した割合が36.7%と最も高い結果となった。

<図 28:直近1年以内に借入申込を行った際の資金使途 (複数回答 n=297)>



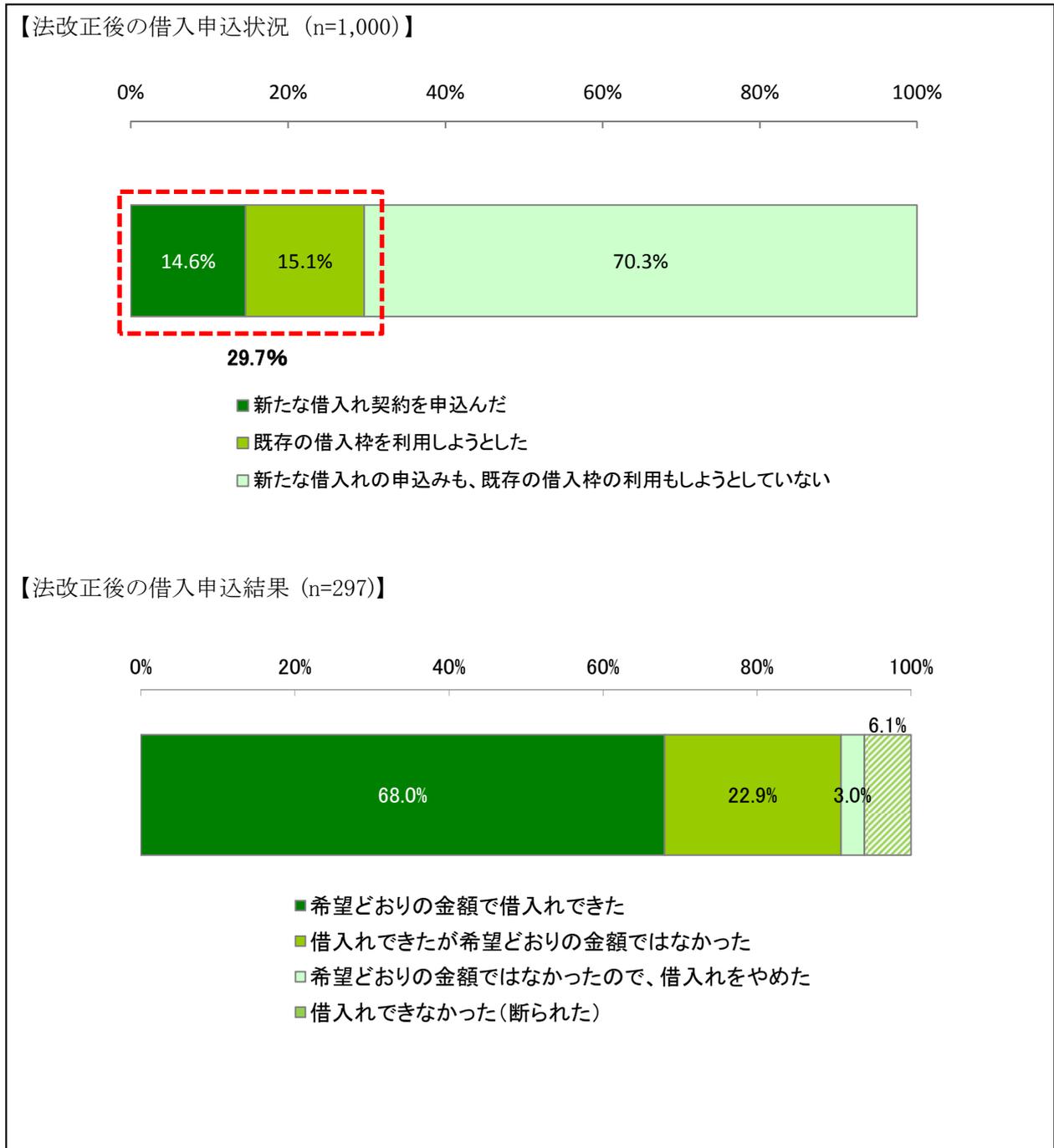
2. 借入行動とその変化

(1) 貸金業者への新たな借入申込状況・結果

① 貸金業者への借入申込状況・結果

- 借入経験のある事業者の29.7%が改正貸金業法の完全施行日以降に借入申込みを行い、そのうち68.0%が希望どおりの借入れができたと回答している。

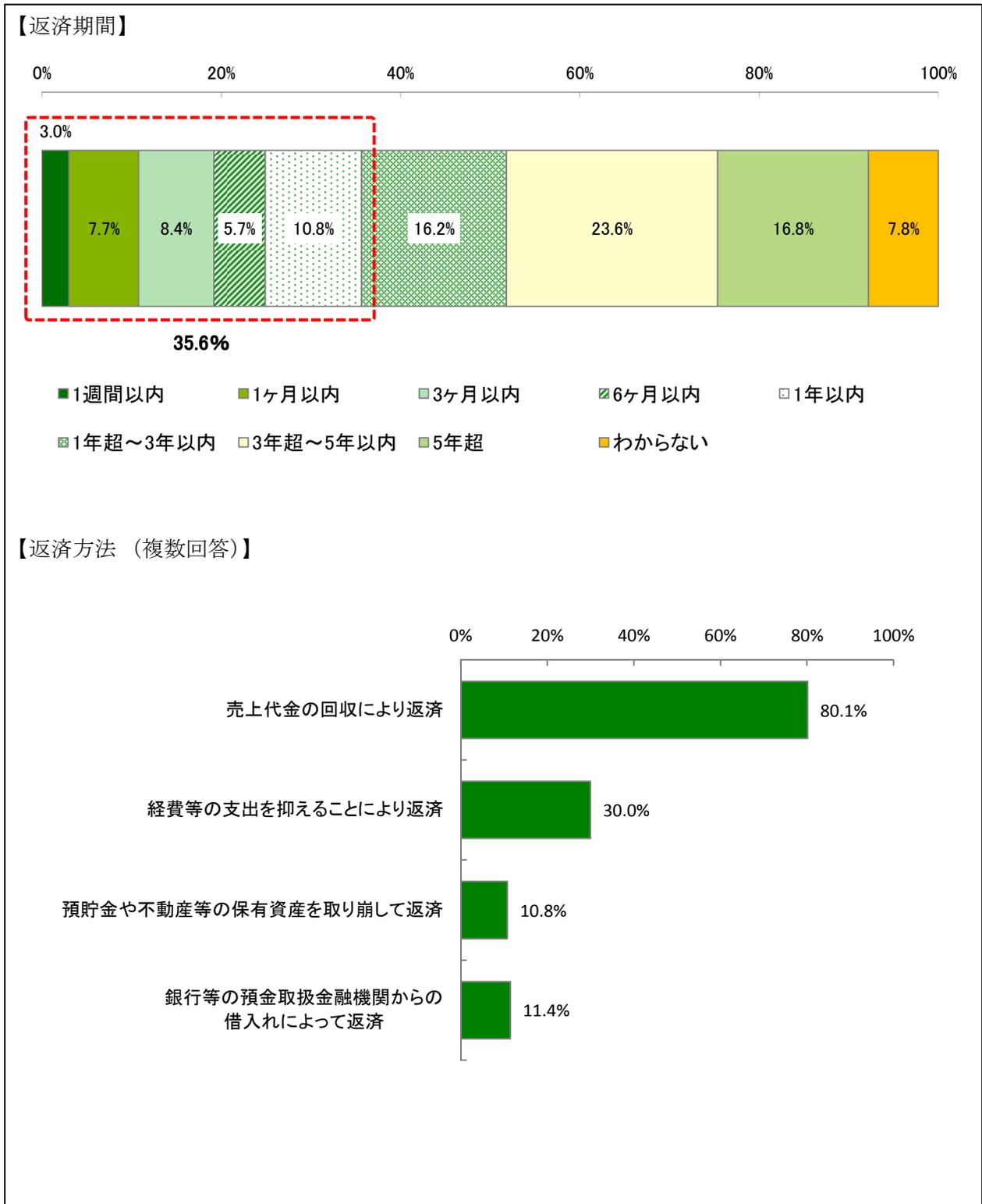
<図 29:改正貸金業法施行後の借入申込み状況・結果>



② 計画していた返済期間・返済方法

- 借入れを申込みした際に計画していた返済期間をみると、35.6%が1年以内(「1週間以内」～「1年以内」)と回答しており、返済方法については「売上代金の回収により返済」と回答した割合が80.1%と最も高い結果となっている。

<図 30: 計画していた返済期間・返済方法 (n=297)>

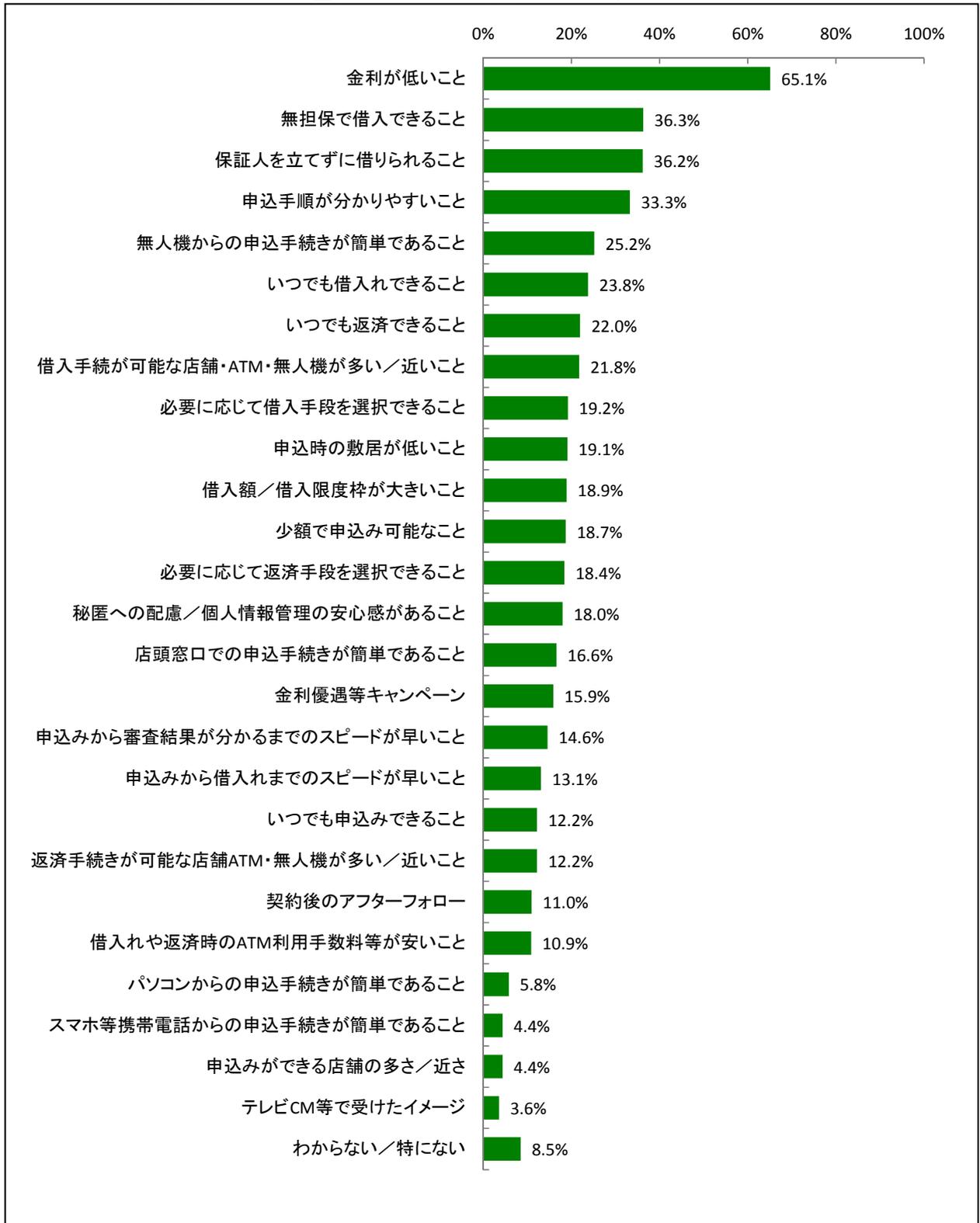


(2) 借入先を検討する選ぶ際に検討した先と選んだ理由

① 借入先を選定する際に重視するポイント

- 借入経験のある事業者に対して、借入先を選定する際に重視するポイントを調査したところ、「金利が低いこと」と回答した割合が 65.1%と最も高く、次いで「無担保で借入れできること」が 36.3%、「保証人を立てずに借りられること」が 36.2%となった。

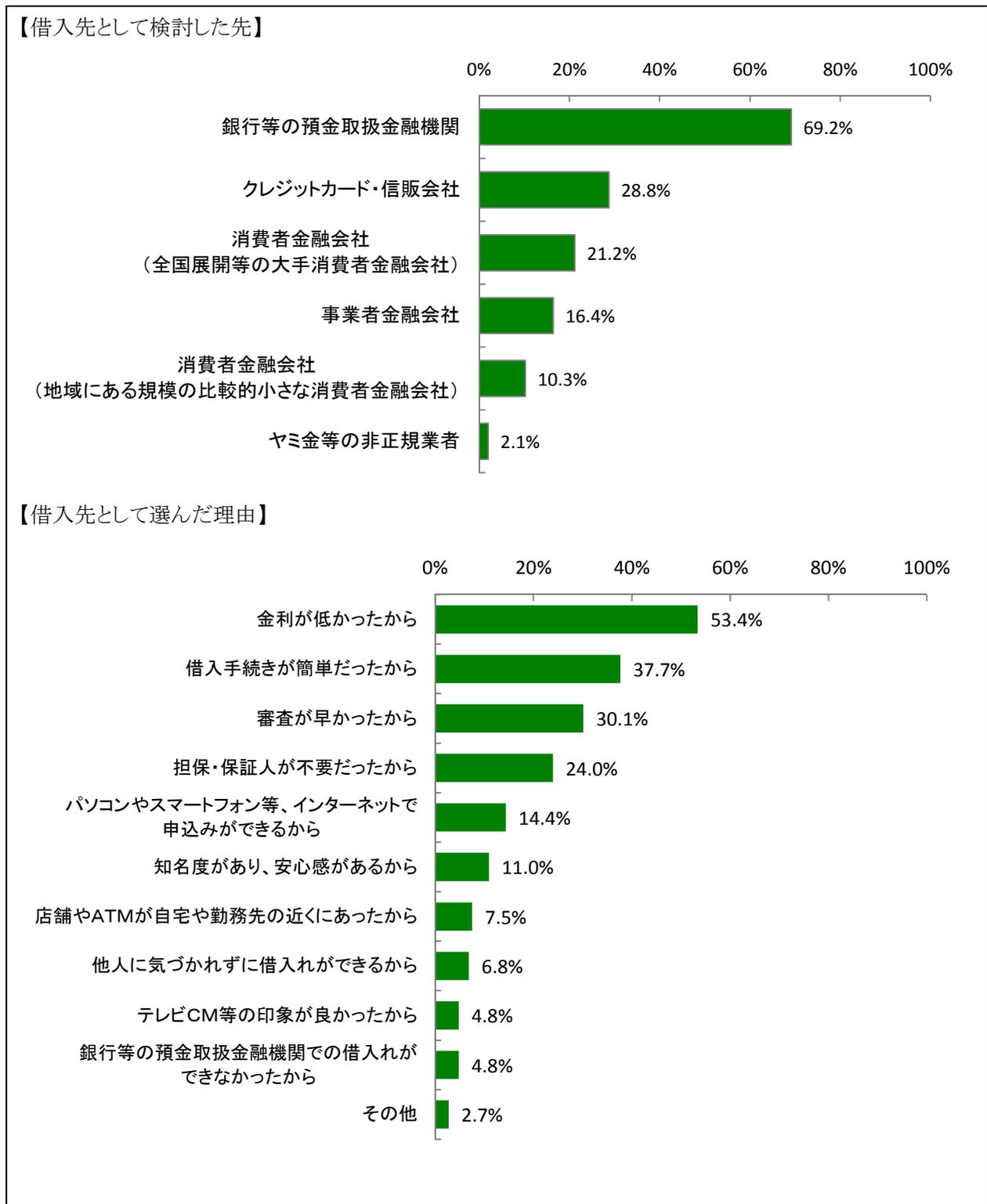
<図 31:借入先を選定する際に重視するポイント (複数回答 n=1,000)>



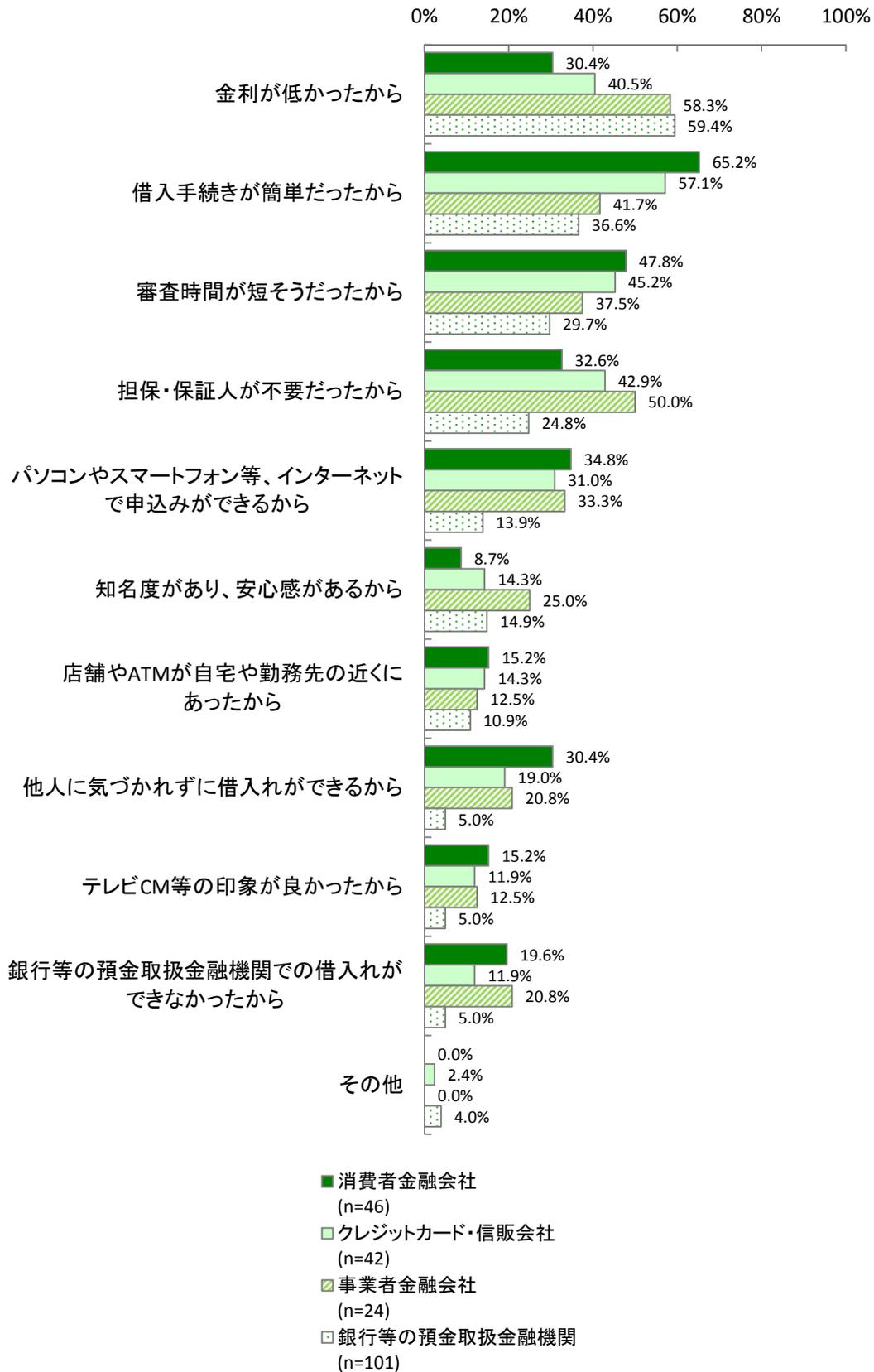
② 借入先として検討した先・選んだ理由

- 借入経験のある事業者に対して、借入先として検討した先について調査を行ったところ、「銀行等の預金取扱金融機関」と回答した割合が69.2%と最も高く、次いで「クレジットカード・信販会社」が28.8%、「消費者金融会社(全国展開等の大手消費者金融会社)」が21.2%と続いている。
- 借入先を選定した理由については、「金利が低かったから」と回答した割合が53.4%と最も高く、次いで「借入手続きが簡単だったから」が37.7%、「審査が早かったから」が30.1%となった

<図 32:借入先として検討した先・選んだ理由(複数回答 n=146)>



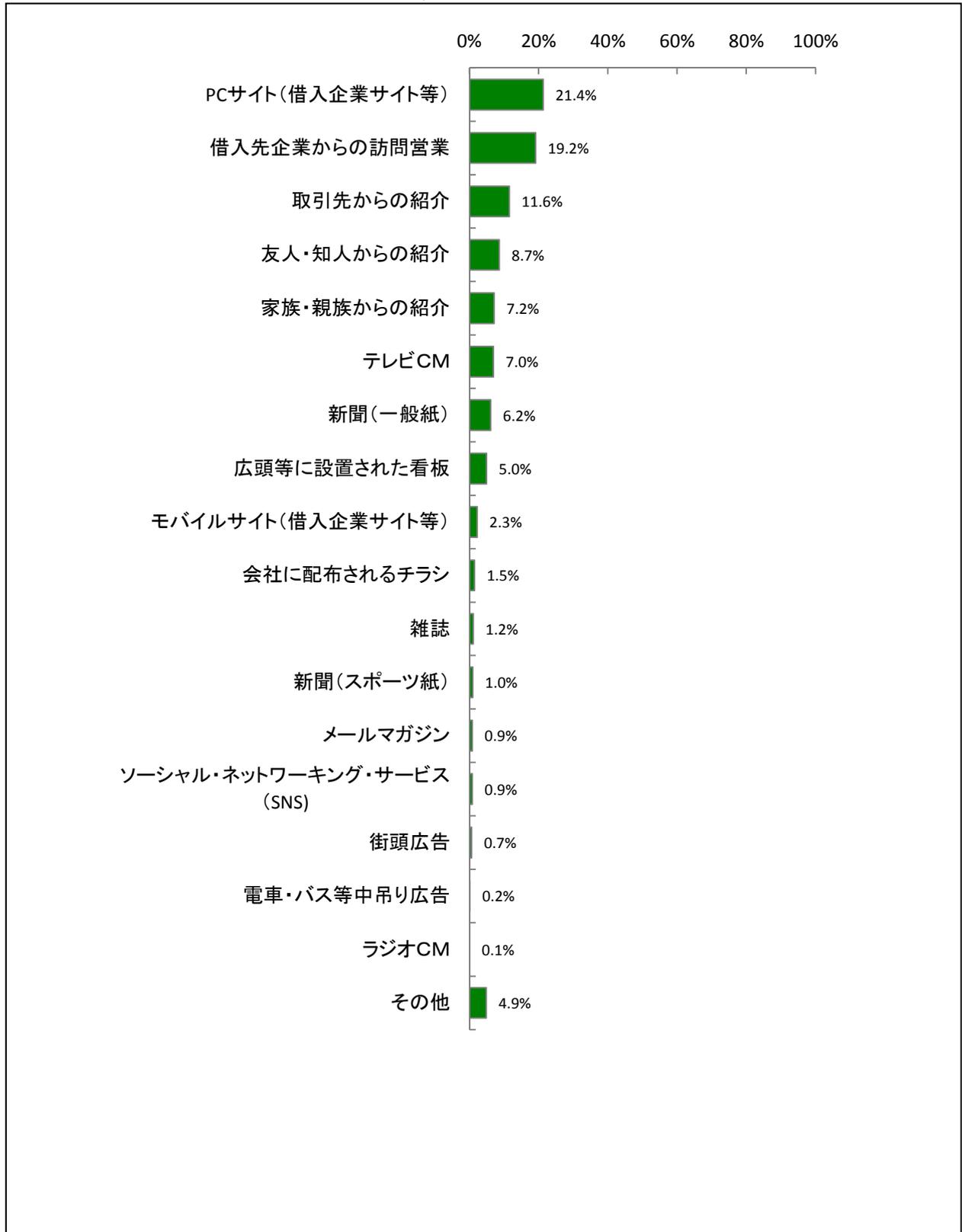
(借入検討先別区分)



③ 借入先を選定する際の情報源

- 借入先を選定する際の情報源をみると、「PC サイト(借入企業サイト等)」が 21.4%と最も高く、次いで「借入企業からの訪問営業」が 19.2%、「取引先からの紹介」が 11.6%と続いている。

<図 33:借入先を選定する際の情報源 (n=1,000)>

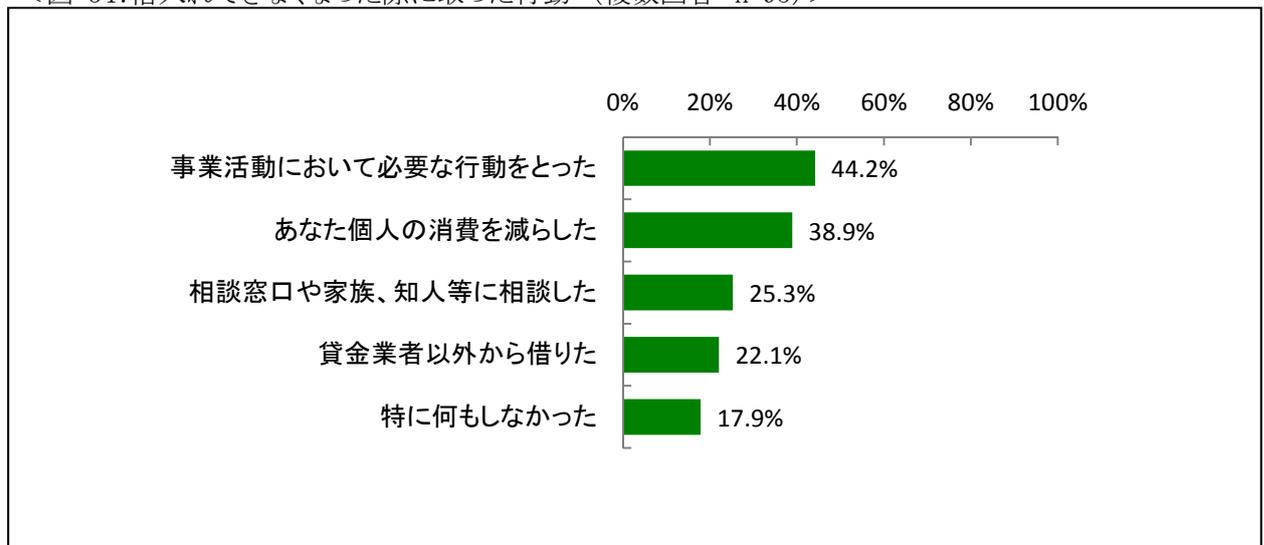


(3) 借入れできなくなった際に行った行動

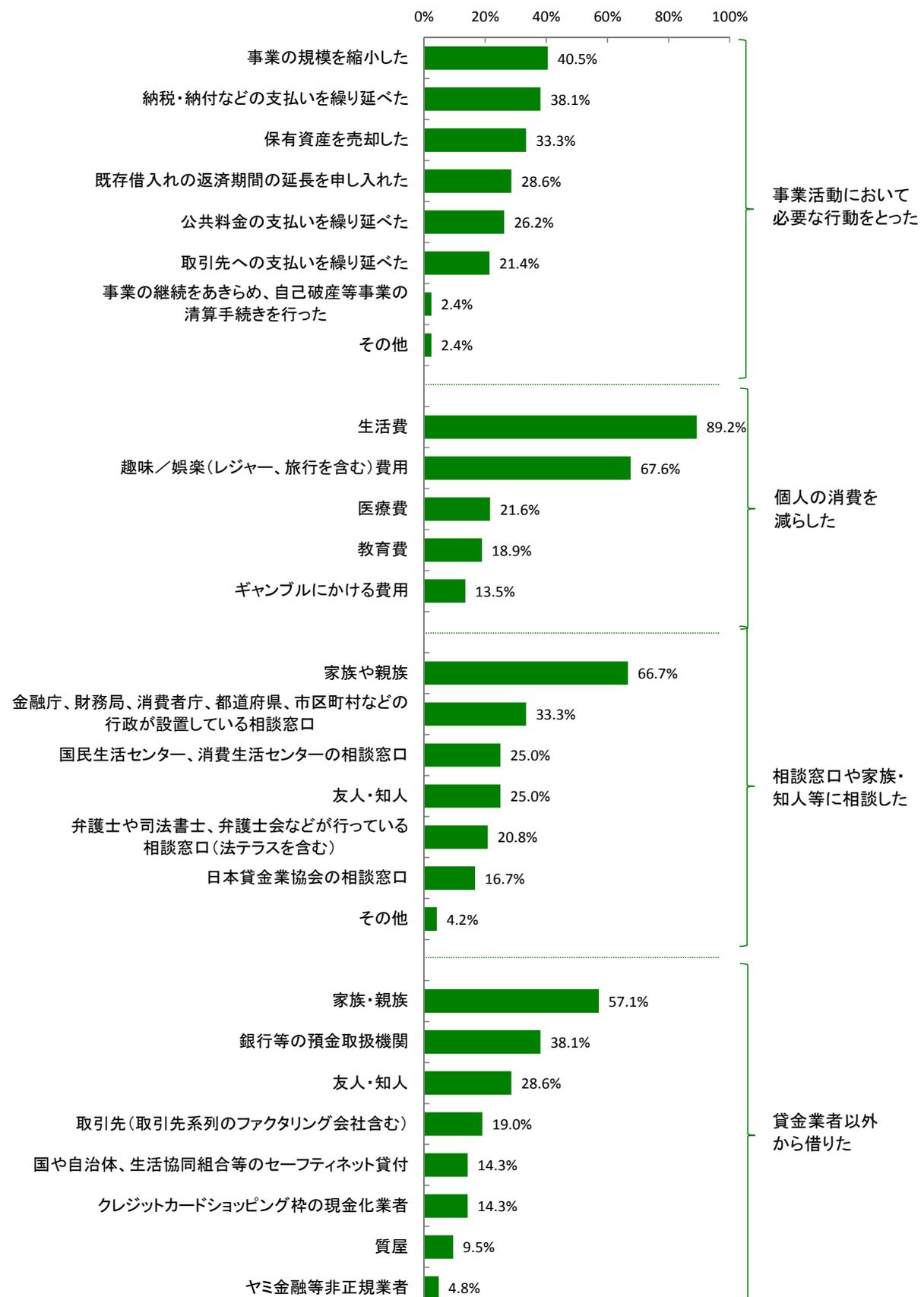
① 借入れできなくなった(申込まなかった)際に行った行動

- 借入経験のある事業者に対して、借入れできなくなった(申込まなかった)際に行った行動について調査したところ、「事業活動において必要な行動をとった」と回答した割合が44.2%と最も高くなっており、その内容をみると、「事業の規模を縮小した(40.5%)」や「納税・納付などの支払いを繰り延べた(38.1%)」にて対応している結果となっている。

<図 34:借入れできなくなった際に行った行動 (複数回答 n=95)>



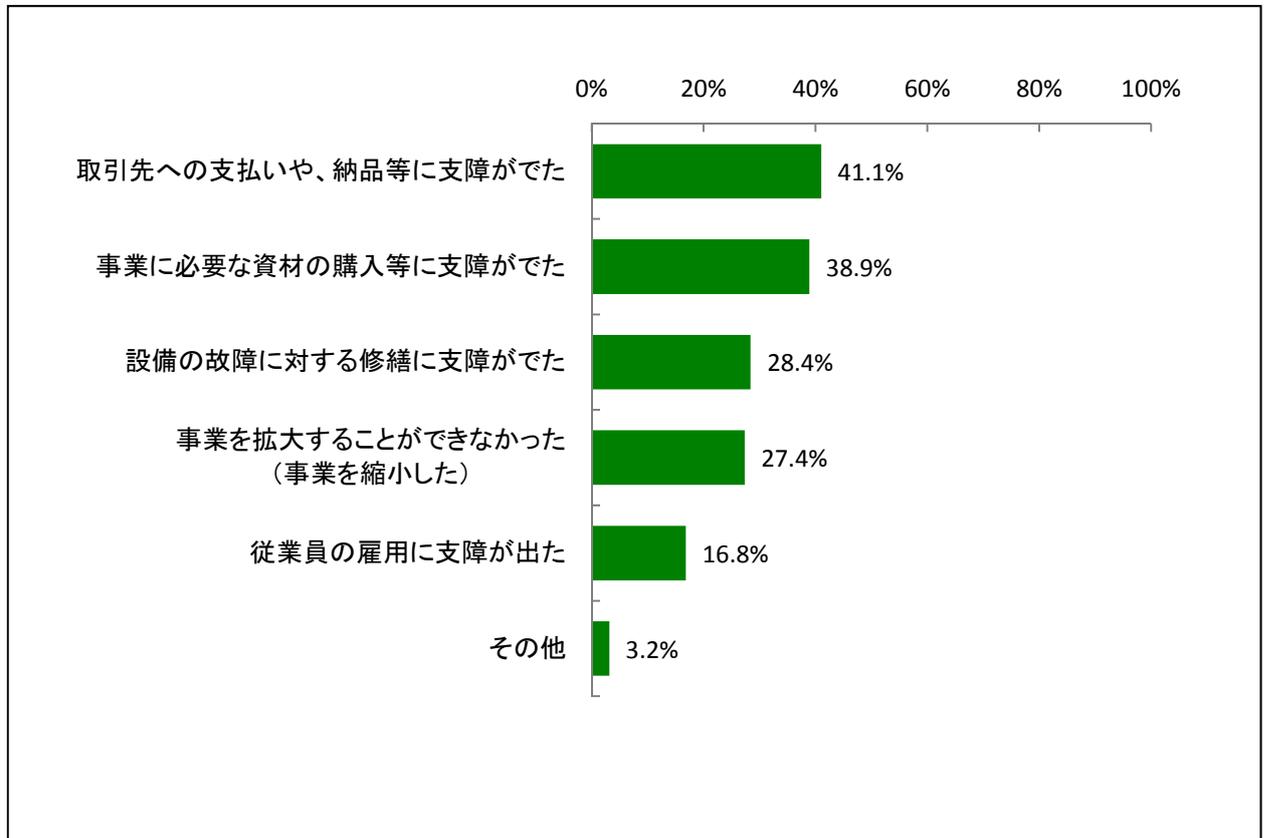
(借入ができなくなった際に行った行動の詳細)



② 借入れできなくなったことによる影響

- 希望どおりの借入れができなくなったことによる影響については、「取引先への支払いや、納品等に支障がでた」が41.1%と最も高く、次いで「事業に必要な資材の購入等に支障がでた」が38.9%と続いている。

<図 35:借入れできなくなったことによる影響 (複数回答 n=95)>

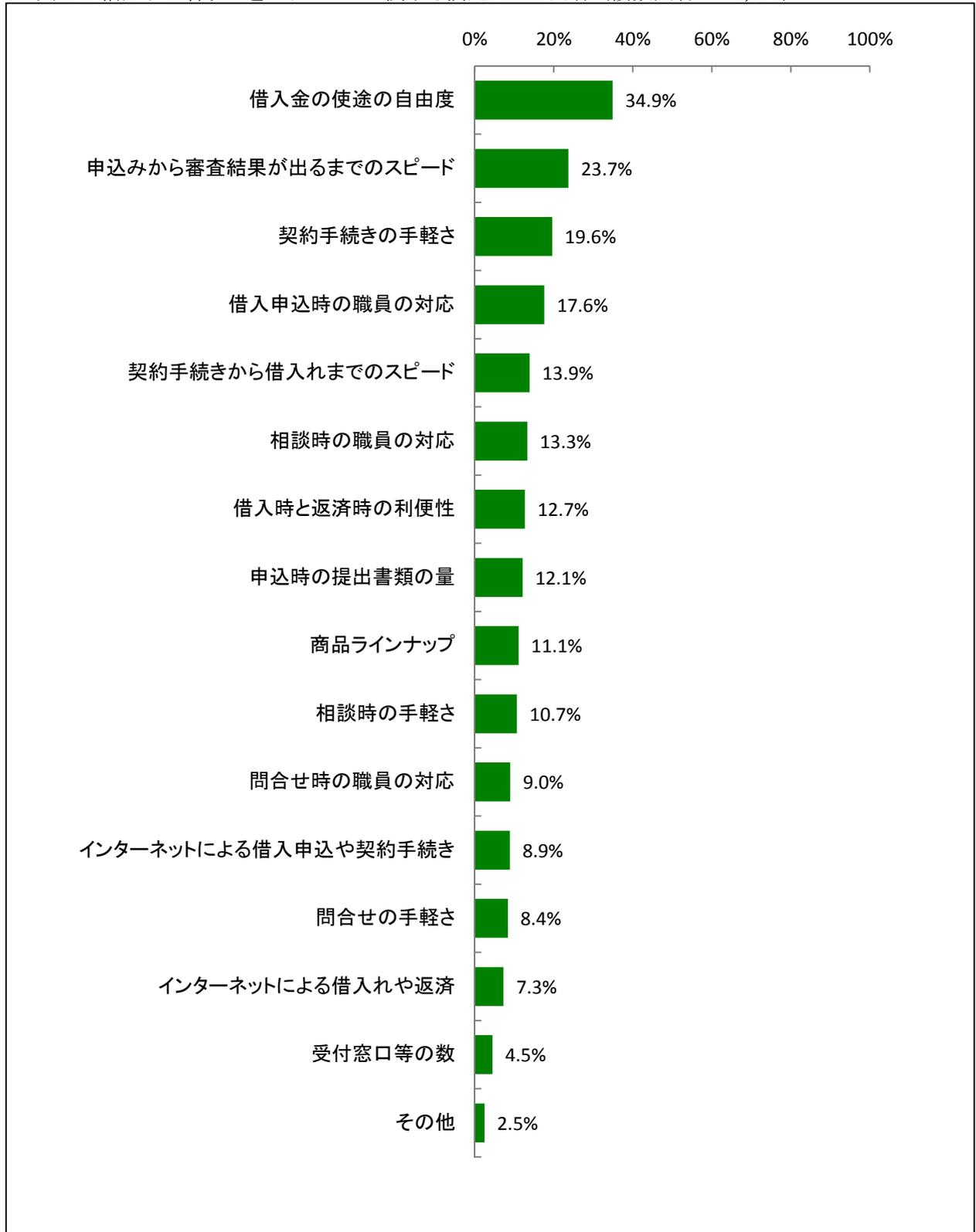


(4) 借入れに伴う一連のサービスに関する満足度

① 借入れに伴う一連のサービスについて満足であった内容

- 借入経験のある事業者に対して、借入れに伴う一連のサービスについて満足であった内容を調査したところ、「借入金の使途の自由度」が34.9%と最も高く、次いで「申込みから審査結果が出るまでのスピード」が23.7%、「契約手続きの手軽さ」が19.6%となった。

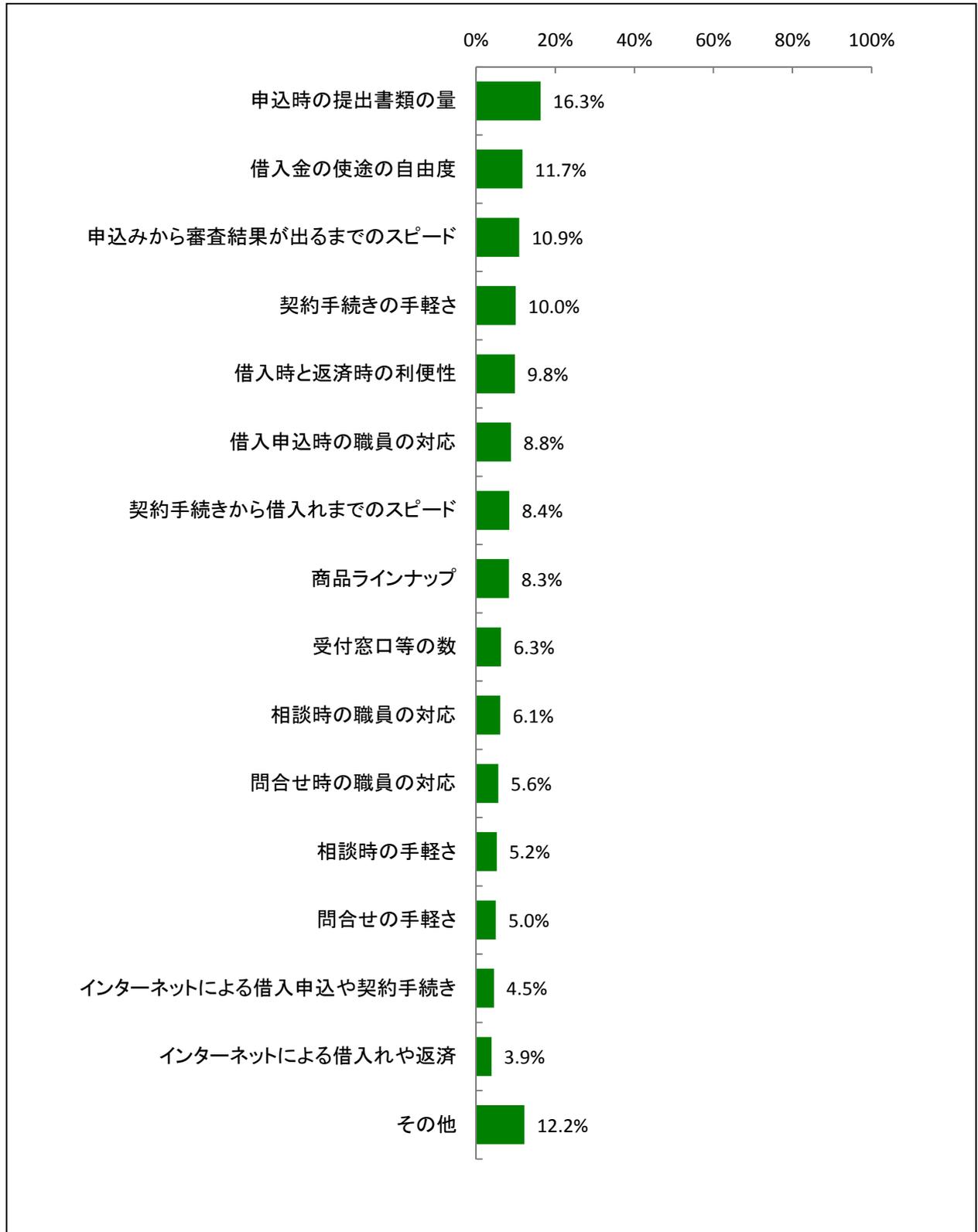
<図 36:借入れに伴う一連のサービスに関する満足だった内容（複数回答 n=1,000）>



② 借入れに伴う一連のサービスについて不満足であった内容

- 借入れに伴う一連のサービスについて不満足であった内容については、「申込時の提出書類の量」が16.3%と最も高く、次いで「借入金の使途の自由度」が11.7%、「申込みから審査結果が出るまでのスピード」が10.9%と続いている。

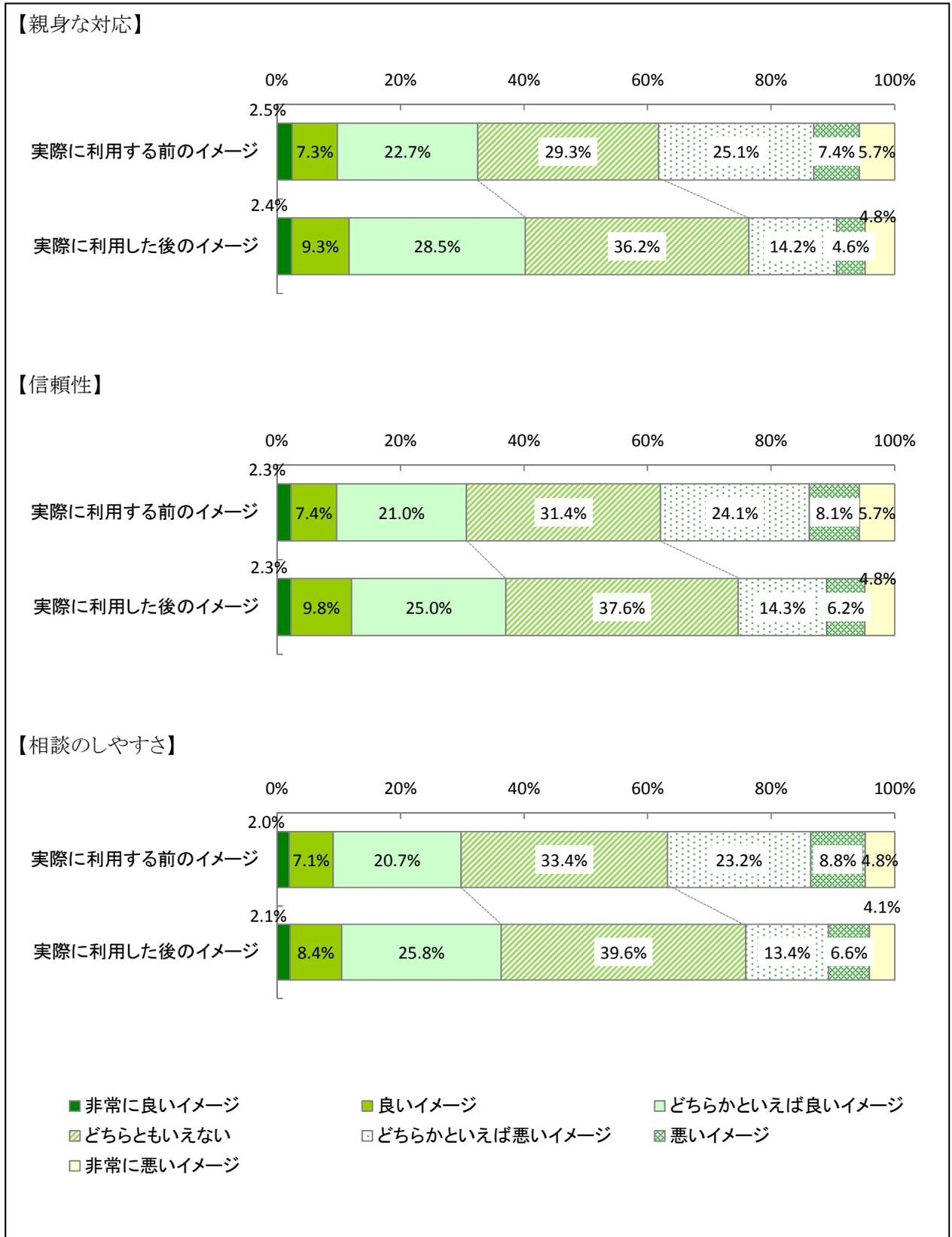
<図 37:借入れに伴う一連のサービスに関する不満足だった内容（複数回答 n=1,000）>



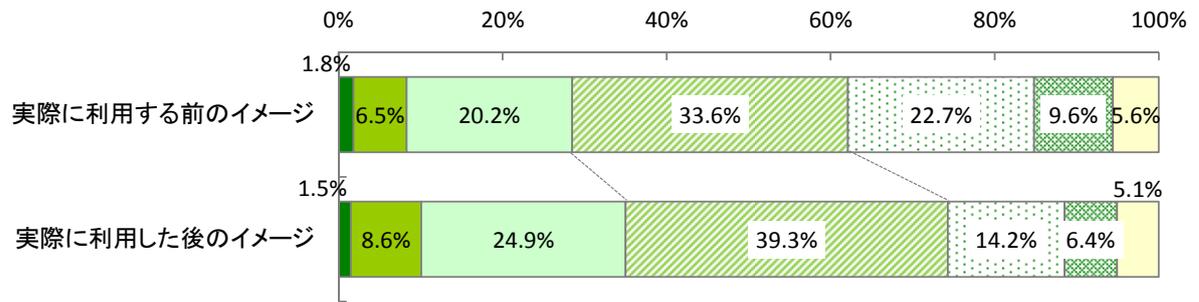
(5) 貸金業者に対する印象の変化

- 借入経験のある事業者に対して、貸金業者に対する印象の変化について調査したところ、実際に利用した後は、良いイメージと回答した割合が利用する前に比べて全ての項目で高くなった。一方、悪いイメージと回答した割合は利用する前に比べて全ての項目で低くなっている。

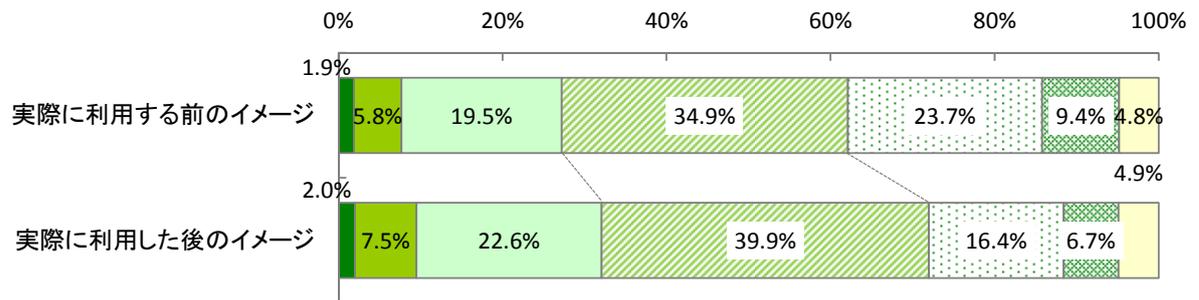
<図 38: 貸金業者に対する印象の変化 (n=1,000)>



【安心感】



【親近感】



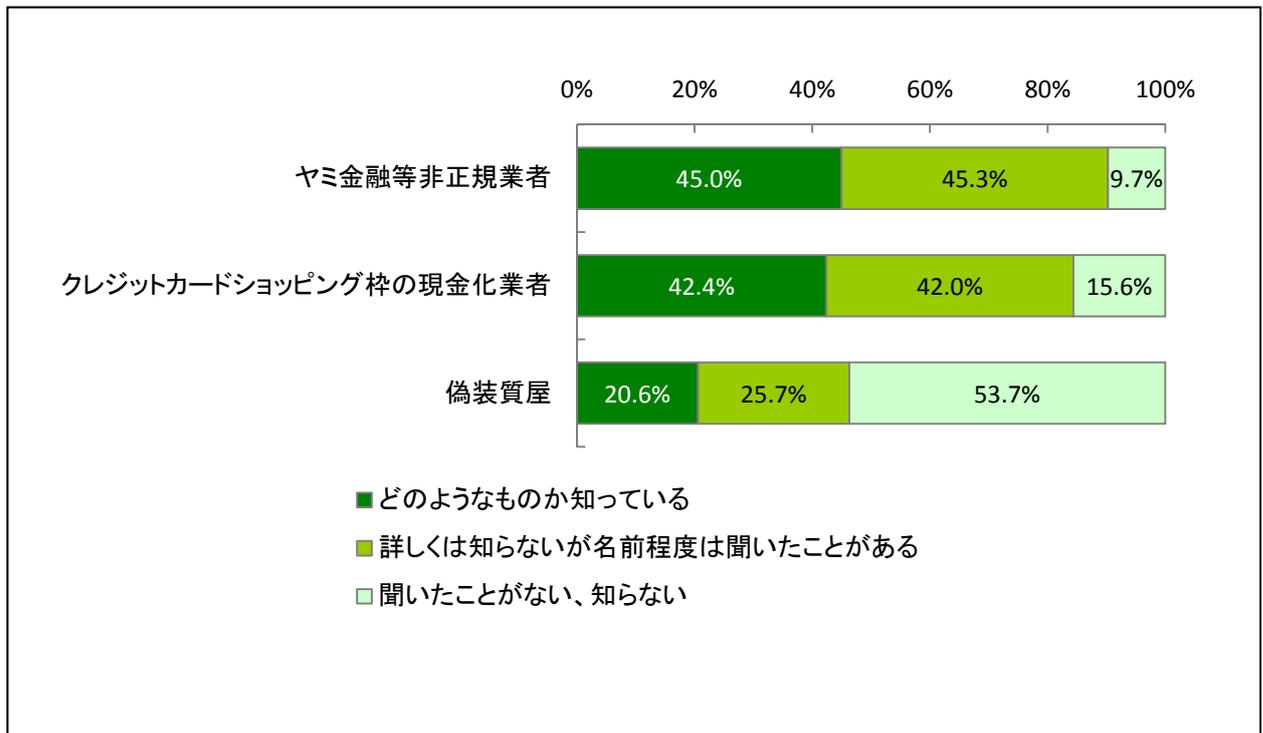
- 非常に良いイメージ
- 良いイメージ
- どちらかといえば良いイメージ
- どちらともいえない
- どちらかといえば悪いイメージ
- 悪いイメージ
- 非常に悪いイメージ

(6) ヤミ金融等非正規業者との接触状況

① ヤミ金融等非正規業者についての認知

- 借入経験のある事業者に対して、ヤミ金融等非正規業者、クレジットカードショッピング枠の現金化業者、偽装質屋の認知について調査したところ、「どのようなものか知っている」と回答した割合は、「ヤミ金融等非正規業者」が45.0%、「クレジットカードショッピング枠の現金化業者」が42.4%、「偽装質屋」が20.6%となった。

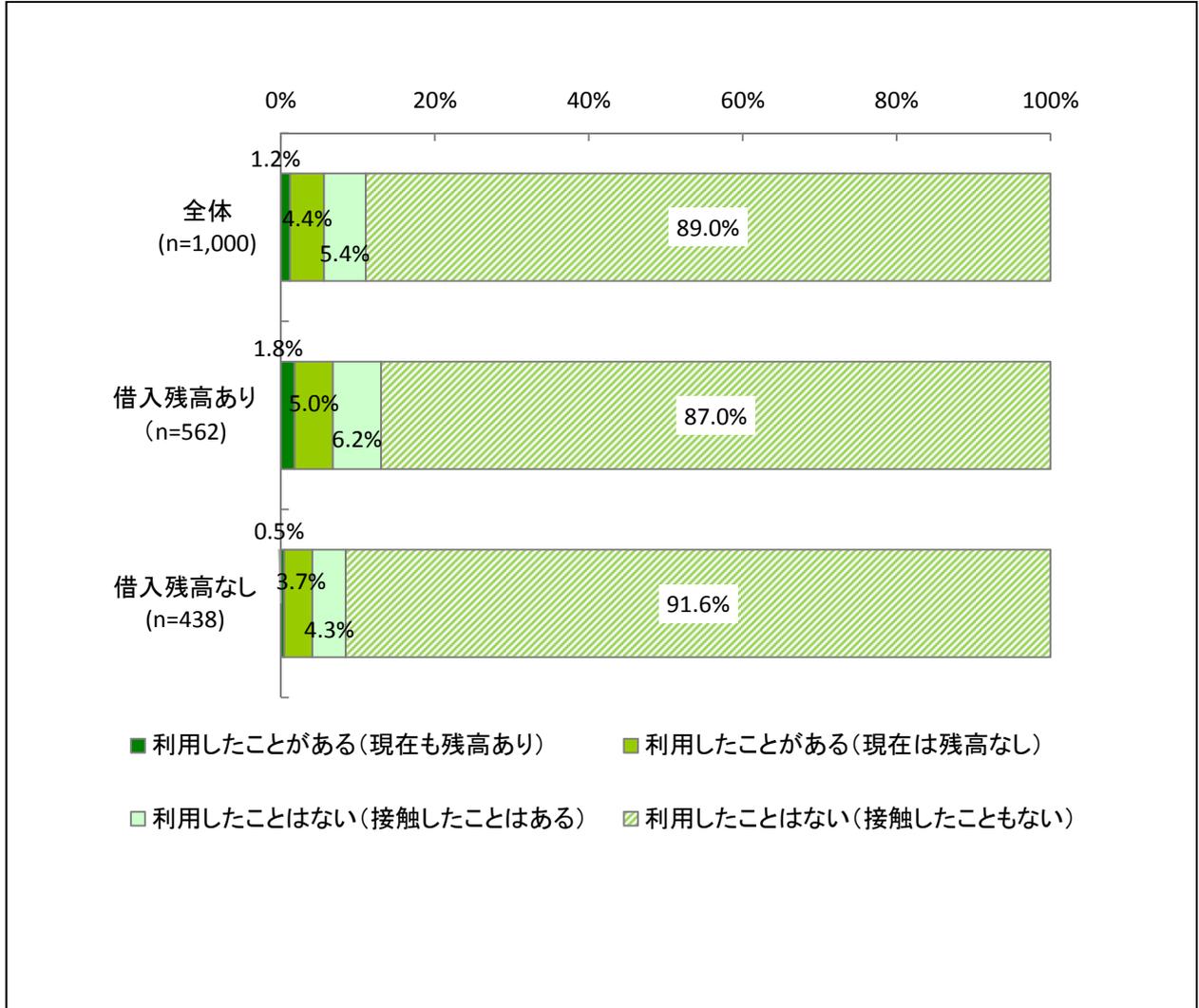
<図 39: ヤミ金融等非正規業者についての認知度 (n=1,000)>



② ヤミ金融等非正規業者の利用状況および接触有無

- ヤミ金融等非正規業者の利用状況および接触有無について調査したところ、11.0%が接触したことがあると回答しており、そのうち現在貸金業者からの借入残高がある利用者については13.0%が接触したことがあると回答している

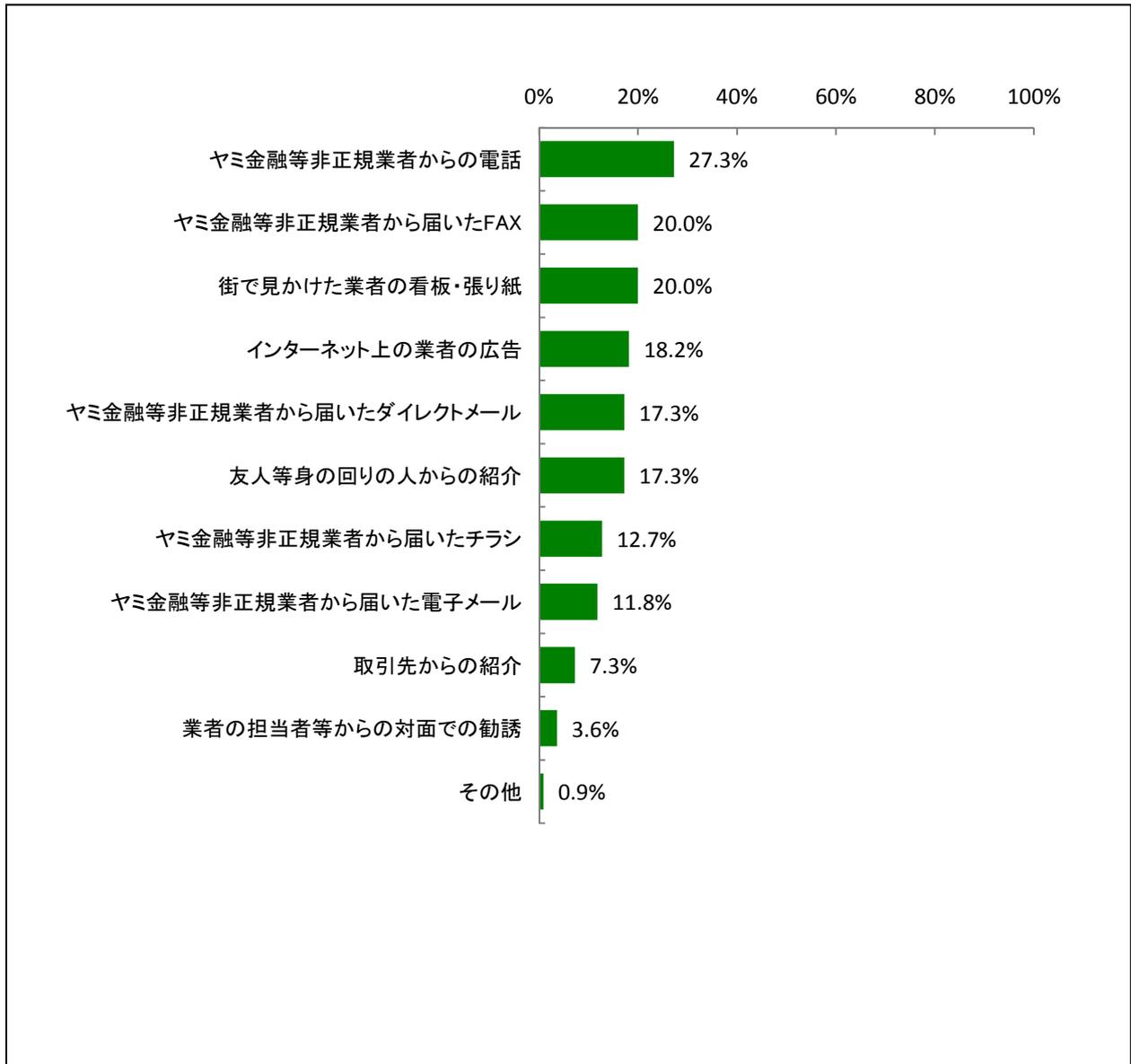
<図 40: ヤミ金融等非正規業者の利用状況および接触有無>



③ ヤミ金融等非正規業者との接触方法

- ヤミ金業者等非正規業者との接触方法は、「ヤミ金業者等非正規業者からの電話」が27.3%と最も高く、次いで「ヤミ金融等非正規業者から届いたFAX」が20.0%、「街で見かけた業者の看板・張り紙」が20.0%となった。

<図 41:ヤミ金融等非正規業者との接触方法 (複数回答 n=110)>

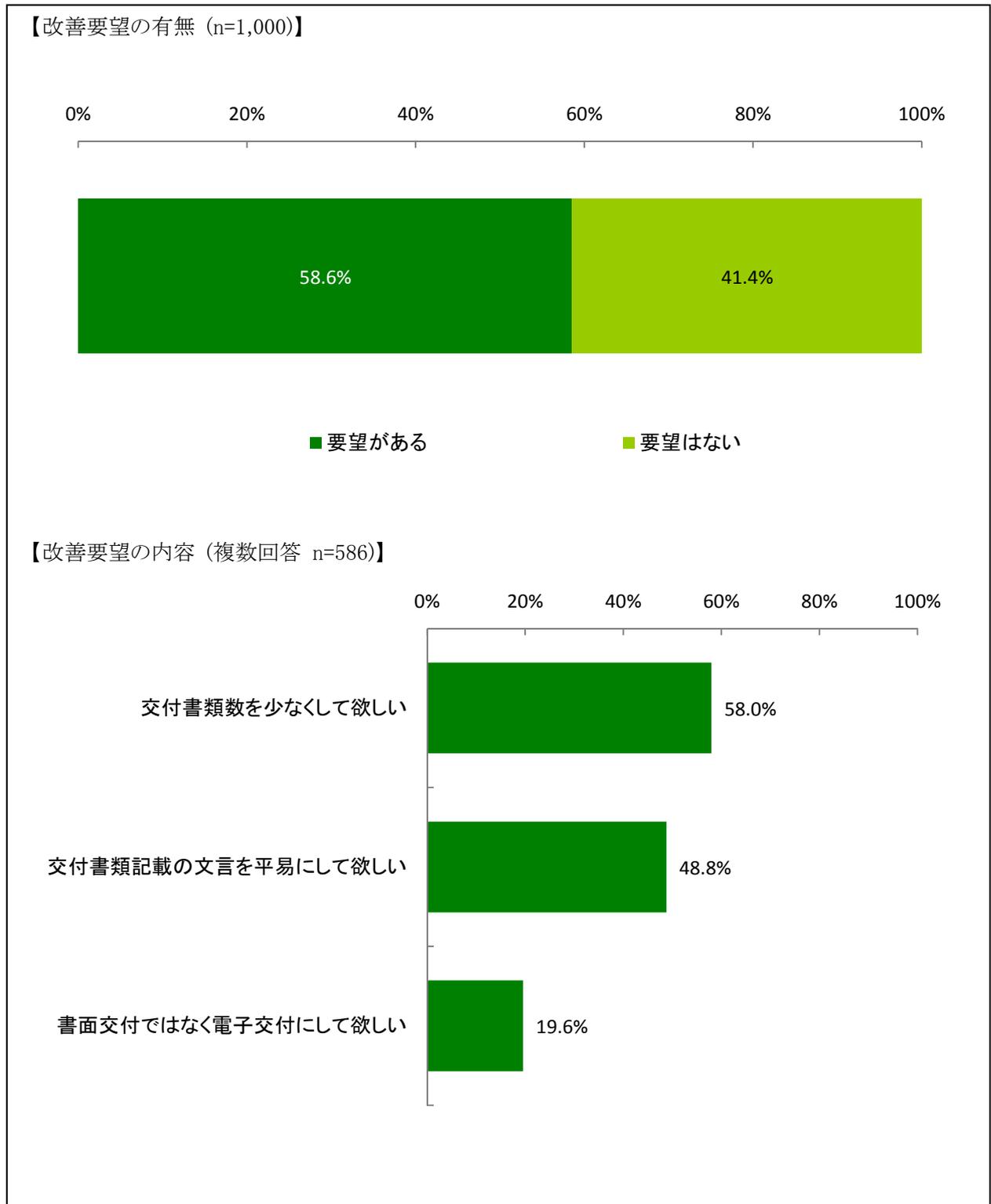


3. 貸金業者に対する期待・要望

(1) 借入契約を締結する際に交付される書類について

- 借入経験のある事業者に対して、借入れの契約を締結する際に交付される書類への改善要望の有無について調査したところ、58.6%が「要望がある」と回答しており、その内容では「交付書類数を少なくして欲しい」と回答した割合が 58.0%と最も高くなった。

<図 42:借入れの契約(借換え含む)を締結する際に貸金業者から交付される書類への改善要望>

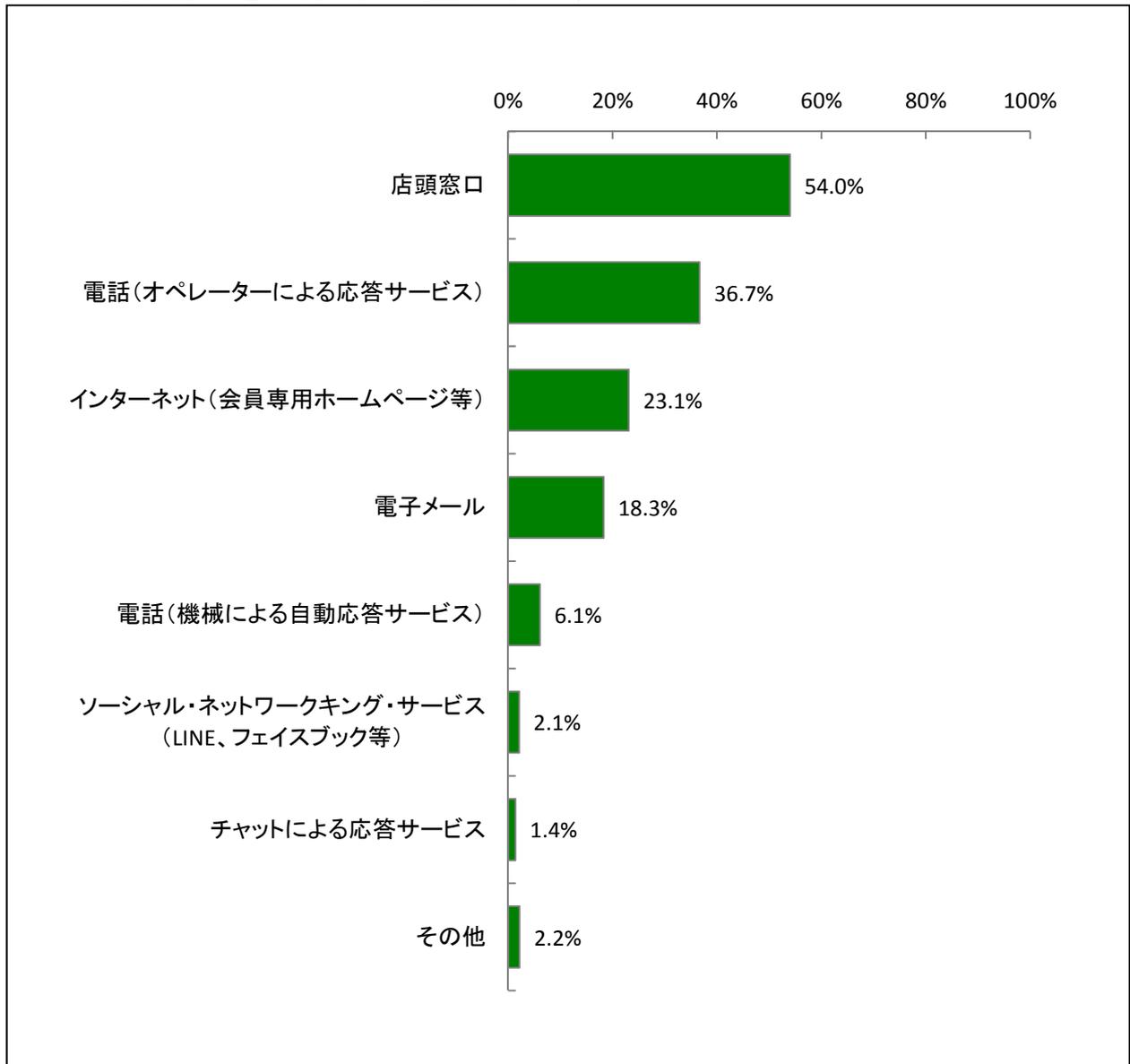


(2) 資金需要者が貸金業者に望んでいること

① 借入先との連絡方法・手段

- 借入経験のある事業者に対して、希望する借入先との連絡方法・手段について調査したところ、「店頭窓口」が 54.0%と最も高く、次いで「電話(オペレーターによる応答サービス)」が 36.7%、「インターネット (会員専用ホームページ等)」が 23.1%となった。

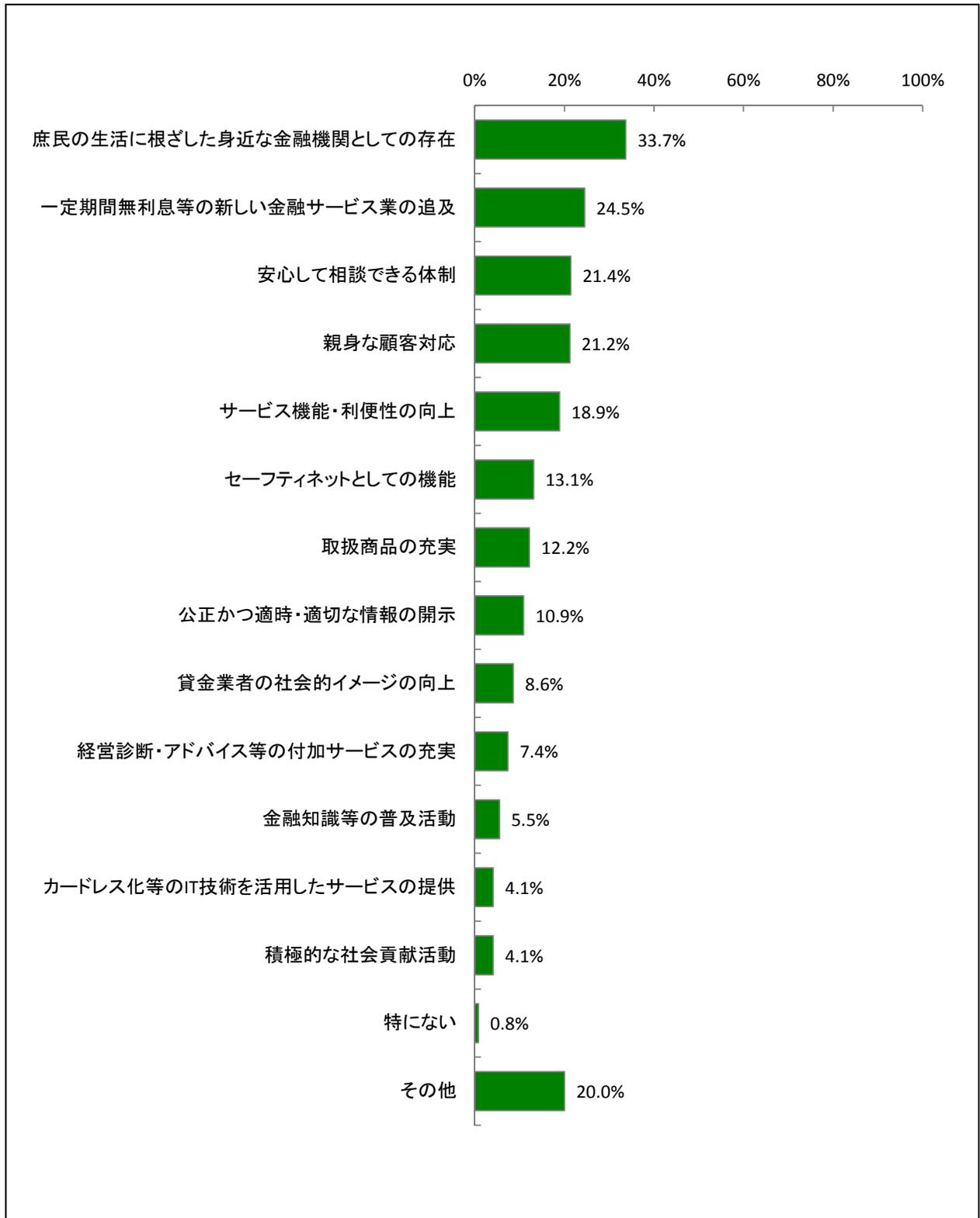
<図 43:借入先との連絡方法・手段 (複数回答 n=1,000)>



② 貸金業者に望むこと

- 貸金業者に望むことについては、「庶民の生活に根ざした身近な金融機関としての存在」が 33.7%と最も高く、次いで「一定期間無利息等の新しい金融サービス業の追及」が 24.5%と続いている。

<図 44:貸金業者に望むこと (複数回答 n=1,000)>



以上

【補足資料】資金需要者等の借入れに対する意識や行動に関する インタビュー調査結果報告

日本貸金業協会は、借入れに対する意識や行動に関するインターネット調査に加え、今回、資金需要者の借入れの背景にある心情や感情など、定量的な調査では得られない生の声を把握することを目的として、対面によるインタビュー調査を実施しました。

■ 調査概要

- (1) 調査方法: インタビュー調査
- (2) 調査対象: 調査会社が保有する全国 20 歳以上のインターネットモニター会員 (学生以外)
- (3) 調査期間: 平成 28 年 8 月 26 日から 8 月 28 日
- (4) 調査主体: 日本貸金業協会 業務企画部
- (5) 調査機関: アビームコンサルティング株式会社

■ 標本構成

貸金業者からの借入経験のある一般個人 (男性、女性)、専業主婦 (主夫)、事業者について、以下の標本構成に基づきインタビューを実施

区分		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	合計
一般 個人	男性	1 名	1 名	1 名	2 名	1 名	6 名
	女性	2 名	2 名	2 名	—	1 名	7 名
	うち専業主婦	2 名	—	1 名	—	—	3 名
事業者		—	—	1 名	—	1 名	2 名
合計		3 名	3 名	4 名	2 名	3 名	15 名

注) 一般個人 (女性) には専業主婦を含む

■ インタビュー項目

- 基本属性
- 経済環境の変化
- 借入時の具体的な行動について
- 借入金の返済状況
- 貸金業者の印象や今後の利用意向
- カウンセリング機関の認知度・利用状況
- ヤミ金融等非正規業者との接触・利用状況

■ インタビュー結果

1. 一般個人(男性)

- 貸金業者からの借入れは、「生活費の一時的な補てん」などの日常生活に必要な資金が中心となっており、「すぐに借入れできた」「審査が早くて満足した」など、即時性に対する評価が高い。
- 貸金業者に対する印象は、世代間により違いが感じられる意見があった。

一般個人(男性)の声

<経済環境の変化>

【質問】

・1年前に比べ、労働環境や給与所得は変化していますか。また、増加した(増加する見込み)の費目はありますか。

・基本給は増えているが、残業の制限が入り、総額は減少している。(30代・会社員)

・特に収入の増減はないが、今後、老朽化した自宅の建替えなどに費用がかさむ。(50代・会社員)

<借入時の行動について>

【質問】

・どのような経緯・資金使途で借入れを行いましたか。また、借入行動を通じてどのような点に満足されましたか。

・洋服代や交際費として借入れを行った。借入先はスマートフォンから情報収集を行った。審査も早く、すぐに借入れができ助かった。(30代・会社員)

・収入が不安定なため生活資金の補填として利用している。ネット・アプリ等から短時間で借入れができ満足している。(50代・会社役員)

<返済状況>

【質問】

・借入時、どのような返済計画を立てましたか。また、計画どおり返済できましたか。

・手取り給与から支払計画を立て、返済可能額を計算した。現在も、その計画通りに返済できている。(50代・会社員)

・自分のお小遣いで返済できる3万円を上限に借入れ、30日以内の返済を心がけている。(60代・契約社員)

<貸金業者の印象・利用意向>

【質問】

・以前と比べ貸金業者の印象は変わりましたか。また、今後資金需要が生じた際の借入先として活用したいですか。

・元々悪い印象はなかったが、借入後は安心感が生まれた。(30代・会社員)

・貸金業者のイメージは、今も昔も変わらないが、今後必要があれば利用すると思う。(60代・契約社員)

<カウンセリング機関の認知度>

【質問】

・カウンセリング機関・サービス知っていますか。また、利用したいですか。

・カウンセリング機関は聞いたことはあるが、具体的に、どこにあるのか分からない。今後返済に困った時等に利用してみたい。(40代・会社員)

2. 一般個人(女性)

- 貸金業者は実際に利用すると対応も良く、印象は良くなった。
- クレジットカードでは求められない配偶者の収入証明提出は理解できず、30万円程度であれば専業主婦でも、家計のやり繰りで返済できるとの意見あり。

一般個人(女性)の声

<経済環境の変化>

【質問】

・1年前に比べ、労働環境や給与所得は変化していますか。また、増加した(増加する見込み)の費目はありますか。

・給料の増減はない。生活はギリギリで貯蓄はない。契約更新で家賃が上がり負担が大きい(40代・派遣社員)

・子供が生まれたばかりで、今後成長に伴い支出が増える見込みだが、夫の収入は増加せず、いずれは自分自身が働く必要を感じている。(20代・専業主婦)

<借入時の行動について>

【質問】

・どのような経緯・資金使途で借入れを行いましたか。また、借入行動を通じてどのような点に満足されましたか。

・友人の結婚式出席のために借入れを行った。親族に相談できなかったので助かった。(30代・派遣社員)

・親族の都合で消費者金融より借入れ。審査が早く、お金を借りるイメージが変わった。(30代・会社員)

<返済状況>

【質問】

・借入時、どのような返済計画を立てましたか。また、計画どおり返済できましたか。

・借入れが少額だったこともあり、予定通り返済し半年で完済。(20代・専業主婦)

<貸金業者の印象・利用意向>

【質問】

・以前と比べ貸金業者の印象は変わりましたか。また、今後資金需要が生じた際の借入先として活用したいですか。

・延滞時の督促等、借入前は不安があった。接客態度等、銀行と変わらないレベルで印象は良くなった。(30代・派遣社員)

・昔から知人が利用しており身近な印象だった。今はきちんと返す前提で借りれば問題ない印象。(20代・専業主婦)

<専業主婦の貸付について>

【質問】

・専業主婦が借入れを行う際に、夫の同意書面や資力証明を提出する制度についてどのように感じますか。

・クレジットカードでは不要で、貸金業者を利用する際に、夫の収入証明が必要なのは理解できない。(20代・専業主婦)

・30万円程度までであれば、夫の収入証明がなくても、家計のやり繰りで返済できる。(20代・専業主婦)

<カウンセリング機関の認知度>

【質問】

・カウンセリング機関・サービス知っていますか。また、利用したいですか。

・貸金業者が個別に相談窓口を設けてくれるなら、困ったときに返済計画等の相談をしたい。(40代・派遣社員)

3. 事業者

- 貸金業者からの借入目的は、「少額」で「一時的な事業の運転資金」が中心となっており、銀行等金融機関からの借入れと区別して、効果的に利用している。

事業者の声

<経済環境の変化>

【質問】

・1年前に比べ、事業環境は変化していますか。また、今後どのような見通しですか。

・不動産仲介業を営んでいるが、個人投資家などが業界に参入しており、環境は厳しい。オリンピック等で一時的に需要増加が見込まれるが、その後が厳しい。(40代・経営者)

・機械などの卸販売を行っているが、リーマンショック以降環境は厳しく、今後も特段明るい兆しはない。(60代・自営業)

<借入時の行動について>

【質問】

・どのような経緯・資金使途で借入れを行いましたか。

・家庭都合で銀行融資を受けられなくなった際に、貸金業者から運転資金の借入れを行った。(40代・経営者)

・経費支払いや一時的な繋ぎ資金として、貸金業者から借入れを行った。(60代・自営業)

<返済状況>

【質問】

・借入時、どのような返済計画を立てましたか。また、計画どおり返済できましたか。

・事業環境の変化に伴い、当初の計画通り返済ができず、担保物件の競売等により借入資金は返済した。(40代・経営者)

・借入総額が100万円以下だったこともあり、事業収入から問題なく返済できた。(60代・自営業)

<貸金業者の印象・利用意向>

【質問】

・以前と比べ貸金業者の印象は変わりましたか。また、今後資金需要が生じた際の借入先として活用したいですか。

・貸金業者の印象は、ここ7~8年は良い方向に変わったと感じる。(40代・経営者)

・元々現金世代なので借入れに抵抗があったが、借入後には気軽に使えるようになった。今後借入れが必要な状況になった際は、年齢もあるので事業を辞める予定。(60代・自営業)

<ヤミ金融等非正規業者との接触・利用状況>

【質問】

・ヤミ金融等非正規業者との接触・利用の経験はありますか。

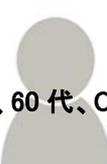
・以前、事業上の付き合いがきっかけで、やむなく5,000万円を借りたことがある。手形を振り出し、金利は250万円(月5%)を毎月上乗せ。最終的に手形代金は7,000万円となったが、事業資金から何とか捻出して返済した。(40代・経営者)

<回答者のプロフィール詳細(借入経験のある個人)>

 男性、20代、Aさん	<ul style="list-style-type: none"> 派遣会社の営業職に従事する会社員(正社員)であり、両親と同居中 就職するまでの間、消費者金融会社3社、ネット系銀行1社からの借入れを経験 現在の借入残高は約200万円
 男性、30代、Bさん	<ul style="list-style-type: none"> 金融業に従事する会社員(正社員) 専業主婦の妻と2人暮らし 結婚するまでの20代前半から30歳までに交際費・洋服代を賄うために借入れを経験 現在の借入残高は、銀行系カードローンで約20万
 男性、40代、Cさん	<ul style="list-style-type: none"> カード会社の営業職に従事する会社員(非正社員) 独身一人暮らしで、別居している母親がいる 生活費に困って新聞 or テレビCMを見て消費者金融会社を利用し、現在は銀行系カードローンを利用 現在の借入残高は、銀行系カードローンで約90万
 男性、50代、Dさん	<ul style="list-style-type: none"> 商社卸売業に従事する会社員(正社員) 現在は一人暮らし(離婚経験有り、子供無し) 転職を機に1カ月程度の旅行をした際に、手元資金がなくなり消費者金融会社で借入れを経験 現在は借入残高無し
 男性、50代、Eさん	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス発電事業会社の役員 妻と二人暮らし 不動産取得を目的とした銀行からの借り入れ実施のため、過去2年分の確定申告を実施。確定申告に伴う税金の支払いのために貸金業者を利用 現在の借入残高は、約130万円
 男性、60代、Fさん	<ul style="list-style-type: none"> 電子機器の設計製造をしている会社に勤務(定年後、再雇用で1年更新) 妻との二人暮らし 子供は二人。長女は30代で今年冬に入籍を予定。長男は30代で既に結婚している 現在は借入残高無し
 女性、30代、Gさん	<ul style="list-style-type: none"> IT系の会社に勤務(正社員)しており、副業で翻訳業も行っている 一人暮らし(配偶者無し) 両親と弟の4人家族。 親族の借金返済の為に10年前に消費者金融会社から借入経験有り 現在は借入残高無し。
 女性、30代、Hさん	<ul style="list-style-type: none"> Webコンテンツ作成のアシスタントをしている会社員(派遣社員) 夫と二人暮らし 前勤務先を退職後、失業保険をもらうまでの間の生活費として消費者金融会社から借入経験有 現在は借入残高無し

 <p>女性、40代、Iさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ブランド会社で販売員（派遣社員） • 独身で、母親がいるが、一人暮らし • 親族の借金の返済のため、消費者金融会社からの借入経験あり • 現在の借入残高は5万円程度
 <p>女性、60代、Jさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 不動産関係の会社でパートとして勤務 • 長男との二人暮らし • 失業と、身内の他界のタイミングで消費者金融からの借入経験あり • 現状、クレジットカードのキャッシングの借入残高が20万円ほどある
 <p>女性、20代、Kさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 専業主婦 • 子供はいない • 消費者金融会社からの借入経験はなし • クレジットカードでの支払いを分割払いにした経験はある
 <p>女性、20代、Lさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 専業主婦 • 0歳の娘が1人いる • 消費者金融会社からの借入経験はなし • クレジットカードでのキャッシングの経験はある
 <p>女性、40代、Mさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 専業主婦 • 夫と子供3人の5人家族。旦那さんとは2010年頃から別居。長男は20代前半で一人暮らし（長女20代前半、次男10代後半）。 • 15年ほど前に消費者金融会社からの借入経験あり

<回答者のプロフィール詳細(借入経験のある事業者)>

 <p>男性、40代、Nさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 不動産仲介会社の経営者 • 個人で購入していたゴルフ会員権を担保に運転資金をノンバンクから借入れた経験あり • 消費者金融会社からの借入経験はなし • クレジットカードでの支払いを分割払いにした経験はある
 <p>男性、60代、Oさん</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 機械などの卸販売を行う自営業者 • 交通費や臨時的な交際費のためにクレジットカードのキャッシングを利用 • 国民生活金融公庫から機械の仕入れ資金を借りた経験あり